INTEC
COMPONENT WORLD

DVD シアターシステム

BASE-DR7

PDR-155(DVD AVコントローラー)
SWA-155X(サブウーファー)
D-M7(スピーカーシステム)

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

ONKYO®

目次

使ってみよう

始めに

接続をする

準備をする

いろいろな機能

時刻を合わせる

ラジオを聞く

タイマー機能を使う

録音する

目次

ホームシアターの機能

ホームシアターとは

再生する

こんなこともできます

各種設定

音を楽しむ

こんなこともできます

スピーカーの設定

その他

主な特長

アンプ、スピーカー部

■ 独自のハイクォリティ設計、OMF※1ダイヤフラム採用サテライトスピーカー、OMFダイヤフラム採用J'DRIVE※2方式サブウーファー（※特許出願中）
■ 6チャンネルアンプ、サブウーファーが一体化。コンパクトで簡単接続、リモコン付属
■ 総合出力100W、映画だけでなく音楽、ゲームも臨場感あふれる迫力サウンド
■ デジタル入力端子として光1系統を装備
■ 3系統アナログ入力端子装備
■ プリセット30局メモリー機能/オートプリセットメモリー機能（FM）
■ 再生も録音も複数設定可能なプログラムタイマー機能（最大4モード）
■ オンキヨー独自の5つのリスニングモード
■ TVプリプロ付きシステムリモコン付属
■ 別売スピーカーD-M3を増設して3.1ch、4.1ch、5.1ch再生が可能
■ 最新のドルビー*プロロジックII、ドルビーデジタル、DTS**、AAC***デコーダー内蔵
■ DVDはもちろん、ビデオやテレビもサラウンド再生
■ シアターディメンショナル搭載****

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、Dolby、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
** 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。
"DTS"、"DTS Digital Surround"は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
*** AAC パテントマーキング
Pat.5,848,391 5,291,557 5,451,954 5 400 433 5,222,189 5,357,594 5 752 225
5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5 297 236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5, 579,430 08/678,666 98/03037 97/02875 97/02874 98/03036
5,227,788 5,285,498 5,481,614 5, 592,584 5,781,888 08/039,478 08/211,547
5,703,999 08/557,046 08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240
5,197,087 5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574 5,717,821
**** Theater-Dimensionalはオンキヨー株式会社の商標です。

※1 **独自開発OMFダイヤフラム採用のスピーカーユニット**
スピーカーユニットにはOMF（Onkyo Micro Fiber）ダイヤフラムを採用。独自の素材と成形方法によって、振動板に要求される条件（1軽量2高剛性3適度な内部ロス）を最適にバランスさせ、雑音の低減、トランジェント（過渡特性）を向上させています。また、サブウーファー、スピーカーには、音質の良い木製キャビネットを採用しています。
OMF®の名称、ロゴはオンキヨー（株）の登録商標です。

※2 **コンパクトながら自然で迫力ある重低音、J'DRIVE方式（特許出願中）**
サブウーファー部はスピーカーユニット前面の容積を限界まで小さくした特殊な構造を採用し、高い圧力で圧縮膨張した空気を開口部から一気に放出する、いわばジェットエンジンのような空気の流れによって、自然で迫力ある重低音を再現しています。

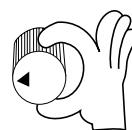
カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表わす記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

主な特長

DVD部

■ DVDビデオ、MP3 CD、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD 対応
■ MDレコーダーやCDレコーダーと組み合わせてCDのワンタッチCDダビングが可能
■ 高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備
■ 高精細映像を実現する27MHz/10ビット ビデオD/Aコンバーター搭載
■ 対話形式で簡単に初期設定できるセットアップナビゲーター
■ 最大24ステップまで記憶するプログラム再生、最大24枚までのDVDビデオのプログラムを記憶するプログラムメモリー機能
■ 停止後に続きから再生できるリジューム機能、前に見たディスクの続きを再生するラストメモリー機能

♪音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

● 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

● 本機を使用できるのは日本国内のみです。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

● 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

- 本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災･感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機械内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

● スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを利用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■ 電源コード、電源プラグの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

● 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■スピーカーコードについて

● スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

● お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。

● 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

● アンテナ工事には経験と技術が必要ですので、販売店にご相談ください。

● 屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

● シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

● 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

お手入れについて

■ お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■ カラーテレビやパソコンとの近接使用について

一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
D-M7は（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあるとD-M7との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

ご注意

テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でPDR-155の電源を切っていてもスピーカーから雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、テレビからさらにスピーカーを離してご使用ください。

■ 取り扱い上のご注意

D-M7は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど､接続端子の抜き差し時のショック音

ご注意

BASE-DR7は、サブウーファー（SWA-155X）、スピーカー（D-M7）およびDVD AVコントローラー（PDR-155）の組み合わせで最良の状態になるように設計されております。PDR-155とD-M7、別売のD-M3以外のスピーカーとの組み合わせや、他のアンプとスピーカーとの組み合わせでご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますのでご了承ください。

■ メモリー保持について

PDR-155には、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。PDR-155の電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約2週間です。ただし、時刻は保護されずタイマーはOFF設定になりますので、再度設定してください。

ディスクについての予備知識

■ 再生できるディスク

PDR-155では再生だけの機能となります。

- PDR-155はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、DVDビデオまたはビデオCDのディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク				
DVDビデオ	ビデオCD	CD*1	CD-R*2	CD-RW*2

*1 **コピーコントロールCDの再生について**

コピーコントロールCDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、PDR-155で再生できない場合があります。

*2 **CD-R／CD-RWディスクの再生について**

PDR-155は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3の音楽データが記録されたCD-R／CD-RWディスクを再生することができます。
ただし、使用するディスクがファイナライズされていないとき、また録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性、傷、汚れ、PDR-155のピックアップレンズの汚れ/結露等により、再生できない場合があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

PDR-155で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ・DVD-RW・DVD-ROM・DVD-RAM
- SACD・フォトCD・CD-Gなど

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②))	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16 : 9 LB	記録されている映像のアスペクト比（☞122ページ）
2　ALL	地域番号を表わします。PDR-155は地域番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、再生できない旨の表示（「Wrong Region No」）が画面にでます。

ディスクについての予備知識

■ DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。PDR-155ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク()を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、PDR-155では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク()を表示します。

■ ビデオCDについて

PDR-155はPBC付きビデオCD（バージョン 2.0）に対応しています。（PBCは、Playback Controlの略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

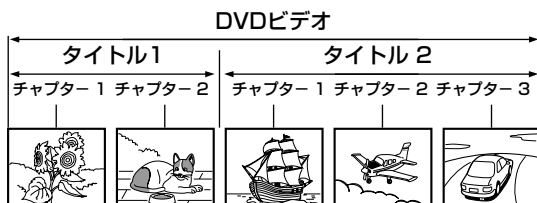
ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

■ MP3の再生について

- MP3は、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。
  「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。
- ISO9660CD−ROMファイルシステムに従って記録してください。音質的には記録ビットレート128kbpsを推奨します。
- サンプリング周波数44.1kHz、または48kHzの固定ビットレートで記録されたファイルに対応しています。
- 可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）には対応していません。
- マルチセッションには対応していません。最初のセッションのみ再生できます。
- 上記の項目に対応していないファイルは「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示され、再生することができません。MP3とその他のファイルが同一CD-ROMに記録されている場合、再生すると「UNPLAYABLE MP3 FORMAT」と表示されることがありますが、MP3については問題なく再生できます。
- フォルダー/トラックの名前は半角英数字で入力された文字のみ最大8文字まで表示します。
  それ以外で入力されているフォルダー/トラックの名前はMP3ナビゲーターまたはプログラムの画面に「F_001」「T_001」のように表示されます。また、PDR-155表示部にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。

ディスクについての予備知識

■ ディスクに関する用語について

- **DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。**

タイトル　DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター　タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

- **ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。**

トラック　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

- **MP3を記録したディスクは、「フォルダー」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。**

フォルダー　ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
トラック　フォルダーの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラック、フォルダーには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」、「フォルダー番号」といいます。
（ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。）

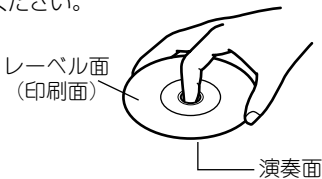
ディスクについての予備知識

■ ディスクについてのご注意

異形ディスクについて

ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

取り扱いについて

演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

レンタルディスクの注意について

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて

汚れにより信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

PDR-155はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号がはいっているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

PDR-155は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

結露について

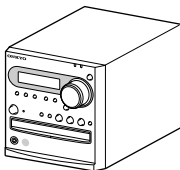
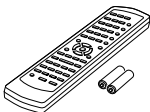
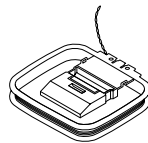
PDR-155を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、PDR-155の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、PDR-155をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

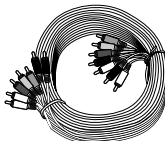
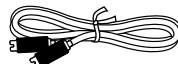
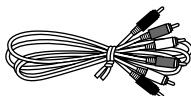
BASE-DR7(001-25)(SN 29343429A) 15 02.9.10, 4:22 PM
ブラック

箱を開けたら、まず

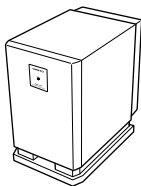
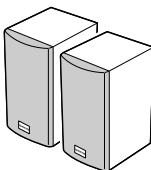
■ 付属品を確認する

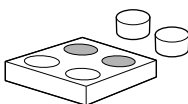
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。(　)内の数字は数量を表しています。

- **DVD AVコントローラー(PDR-155)(1)**

- **リモコン(RC-506M)(1)**
- **乾電池(単3形)(2)**

- **AM室内アンテナ(1)**
  AM放送を受信するアンテナです。

- **FM室内アンテナ(1)**
  FM放送を受信するアンテナです。

- **マルチ接続コード3m(1)**
  SWA-155XとPDR-155を接続するコードです。

- **Sビデオコード1.5m (1)**
  Sビデオ映像を送るコードです。

- **オーディオ・ビデオ用ピンコード1.5m(1)**
  黄色のプラグは映像、赤と白のプラグは音声を送るコードです。

- **電源コード (1)**
- **保証書(1)**

スピーカーに同梱の付属品

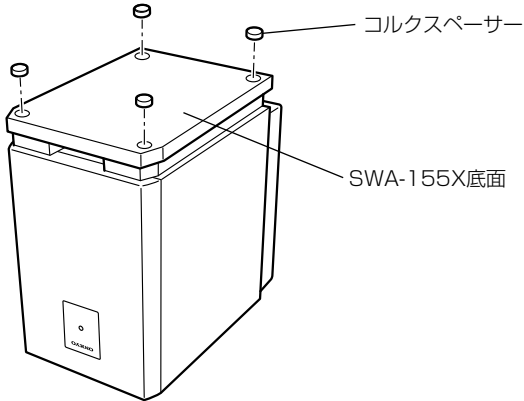
- **サブウーファー(SWA-155X)(1)**

- **スピーカー(D-M7)(2)**

- **スピーカーコード(左右フロント用) 2.5m(2)**
  スピーカーとSWA-155Xを接続するコードです。

- **サブウーファー用コルクスペーサー(一組〈4個〉)**
  サブウーファーの底面に貼るスペーサーです。

- **スピーカー用コルクスペーサー(一組〈8個〉)**
  スピーカーの底面に貼るスペーサーです。

- **スピーカー金具(2)**
- **壁掛けネジ(2)**

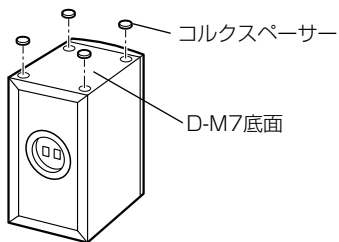
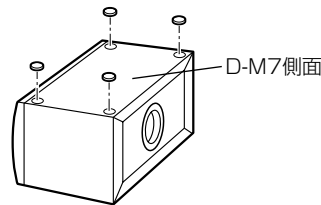
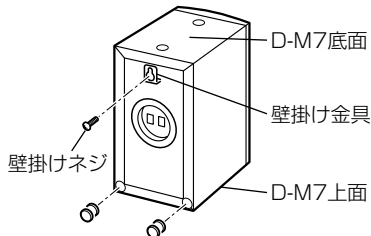
- **取扱説明書(本書1)**

■ 付属のコルクスペーサー・壁掛け金具を使う

サブウーファー（SWA-155X）用コルクスペーサー

よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

スピーカー（D-M7）用コルクスペーサー

よりよい音でお楽しみいただくために、付属のコルクスペーサーのご使用をおすすめします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定して設置することができます。

たて置きの場合

横置きの場合

壁に掛けて使用する場合

スピーカーの上下を逆にして使用します。スペーサーは2枚重ねて2ヶ所に貼ってください。また、バッジは回転しますので上下逆にすることができます。

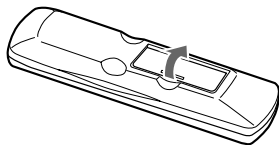
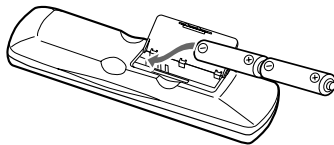
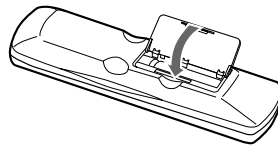
金具の取り付けかた

付属のネジを使って金具を背面に取り付けます。

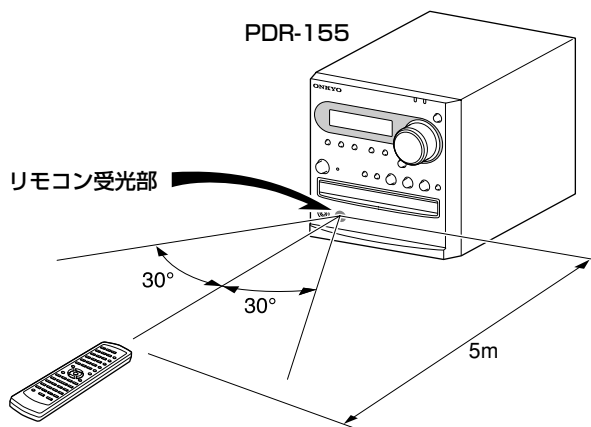
ご注意

壁に取り付ける場合、壁の強度に充分注意してください。材質、桟(さん)の位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ます。ネジは頭の直径が10mm以下、ネジ部の直径が4mm以下で、できるだけ太く長いものをご使用ください。（業者の方にご相談いただくのが安心です。）

箱を開けたら、まず

■ リモコンの乾電池の入れかたと交換のしかた

① ② ③

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。

- 電池の極性(⊕、⊖)は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

■ リモコンの使いかた

リモコンをDVD AVコントローラー（PDR-155）のリモコン受光部に向けて操作してください。

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

箱を開けたら、まず

表示は詳しい説明のあるページです。

■ DVD AVコントローラー(PDR-155)前面パネルの名前と働き

■ 表示部

ソース／リスニングモードインジケーター
入力されている信号の種類およびサラウンドモードを表示します。
リピートインジケーター (RPT)
タイマーインジケーター (TIMER)
タイマーが設定されている時に点灯します。
プレイ ポーズ ► ❚❚ インジケーター
ディスクインジケーター
ディスクトレイにセットされているディスクの種類を表示します。
タイトル／チャプターインジケーター (TITLE/CHP)
多目的表示部
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。
ラストメモリーインジケーター (LAST)
リメインインジケーター (REMAIN)
演奏残り時間を表示している時に点灯します。
ミューティングインジケーター (MUTING)
ミューティングが働いている時に点滅します。
チューニング／オート／FMステレオインジケーター (►●◄ /AUTO/FM STEREO)
放送の受信状態を表示します。
スリープインジケーター (SLEEP)
スリープタイマーが設定されている時に点灯します。
トラックインジケーター (TRACK)
► ❚❚ TIMER DD DIGITAL dts DD PRO LOGIC II DSP LAST MUTING ►●◄
SVCDVD TITLE RPT CHP TRACK STEREO SLEEP REMAIN FM STEREO AUTO
dB
kHz
MHz

■ DVD AVコントローラー(PDR-155)後面パネルの名前と働き

MD/TAPE入出力端子
MDレコーダーやテープデッキの音声入出力を接続する端子です。
市販のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

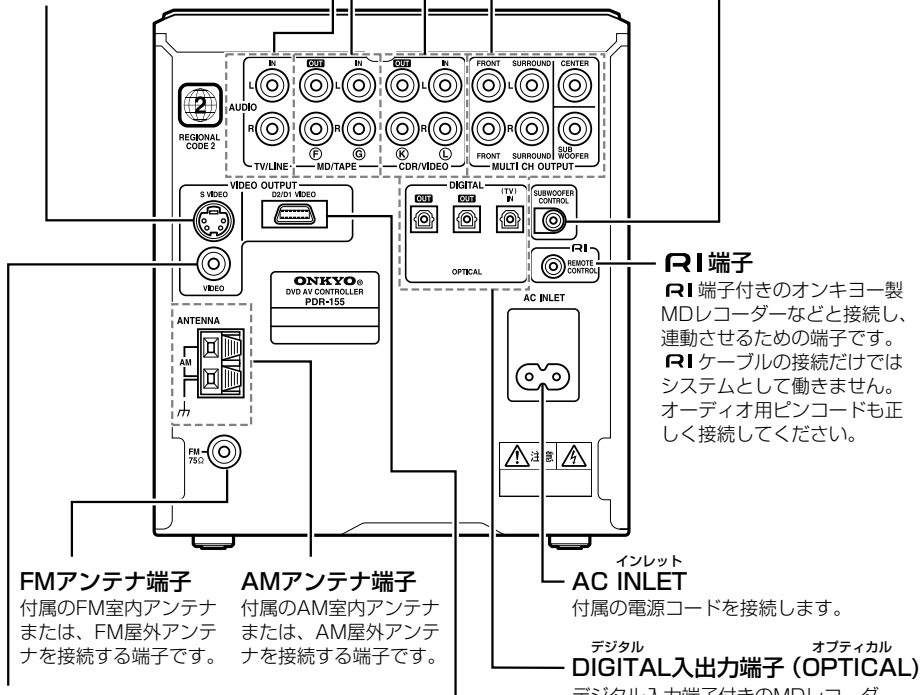
TV/LINE入力端子
テレビなどの音声出力を接続する端子です。
付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。

S VIDEO出力端子
Sビデオ映像が出力される端子です。
Sビデオ端子のあるテレビと接続するときに、付属のSビデオコードを使って接続します。

CDR/VIDEO入出力端子
CDレコーダーやビデオデッキの音声入出力を接続する端子です。
市販のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

MULTI CH OUTPUT端子
付属のマルチ接続コードを使って、SWA-155X（サブウーファー）のMULTI CH INPUT端子と接続します。

SUBWOOFER CONTROL端子
SWA-155X（サブウーファー）のSUBWOOFER CONTROL端子と付属のマルチ接続コードを使って接続します。

RI端子
RI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーなどと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

FMアンテナ端子
付属のFM室内アンテナまたは、FM屋外アンテナを接続する端子です。

AMアンテナ端子
付属のAM室内アンテナまたは、AM屋外アンテナを接続する端子です。

AC INLET
付属の電源コードを接続します。

VIDEO出力端子
映像が出力される端子です。
テレビと接続するときに、付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードを使って接続します。

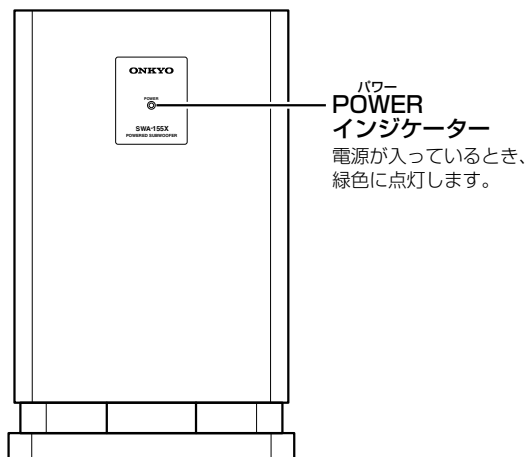
D2/D1VIDEO出力端子
D映像が出力される端子です。
D入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のD映像ケーブルを使って接続します。

DIGITAL入出力端子（OPTICAL）
デジタル入力端子付きのMDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。
接続するときは、市販のオーディオ用光デジタルケーブルをご使用ください。

ご注意

同じ製品をINとOUTの両方に接続しないでください。

箱を開けたら、まず

■ サブウーファー(SWA-155X)前面パネルの名前と働き

■ サブウーファー(SWA-155X)後面パネルの名前と働き

SURROUND SPEAKERS端子

左右サラウンド用スピーカーを接続します。
BASE-DR7にサラウンド用スピーカーは付属しておりません。
別売のD-M3を増設したときに使用します。

■ リモコン(RC-506M)ボタンの名前と働き

ONボタン
PDR-155の電源をONにします。
もう一度押すと、RI 接続した機器の電源もONになります。

STANDBYボタン
PDR-155をスタンバイ状態にします。

INPUT SELECTORボタン
聞くソースを選びます。

SHIFTボタン
押した後、約10秒間ボタンの上側の文字の機能が働きます。
(☞25ページ)

REPEATボタン
DVD,CDR,MD：くり返し再生をします。
TAPE：リバースモードを切り換えます。

A-Bボタン
DVD,MD：A-Bくり返し再生を始めます。

MODE
CDR,MD:プログラム、ランダム、通常再生を切り換えます。
FM,AM:オート、モノを切り換えます。

◀II CDR,MD:再生を一時停止します。
TAPE:B(裏)面を再生します。
■ CDR,MD,TAPE:再生を止めます。
▶ CDR,MD:再生を始めます。
TAPE:A(表)面を再生します。

DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。

SLEEPボタン
スリープタイマーを設定します。

MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。

RECEIVERボタン
ボタン上の文字の機能が働きます。
(☞24ページ)

TV/SETUPボタン
ボタンの下側の青い文字の機能が働きます。(☞25ページ)

ACOUSTIC CONTROLボタン
高音／低音を強調します。

SEARCHボタン
DVD：サーチの種類を選びます。

PROGRAMボタン
プログラム再生の設定をします。

CLEARボタン
決定した内容を取り消します。

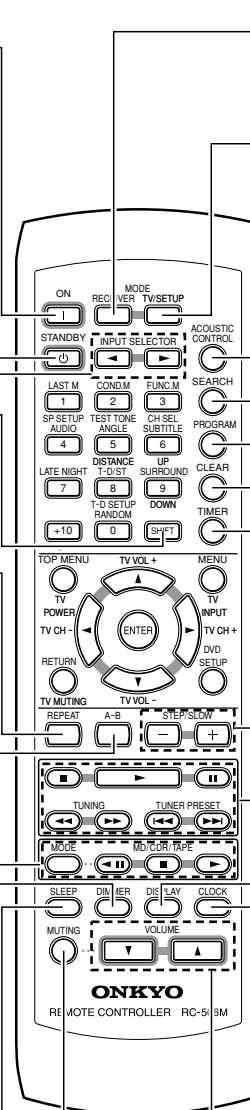
TIMERボタン
時刻合わせや、タイマー設定を行います。

STEP/SLOWボタン
DVD：コマ送り、スロー再生を行います。

■ DVD:再生を止めます。
▶ DVD:再生を始めます。
II DVD:再生を一時停止します。
◀◀,▶▶ DVD,CDR,MD:早送り／早戻しをします。
FM,AM:周波数を上下します。
I◀◀,▶▶I DVD,CDR,MD,TAPE:場面や曲の頭出しをします。
FM,AM:プリセット選局を行います。

DISPLAYボタン
表示部の情報を切り換えます。

CLOCKボタン
現在時刻を表示します。

VOLUMEボタン
音量を調節します。

箱を開けたら、まず

■ リモコン(RC-506M)ボタンの名前と働き

BASE-DR7に付属のリモコン(RC-506M)はコンパクトなサイズに多くの機能が備わっています。

そのため、操作によってはモードを切り換える必要があります。モードを切り換えるボタンは以下の3つです。

RECEIVER(レシーバー)ボタン .... 主にDVDの設定に関する操作モード
TV/SETUP(セットアップ)ボタン .... 主にホームシアターの設定、テレビ操作に関するモード
SHIFT(シフト)ボタン .... 主にDVDの特別な機能に関する操作モード
(押してから約10秒間)

●リモコンの**RECEIVER(レシーバー)ボタン**を押すと、以下のボタンの機能が働きます。

■ リモコン(RC-506M)ボタンの名前と働き

●リモコンの**TV/SETUPボタン**を押すと、以下のボタンの機能が働きます。（青い文字の機能）

TEST TONEボタン
各スピーカーからテストトーンが出力されます。

SP SETUPボタン
スピーカーの数を決定します。

UPボタン
距離またはレベルを選択します。

DISTANCEボタン
聞く位置からスピーカーまでの距離を調整するときに使用します。

DOWNボタン
距離またはレベルを選択します。

T-D SETUPボタン
フロントスピーカーと視聴位置の角度を設定します。

TV/SETUPボタン

CH SELボタン
距離またはレベルを設定するスピーカーを選びます。

テレビ操作ボタン

TV POWER	：テレビのON/STANDBYを切り換えます。
TV INPUT	：テレビの入力を切り換えます。
TV MUTING	：テレビの音を一時的に小さくします。
TV VOL + / -	：テレビの音量を調整します。
TV CH + / -	：チャンネルを切り換えます。

このテレビ操作ボタンを使用するには、あらかじめ、ご使用になっているテレビのリモコンコードを登録する必要があります。
登録方法は120ページをご覧ください。

●リモコンの**SHIFTボタン**を押すと約10秒間、以下の機能が働きます。（ボタンの上側の文字）

LAST Mボタン
DVD：再生する場所を記憶させます。

AUDIOボタン
DVD：音声言語を切り換えます。

LATE NIGHTボタン
小音量で楽しみたいときに、ダイナミックレンジを切り換えます。

T-D/STボタン
シアターディメンショナルサウンドとステレオサウンドを切り換えます。

RANDOMボタン
ランダム再生を始めます。

FUNC. Mボタン
DVD：初期設定項目を登録します。

COND. Mボタン
DVD：DVDの設定を記憶します。

SUBTITLEボタン
DVD：字幕言語を切り換えます。

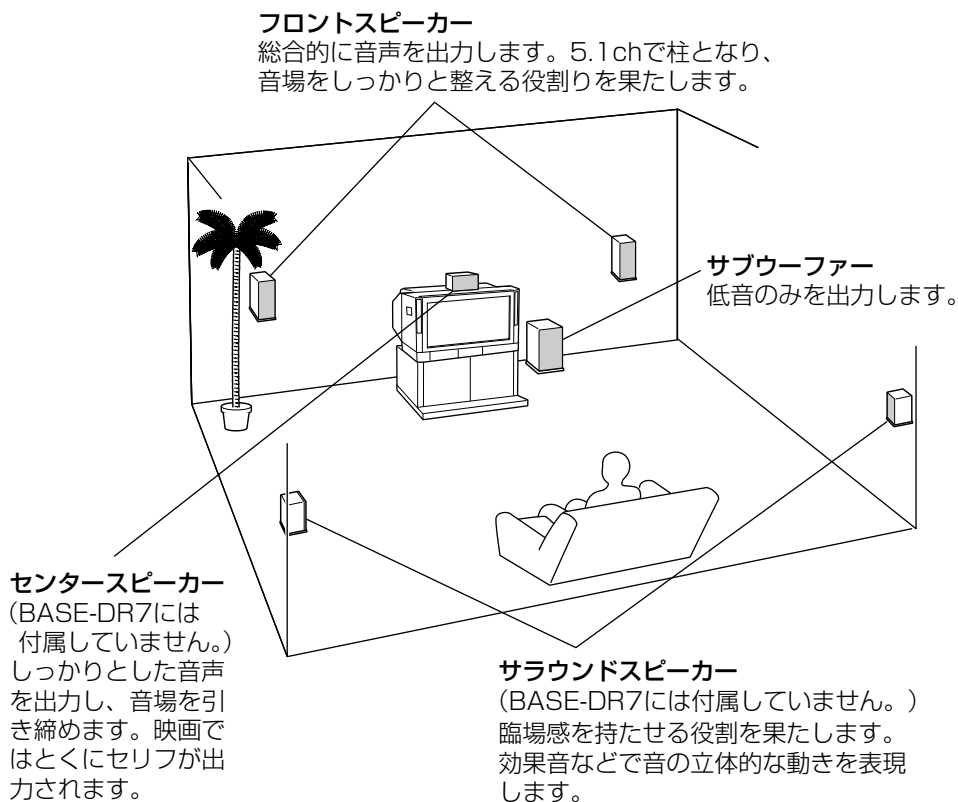
ANGLEボタン
DVD：アングルを切り換えます。

SURROUNDボタン
サラウンドモードを切り換えます。
●スピーカーの数を「2ch」に設定している時は働きません。
（初期設定は2chです。）

SHIFTボタン

ホームシアターとは

■ ホームシアターで楽しもう

BASE-DR7は2本のフロントスピーカーでもシアターディメンショナル機能を使用して、マルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。
別売りのD-M3を増設して組み合わせると、より音の立体感、移動感が表現でき、ご家庭で簡単に劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。DVDはディスクの記録の方法によりますがDTSやドルビーデジタル再生で、テレビやMDの再生もオンキヨー独自のDSPサラウンドをお楽しみいただけます。(☞72ページ)
D-M3とは別売のオンキヨー製スピーカーです。BASE-DR7と組み合わせてご使用になることをおすすめします。

D-M3を　1つ増設する場合は、センタースピーカーとして(3.1ch再生)
2つ増設する場合は、左右サラウンドスピーカーとして(4.1ch再生)
3つ増設する場合は、センタースピーカー、左右サラウンドスピーカーとして(5.1ch再生を)お楽しみください。

スピーカーを増設した場合は、スピーカーの数を設定する必要があります。(☞42ページ)

接続のしかた

① テレビとDVD AVコントローラー（PDR-155）の接続（☞27ページ）
② DVD AVコントローラー（PDR-155）とサブウーファー（SWA-155X）の接続（☞29ページ）
③ サブウーファー（SWA-155X）とスピーカー（D-M7）の接続（☞30ページ）
④ MDレコーダー、CDレコーダーなどを組み合わせる場合、DVD AVコントローラー（PDR-155）との接続が必要です。（☞32ページ）

設置のしかた

接続した各スピーカーの役割、設置例をご覧ください。（☞31ページ）

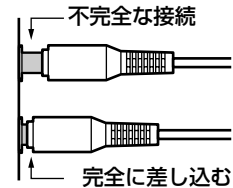
設定のしかた

最適なサラウンド再生をお楽しみいただくには、視聴位置からの距離などのスピーカー設定を行ってください。（☞77ページ）

接続をする

①テレビとDVD AVコントローラー（PDR-155）を接続する

映像の接続

映像接続にはD端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の3種類あります。
テレビに応じて接続してください。
- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。PDR-155の電源コードはまだ接続しないでください。
- PDR-155はテレビと直接接続してください。ビデオデッキなどを経由したり、ビデオ内蔵テレビと接続した場合、再生すると画像が歪むことがあります。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

テレビにD入力端子があるとき

D2/D1接続をすると、Sビデオ端子接続よりさらによい映像を得ることができます。テレビにコンポーネント端子があるときは、D端子－コンポーネント端子交換ケーブルが使用できます。

PDR-155のD2/D1 VIDEO（ビデオ）端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、D4またはD5のいずれの入力端子にも接続することができます。また、D2、D3、D4、D5端子のいずれかと接続するとプログレッシブ映像がお楽しみいただけます。（☞103ページ）

テレビにSビデオ端子があるとき

テレビにSビデオ端子があるときは、付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。通常のビデオ接続よりもよい映像が得られます。

テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき

付属のオーディオ・ビデオ用ピンコードの黄色のピンコードでビデオ接続します。

音声の接続

テレビの音声をBASE-DR7で聞くには、テレビやBSチューナーの音声出力端子とPDR-155のTV/LINE（ライン） IN（イン）端子を接続する必要があります。
テレビやBSチューナーにデジタル出力端子がある場合は、テレビやBSチューナーのデジタル出力端子とPDR-155のDIGITAL（デジタル） IN（イン）端子を接続すると、音声をデジタルで聞くことができます。デジタルとアナログの両方を接続していると、デジタル音声が優先されます。

接続をする

テレビにD入力端子があるとき

音声出力端子

AUDIO OUT

L R

D2/D1入力端子

D2/D1 VIDEO

DIGITAL OUT

（デジタル音声出力端子がある場合）

映像接続に使う端子

L R

音声出力端子

AUDIO OUT

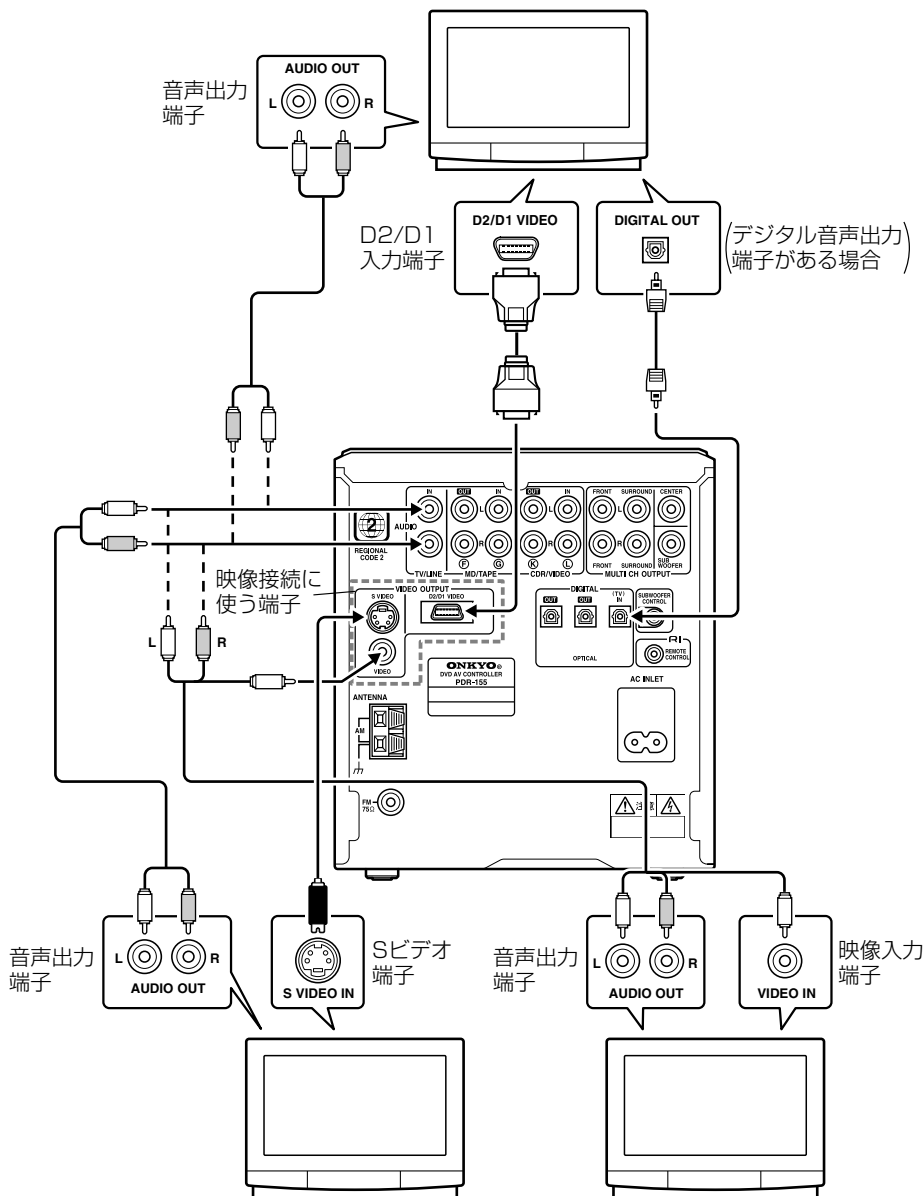
S VIDEO IN

Sビデオ端子

音声出力端子

AUDIO OUT

VIDEO IN

映像入力端子

テレビにSビデオ端子があるとき

テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき

②DVD AVコントローラー(PDR-155)とサブウーファー(SWA-155X)を接続する

付属のマルチ接続コードを使って、下図のように各端子を接続します。
電源プラグは、まだ接続をしないでください。

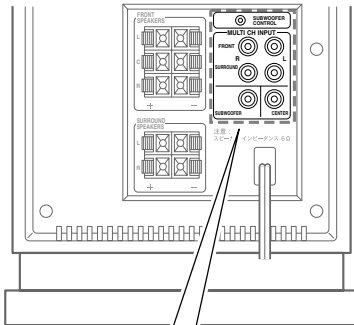
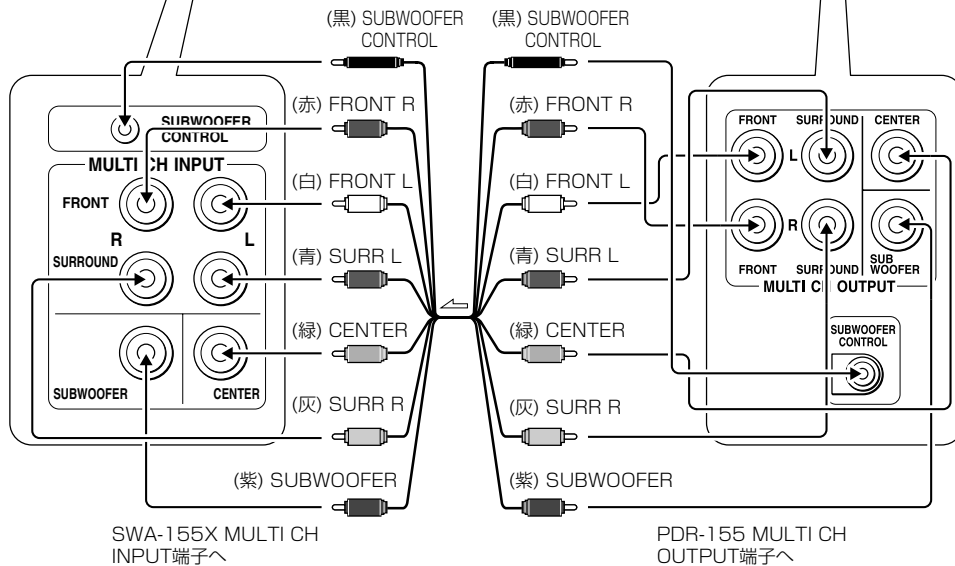
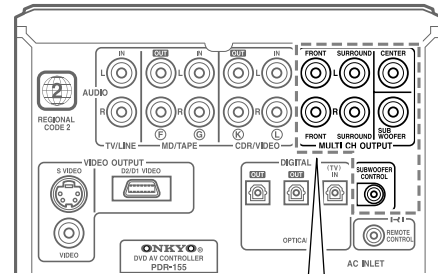
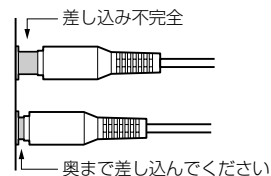
：信号の流れ

SWA-155X

PDR-155

(黒) SUBWOOFER CONTROL
(赤) FRONT R
(白) FRONT L
(青) SURR L
(緑) CENTER
(灰) SURR R
(紫) SUBWOOFER

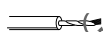
SWA-155X MULTI CH INPUT端子へ

PDR-155 MULTI CH OUTPUT端子へ

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。
  接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- マルチ接続コードはスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。

③サブウーファー(SWA-155X)とスピーカー(D-M7)を接続する

■ スピーカーを接続する前に

付属のスピーカーコードの準備をします。

①スピーカーコードのビニールカバーの先を外します。

②しん線をよじります。

■ 左右フロント、センター、サラウンドスピーカーの接続

SWA-155X

FRONT SPEAKERS L C R + −

SURROUND SPEAKERS L R + −

− +

白色を＋側に接続します

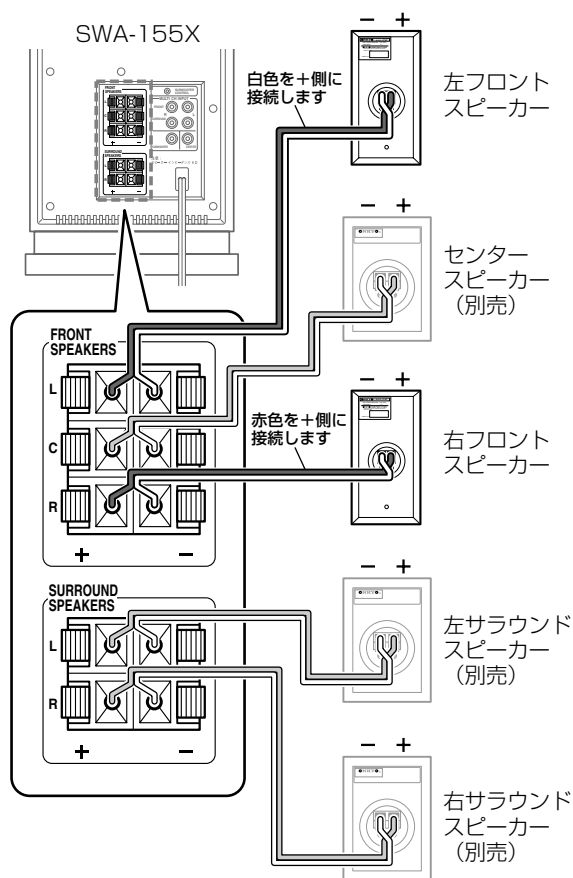
左フロントスピーカー

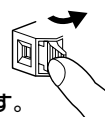
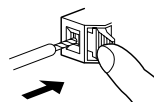
センタースピーカー（別売）

赤色を＋側に接続します

右フロントスピーカー

左サラウンドスピーカー（別売）

右サラウンドスピーカー（別売）

スピーカー端子への接続方法

①レバーを押します。

②しん線を穴の中に入れます。

③レバーをはなします。

危険

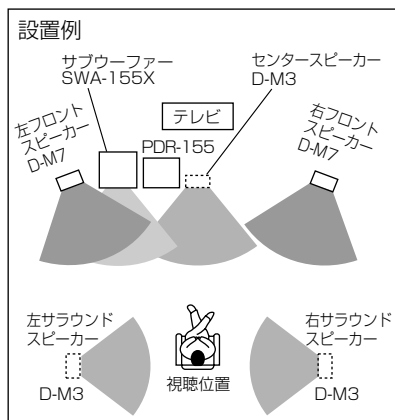
回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスあるいはL/Rを絶対に接触させないでください。

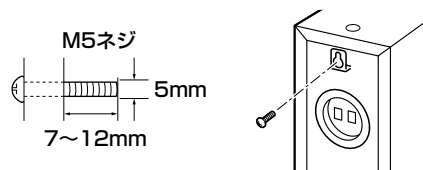
NO

- スピーカーのプラス(＋)とサブウーファーのプラス(＋)に色のついたスピーカーコードの先端を接続します。スピーカーのマイナス(−)とサブウーファーのマイナス(−)に色の入っていないスピーカーコードを接続します。
- プラス(＋)とマイナス(−)を間違って接続すると、音声が不自然になりますのでご注意ください。

■ 基本的な設置例と各スピーカーの役割

BASE-DR7は2本のフロントスピーカーでもシアターディメンショナル機能を使用して、マルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。ここでは、D-M3を増設した場合も含めた基本的な設置例と各スピーカーの役割を紹介します。スピーカーの設置方法は、部屋の大きさや壁の材質などによっても違ってきます。

下図の例の通りでなくても「視聴位置からスピーカーの距離を設定する」(☞77ページ)ことで、それぞれのスピーカーから音の届く早さを一定にし、最適なサラウンド再生をお楽しみいただくことができます。また、各スピーカーの音量レベルをお好みに調節することもできます。(☞78ページ)
(すべての接続が完了し、スピーカーの数を設定してから行ってください。)

市販のスタンドや金具を使用する場合

スピーカーの背面にはM5用ネジ穴1個、底面にはピッチ60mmでM5用ネジ穴を2個設けています。底面を固定する場合は、市販のスタンドや金具を使用してください。スタンドや金具をご使用になるときは、スタンドの厚みを考慮して有効ネジ長が7～12mmのものをご使用ください。

左右フロントスピーカー

視聴者の前方に配置します。
音楽や映画を鑑賞する位置と姿勢で、視聴者の耳に向くように配置してください。左右対称が理想です。

センタースピーカー(BASE-DR7には付属していません。別売のD-M3を増設した場合)

できるだけ画面の近くに配置します。視聴者の耳に向くように配置してください。
左右フロントスピーカーとなるべく同じ高さになるように配置してください。
センタースピーカーは、左右フロントスピーカーの音源効果や、音の動きを明確にして、より豊かなサウンドイメージを作ります。映画では特にここからセリフが聞こえます。

サラウンドスピーカー(BASE-DR7には付属していません。別売のD-M3を増設した場合)

視聴者の横または後ろに配置します。
音の立体的な動きを表現し、背景をイメージした環境音、また場面を盛り上げる効果音を作り出して臨場感を高めます。左右対称が理想です。

サブウーファー

フロントスピーカーの近くに配置します。
迫力のある重低音効果を最大限に発揮します。低音のみを出力します。

ご注意

スピーカーを設置する際には、机やラックの端に置かないようにしてください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

■ MDレコーダー、テープデッキの接続（MD/TAPE端子）

この端子にはMDレコーダーまたはテープデッキの音声入出力を接続することができます。
RI端子付きのオンキヨー製品とシステム接続する場合は、入力表示（INPUT）をそれぞれに切り換えてください。（☞43ページ）

INTEC155シリーズの場合

PDR-155のMD/TAPE AUDIO IN端子Ⓖと、MD-101AのANALOG OUT端子ⒼまたはK-501AのANALOG OUT端子Ⓔを接続します。

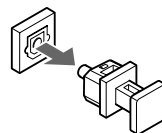
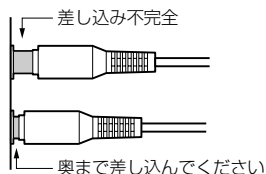
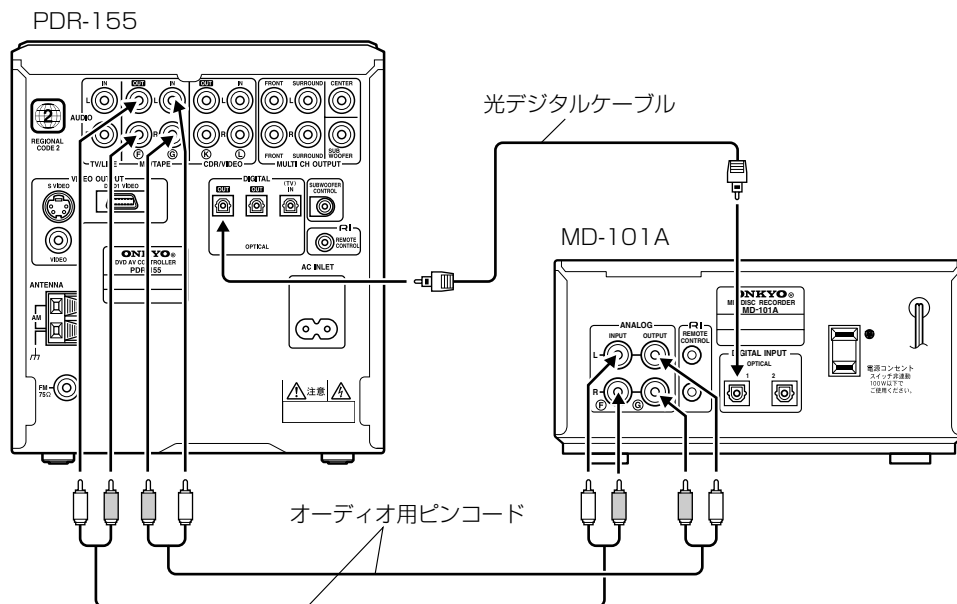
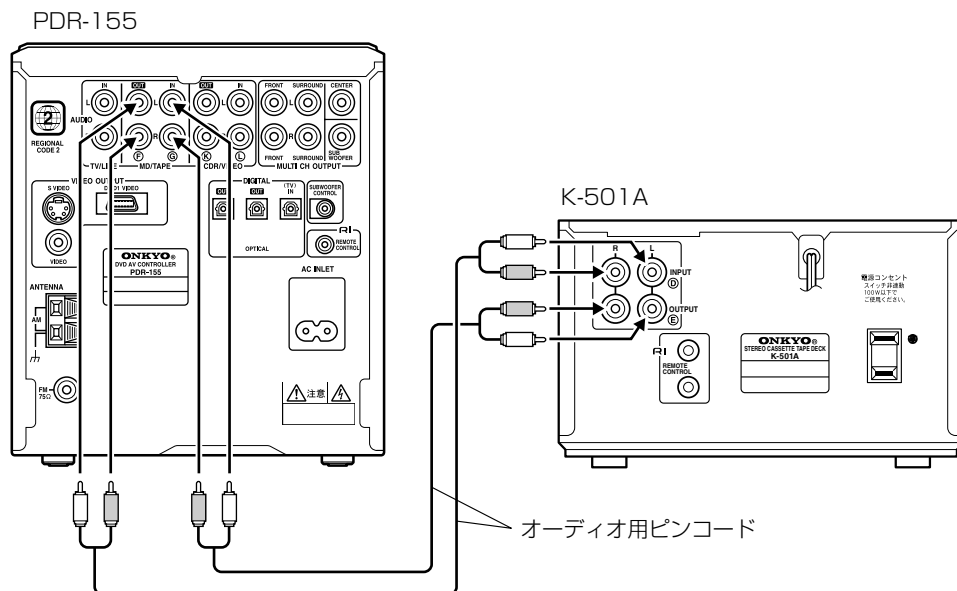
PDR-155のMD/TAPE AUDIO OUT端子Ⓕと、MD-101AのANALOG IN端子ⒻまたはK-501AのANALOG IN端子Ⓓを接続します。

その他のMDレコーダー、テープデッキの場合

MDレコーダーまたはテープデッキのアナログ音声出力端子と、PDR-155のMD/TAPE AUDIO IN端子Ⓖを接続します。
MDレコーダーまたはテープデッキのアナログ音声入力端子と、PDR-155のMD/TAPE AUDIO OUT端子Ⓕを接続します。

PDR-155からMDレコーダーにデジタルで録音する場合は

光デジタルケーブルでPDR-155のDIGITAL OUTPUT端子とMDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続します。MD-101Aの場合は、DIGITAL INPUT 1に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。
  接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質低下の原因となります。
- オーディオ用光デジタルケーブルを使用するときは、折り曲げたり、きつく巻いたりしないでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。(☞41ページ)
- DIGITAL INPUT端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ず元通りに取り付けておいてください。
  接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

PDR-155とMDレコーダー(MD-101A)の接続

PDR-155とテープデッキ(K-501A)の接続

■ CDレコーダー、ビデオデッキの接続(CDR/VIDEO端子)

この端子にはCDレコーダーまたはビデオデッキの音声入出力を接続することができます。ビデオデッキなどの映像出力は直接テレビに接続してください。
RI端子付きのオンキヨー製品とシステム接続する場合は入力表示(INPUT)をそれぞれに切り換えてください。 (☞43ページ)

INTEC155シリーズのCDレコーダーの場合

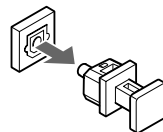
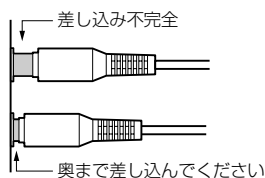
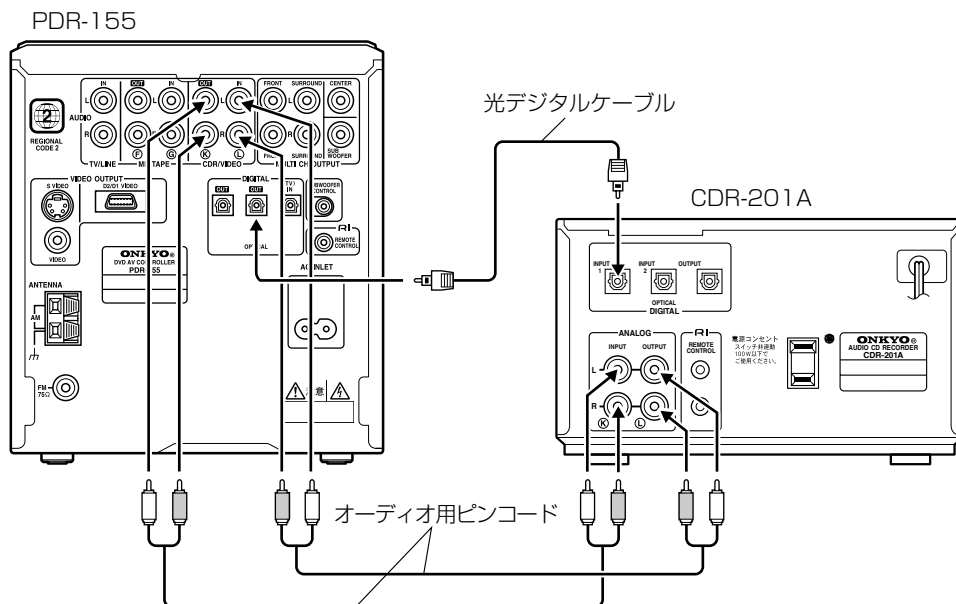
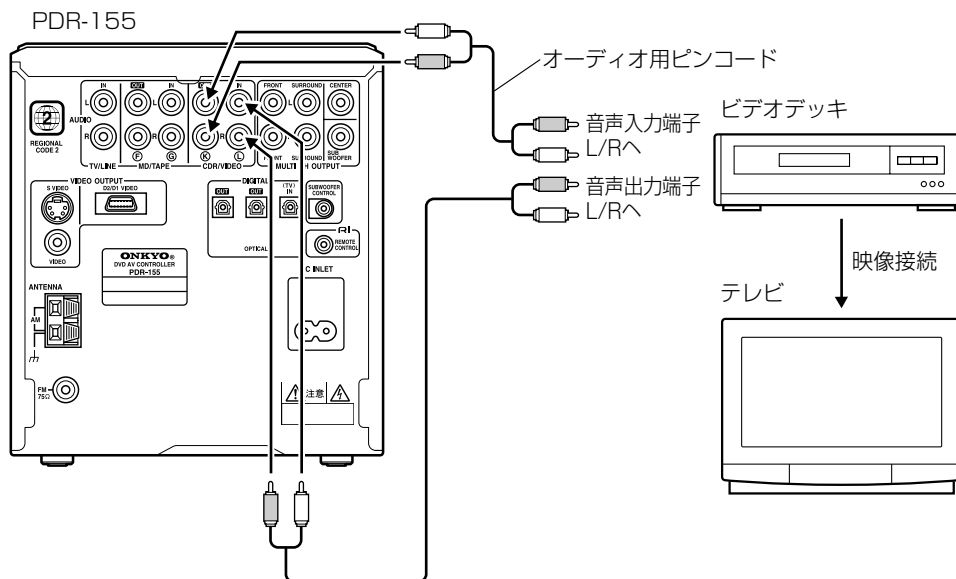
PDR-155のCDR/VIDEO AUDIO IN端子Ⓛと、CDR-201AのANALOG OUT端子Ⓛを接続します。
PDR-155のCDR/VIDEO AUDIO OUT端子Ⓚと、CDR-201AのANALOG IN端子Ⓚを接続します。

その他のCDレコーダー、ビデオデッキの場合

各機器のアナログ音声出力端子とPDR-155のCDR/VIDEO AUDIO IN端子を接続します。
各機器のアナログ音声入力端子とPDR-155のCDR/VIDEO AUDIO OUT端子を接続します。

PDR-155からCDレコーダーにデジタルで録音する場合は

光デジタルケーブルでPDR-155のDIGITAL OUTPUT端子とCDレコーダーのデジタル音声入力端子を接続します。CDR-201Aの場合は、DIGITAL INPUT 1に接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。
  接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質低下の原因となります。
- オーディオ用光デジタルケーブルを使用するときは、折り曲げたり、きつく巻いたりしないでください。
- すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。(☞41ページ)
- DIGITAL INPUT端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ず元通りに取り付けておいてください。
  接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

PDR-155とCDレコーダー(CDR-201A)の接続

PDR-155とビデオデッキの接続

■ RI機能について

INTEC155シリーズの組み合わせでRIケーブル、オーディオ用ピンコードを接続すると、次のシステム機能を使うことができます。RIケーブルとは、オンキヨーのシステム動作用ケーブルです。
(BASE-DR7には付属していません。)
INTEC155シリーズのMD-101A(MDレコーダー)、CDR-201A(CDレコーダー)と接続する場合

システム接続のしかた
(INTEC155 シリーズの接続)

本取扱説明書32～35ページをご覧ください。

オートパワーオン
PDR-155に接続されている機器の電源を入れたり、再生を始めると、PDR-155の電源が自動的に入ります。また、PDR-155の電源を切ると接続されている機器全体の電源も切れます。

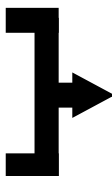
ダイレクトチェンジ
PDR-155に接続されている機器を再生すると、PDR-155の入力が自動的に切り換わります。

リモコン操作
PDR-155に付属のリモコンで各機器を操作することができます。

詳しくは本取扱説明書23ページをご覧ください。

タイマー操作
PDR-155でタイマー時間を設定し、タイマー操作や、タイマー録音ができます。

詳しくは本取扱説明書の90～96ページをご覧ください。

CDダビング
PDR-155にCDを入れるとMDレコーダー、CDレコーダーの組み合わせで便利なCDダビングがワンタッチで行えます。

好きな曲だけCDダビング
好きな曲だけをプログラムしてMDレコーダー、CDレコーダーへの録音がワンタッチで行えます。

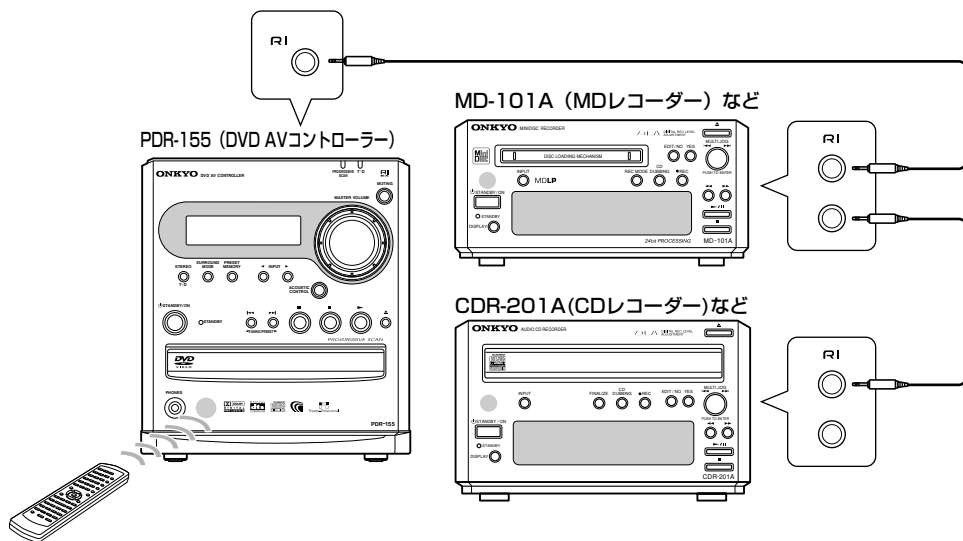
MD-101A、CDR-201Aの取扱説明書も合わせてご覧ください。
「好きな曲だけCDダビング」に関しては、本取扱説明書98ページをご覧ください。

- RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。32～35ページを参照し、オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。
- システム機能については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- PDR-155の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れる場合があります。電源コード接続時に他の機器（コンピューターなど）への影響を確認してください。支障が出ると予想される場合は、他のブレーカーから配線されたコンセントを使用してください。

■ RIケーブルの接続

RI端子付きオンキヨー製品と組み合わせて使用する場合、システム機能を使うことができます。
(BASE-DR7にはRIケーブルは付属していません。INTEC155シリーズの各機器に付属しているRIケーブルをご使用ください。)

- 操作はBASE-DR7に付属のリモコンを使用します。PDR-155のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

(例)

- RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
- RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

■ RI端子付きテレビとの連動について

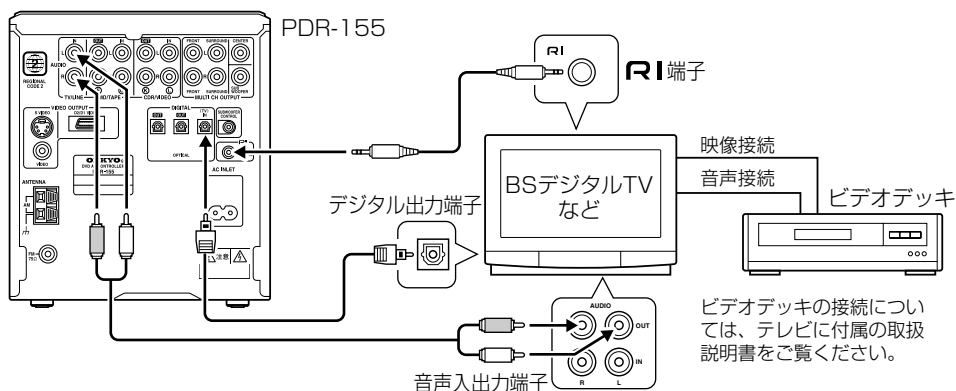
PDR-155はRI端子を持つテレビと接続すると、次のような動作が可能になります。

① テレビの電源を入れるとPDR-155も自動的に電源が入り、入力がテレビに切り換わります。このときテレビの音は消え、PDR-155に接続されたスピーカーから音が出ます。また、テレビの電源を切る（スタンバイにする）と、PDR-155も自動的にスタンバイ状態になります。ただし、PDR-155で他の入力を選んでいる場合は、スタンバイ状態になりません。

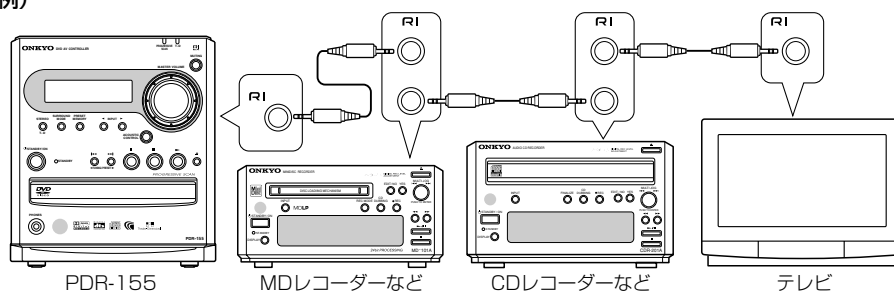
② テレビに付属のリモコンでPDR-155の音量調整、ミューティング（消音）ができます。

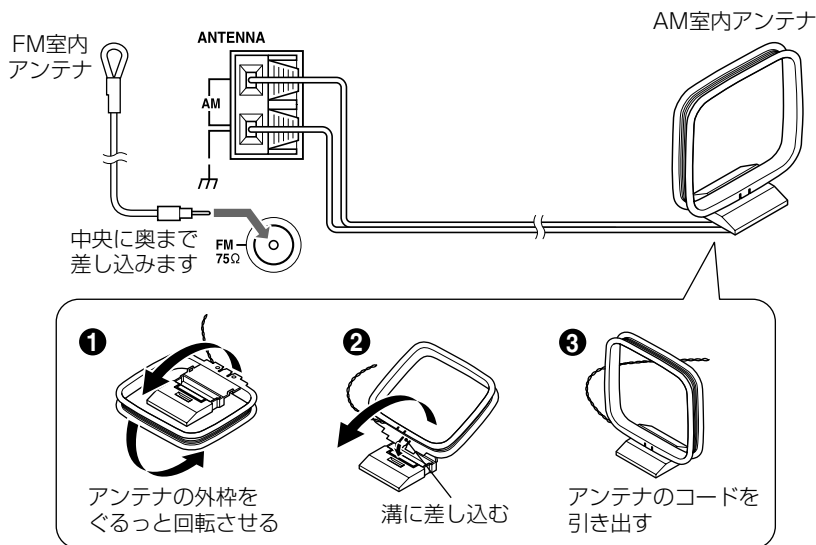
③ PDR-155をスタンバイ状態にすると、テレビの音が復帰し、テレビに付属のリモコンでテレビ側の機能（音量、消音）をコントロールできるようになります。

連動動作が可能なテレビについては、テレビのカタログや取扱説明書で、RI端子が装備されているかどうかをご確認ください。

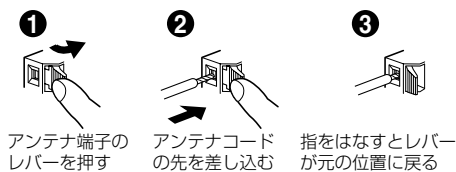
接続のしかた

他のオンキヨー製品を接続する場合は、RIケーブルでRI端子どうしを接続してください。RI端子が2つある製品の場合、2つの働きは同じですのでどちらにでも接続できます。

RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

例）

■ 室内アンテナの接続

付属のFM、AM室内アンテナをつなぐ

FM室内アンテナについて

電波の強い地域では、付属のFM室内アンテナで放送を聞くことができます。放送を聞きながらひずみや雑音の最も少ない位置に押しピンなどを使ってアンテナの端を固定してください。
室内アンテナで安定した受信ができないときは、屋外アンテナを設置して接続してください。

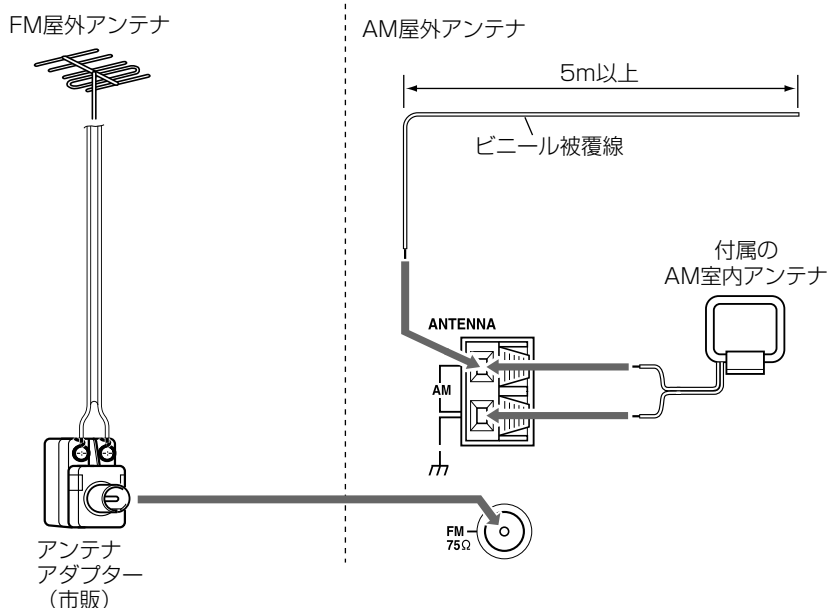
AMアンテナコードのつなぎかた

ご注意

雑音の原因になりますので、AM室内アンテナはPDR-155、パソコン、テレビ、接続コードからできるだけ離して設置してください。

AM室内アンテナについて

良好な受信状態になるように設置場所を変えたり、左右に回して調整してください。

■ 屋外アンテナの接続

FM、AM屋外アンテナをつなぐ

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などでAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。付属のAM室内アンテナは接続しておいてください。

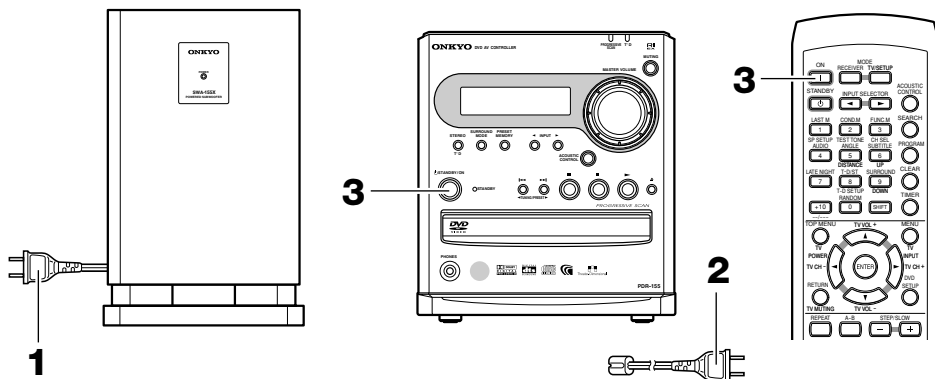
ご注意

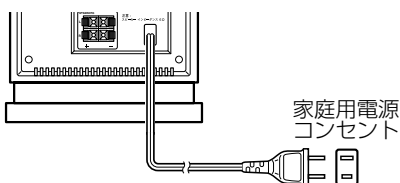
⚠ 送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

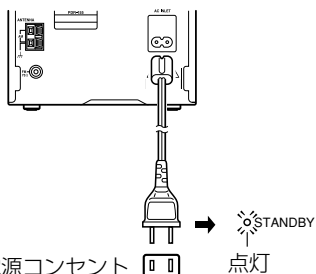
- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

電源を入れる

電源コードを接続する前に

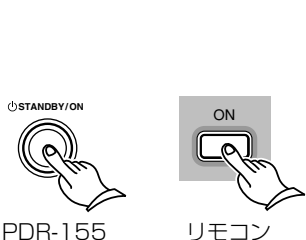
- 27～40ページの接続がすべて終了しているか確認してください。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

SWA-155Xの電源コードを家庭用電源コンセントにつなぐ

2

付属の電源コードをPDR-155背面のAC INLET（インレット）につなぎ、プラグを家庭用電源コンセントにつなぐ

家庭用電源コンセント　STANDBY　点灯

- 付属の電源コード以外の電源コードは使用しないでください。また、付属の電源コードはPDR-155以外の機器には使用しないでください。
- 感電の原因となるため、電源コードのプラグを壁の電源コンセントに接続したまま、PDR-155のAC INLETから電源コードを抜いたり、つないだりしないでください。

3

PDR-155

リモコン

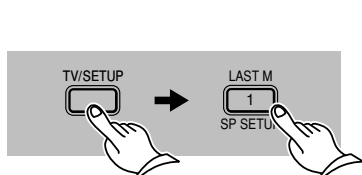
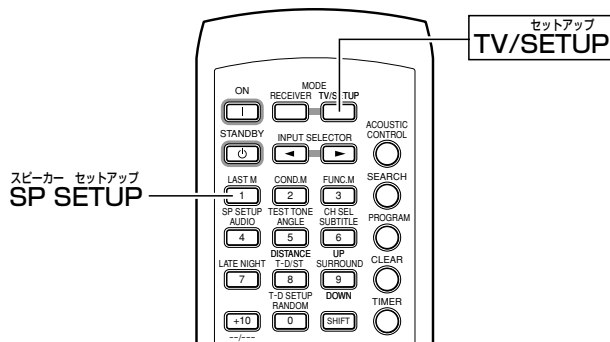
PDR-155のSTANDBY（スタンバイ）/ON（オン）ボタンまたは、リモコンのON（オン）ボタンを押して、電源を入れる

PDR-155の表示部が点灯し、サブウーファー（SWA-155X）のPOWER（パワー）インジケーターが点灯します。

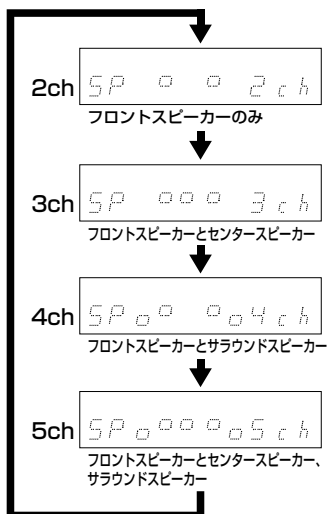
ヒント　リモコンのONボタンをもう一度押すと、RI接続をした機器も電源が入ります。

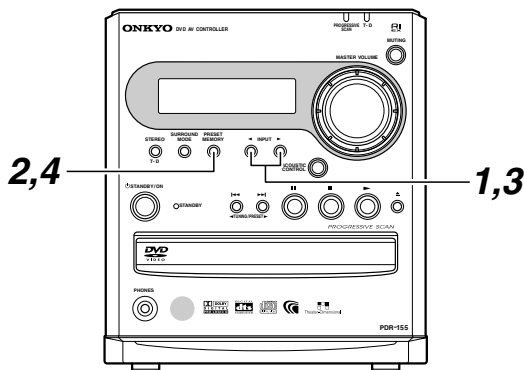
BASE-DR7(026-48)(SN 29343429A)　41　02.9.10, 4:24 PM
ブラック

スピーカーの数を設定する

BASE-DR7にはフロントスピーカー（D-M7）が2個付属していますが、別売のD-M3を増設すると、より本格的なホームシアターもお楽しみいただけます。
その場合、組み合わせるスピーカーの数によってサラウンド効果が変わるため、接続しているスピーカーの数を設定する必要があります。

リモコンのTV/SETUPボタンを押してから、SP SETUPボタンを（くり返し）押す

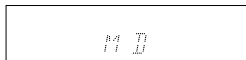
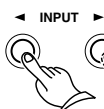
SP SETUPボタンを押すたびに、表示が左記のように切り換わりますので、現在接続しているスピーカーの数を設定してください。

- 約3秒後に元の表示に戻ります。
  （お買い上げ時は2chです。）

入力表示を切り換える

オンキヨーのRI端子付き製品をMD/TAPE、CDR/VIDEO端子のいずれかに接続した場合、ダイレクトチェンジ等のシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。

• 例：「MD」から「TAPE」に入力を切り換える場合

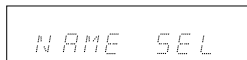
1

◄ INPUT ►

M D

INPUT▶ボタンまたは◀ボタンを押し、現在の入力を表示させる

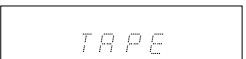
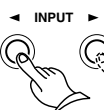
現在の入力「MD」が表示部に表示されます。

2

PRESET MEMORY

NAME SEL

PRESET MEMORYボタンを押して、入力選択表示にする

1秒間「NAME SEL」と表示します。

3

◄ INPUT ►

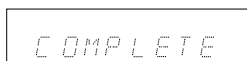
TAPE

INPUT▶ボタンまたは◀ボタンを押し、接続した機器を選ぶ

この場合は「TAPE」を選びます。

CDR ←→ VIDEO
または
MD ←→ TAPE

4

PRESET MEMORY

COMPLETE

PRESET MEMORYボタンを押す

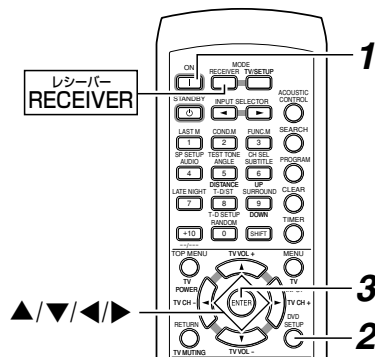
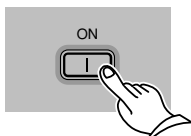
「COMPLETE」が表示され、入力の切り換えが完了します。

BASE-DR7(026-48)(SN 29343429A) 43 02.9.10, 4:24 PM
ブラック

セットアップナビゲーターを使う

■ セットアップナビゲーターを使って設定する（この機能を再生中に使うことはできません。）

テレビ画面を使って基本的な設定を行います。
より専門的な設定は初期設定画面で行います。
対話形式でDVDの設定を行います。表示される質問に答えていくと、DVDの設定が自動的に完了します。セットアップナビゲーターを開始すると以下のことが質問されます。
言語（画面表示言語）→テレビとの接続（テレビの種類）

1

ON（オン）ボタンを押して、電源が入った状態にする

PDR-155の▲（オープンクローズ）ボタンを押し、ディスクが入っていないことを確認してください。

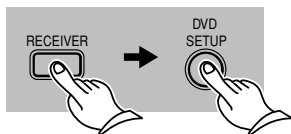
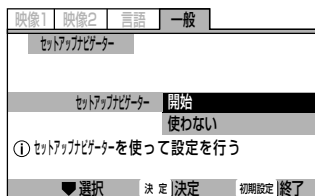
2

映像1	映像2	言語	一般

セットアップナビゲーター

セットアップナビゲーター	開始
	使わない

ⓘ セットアップナビゲーターを使って設定を行う

▼選択　決定 決定　初期設定 終了

NO DISC（ノー ディスク）表示の時に、RECEIVER（レシーバー）ボタンを押してからDVD SETUP（セットアップ）ボタンを押し、セットアップナビゲーター画面を表示する

開始：
セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない：
セットアップナビゲーターの設定がすでに完了しているとき選択します。「使わない」を選ぶと、停止時も「初期設定」画面（☞100ページ）が表示され、より専門的な設定を行います。

3

ENTER（エンター）ボタンを押して、セットアップナビゲーターを開始する

電源を入れただけではDVD部の機能は起動しません。DVD部が起動していない時は、▲ボタンを押し、DVD部を起動させてからセットアップナビゲーターを行ってください。

セットアップナビゲーターを使う

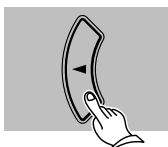
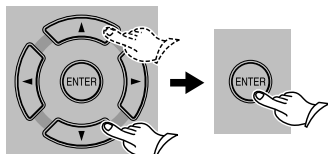
セットアップナビゲーター画面などの画面表示について

画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンの以下のボタンに対応しています。

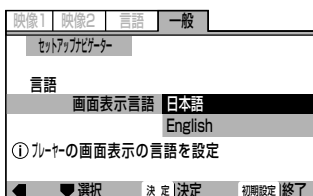
画面表示	◀▶▲▼	決定	初期設定	プログラム	画面表示	リターン
リモコンのボタン	◀/▶/▲/▼	ENTER	DVD SETUP	PROGRAM	DISPLAY	RETURN

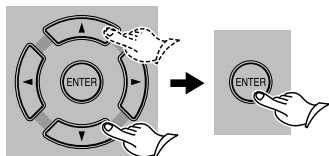
ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に選択している項目の簡単な説明が表示されますので、参考にしてください。

設定の途中で前の設定画面に戻るには

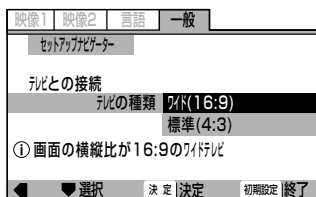
◀ボタンを押す

画面に表示する言語を選ぶ

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

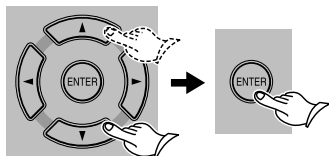
日本語：画面に表示される言語が日本語になります。

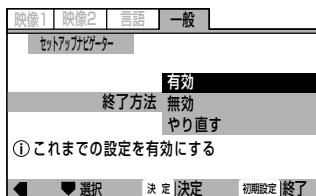
English：画面に表示される言語が英語になります。

セットアップナビゲーターを使う

接続しているテレビの種類を選ぶ

▲/▼ボタンで選び、ENTERボタンを押す

ワイド（16:9）：
ワイド(16:9)のテレビと接続したとき選択します。

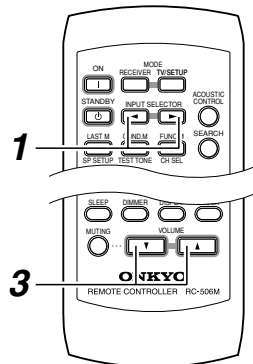
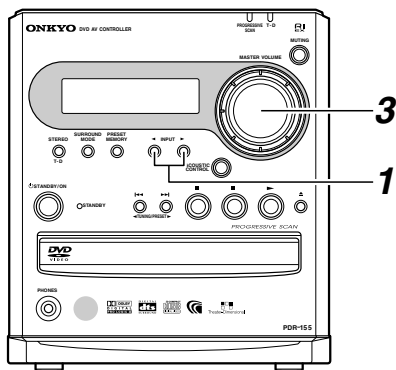
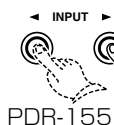
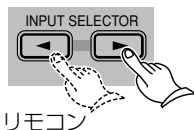
標準（4:3）：
従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

セットアップナビゲーターを終了する

設定した項目を有効にして終了するか、無効にして終了するか、またはやり直すかを選択します。

▲/▼ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

セットアップナビゲーターの設定をお買い上げ時に戻すには、電源を待機状態(スタンバイ状態)にして、ＰＤＲ-１５５の■（ストップ）ボタンを押しながらSTANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押してください(☞119ページ)。

有効： これまでの設定内容を有効にして終了します。

無効： これまでの設定内容を無効にして終了します。

やり直す： セットアップナビゲーターを使って行った設定を『画面表示言語』の設定からやり直します。

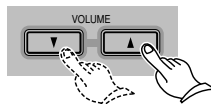
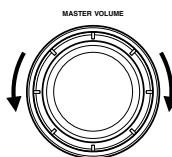
機器を選んで演奏を聞く

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

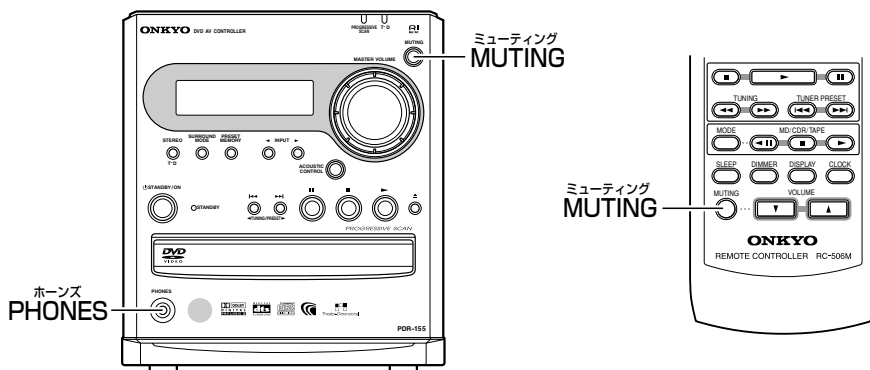
PDR-155のINPUT▶ボタンまたは◀ボタンかリモコンのINPUT SELECTORボタンを押して、演奏する機器を選ぶ

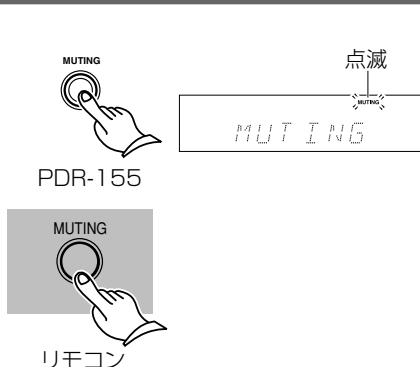
「DVD」は選べません。►ボタンや▲ボタンで直接切り換わります。

2

選んだ機器の演奏を始める

3

PDR-155のMASTER VOLUMEツマミまたはリモコンのVOLUMEボタンで音量を調整する

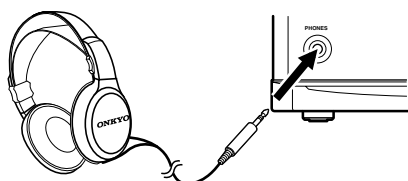
ボリュームはMin·1·2……78·79·Maxまでの範囲で調整できます。

■ 一時的に音量を小さくするには

リモコンのボタンは　　　で表示しています。

PDR-155またはリモコンのMUTING（ミューティング）ボタンを押す

MUTINGインジケーターが点滅し、音量がごく小さくなります。

解除するには…

もう一度MUTINGボタンを押してください。
（STANDBY（スタンバイ）ボタンを押した場合にも解除されます。）

■ ヘッドホンで聞くには

PHONES（ホーンズ）端子にステレオミニプラグのヘッドホンを接続する

接続するときは、音量を下げてください。
自動的にサラウンドモードがステレオになり、SWA-155Xの電源は切れますが、ヘッドホンで聞こえます。

DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

■ 再生を始める前に

- DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CD以外は再生しないでください。(☞「再生できるディスク」12ページ)
- DVDビデオ、ビデオCDを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力をPDR-155を接続した入力に切り換えてください。
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さがわずかに薄くなったり、色合いが変わったりする場合があります。この場合は、画質を調節してベストな状態にしてください。(☞106ページ)

■ DVD VCD CD MP3マークについて

DVD はDVDビデオの操作に関する説明です。

VCD はビデオCDの操作に関する説明です。

CD は音楽用CDに関する説明です。

MP3 はMP3を記録したディスクに関する説明です。PDR-155で再生できるMP3ディスクについては、13ページ「MP3の再生について」をご覧ください。

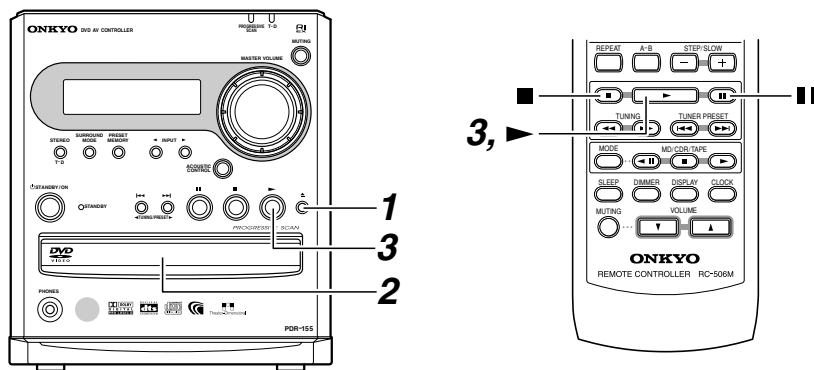
ご注意

- 再生中はPDR-155を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、PDR-155で再生可能なディスク以外のものをディスクトレイにセットしないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■(ストップ)ボタンを押してください。
- 電源を入れただけではDVD部の機能は起動しません。DVD部が起動していない時は、▲(オープン/クローズ)ボタンまたは▶(プレイ)ボタンを押してDVD部を起動させてください。

DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

■ ディスクの基本的な再生　DVD　VCD　CD　MP3

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

PDR-155の▲(オープン/クローズ)ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

2

ディスクをトレイに置く

ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

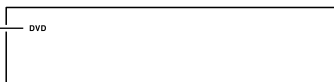
3

PDR-155　　リモコン

ディスクの種類 — DVD

PDR-155またはリモコンの►(プレイ)ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
ディスクによっては、手順***2***の後で▲ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。

テレビにメニュー画面があらわれたときは DVD VCD

「ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する」(☞54ページ)を参照してください。

ご注意

ディスクトレイに手を入れないでください。指をはさみ、けがの原因となることがあります。

DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

再生を一時停止する DVD VCD CD MP3

再生中に‖（ポーズ）ボタンを押す

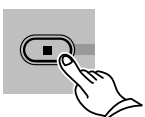
再生を再開するには、再度‖ボタン（または▶（プレイ）ボタン）を押してください。

スクリーンセーバー画面があらわれたときは

ディスク再生中、一定時間以上一時停止（ポーズ）状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。（この機能をオフにすることもできます。☞104ページ）

‖（または▶）ボタンを押すと再生画面が表示され、再度‖ボタン（または▶ボタン）を押すと再生が始まります。

CDなどでテレビをつけていなくても同様に、一定時間以上一時停止状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。再生するには、‖（または▶）ボタンを2回押します。

再生を停止する DVD VCD CD MP3

■（ストップ）ボタンを押す

DVDおよびビデオCDでは、PDR-155の表示部に「RESUME（リジューム）」と表示され、停止した場所を記憶します（リジューム機能）。CDおよびMP3では、この機能は働きません。

停止した場所から再生するには

▶ボタンを押してください。

リジューム機能を解除するには

再生停止後、もう一度■ボタンを押してください。また、ディスクを取り出すとリジューム機能は解除されます。

再生を止めたところから再生が始まるのは、止めた場所がPDR-155のメモリーに記録されているからですが、以下の場合はメモリーが初期化されます。

- ディスクトレイを開いたとき
- 『視聴制限』の設定を変えたとき（☞113ページ）や、『画面表示言語』を変えたとき（☞109ページ）

ディスクを取り出す DVD VCD CD MP3

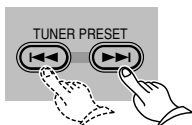
PDR-155の▲（オープンクローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開く

トレイが完全に開いたら、デイスクを取り出します。
その後、再度▲ボタンを押してトレイを閉じてください。

よりよい映像を得るためには DVD

DVDビデオを再生すると、通常はあらわれないノイズが時折画面にでることがあります。これはDVDビデオが高解像度で情報量が多いためです。ノイズ量はテレビにもよりますが、ノイズがでるときは、テレビのシャープネスをマイナス方向に調整してください。

DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

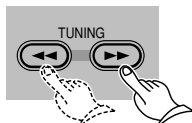
見たいチャプター/トラックにスキップする DVD VCD CD MP3

チャプター/トラックを頭出しします。

見たいチャプター/トラックに進むには

再生中にリモコンまたはPDR-155の▶▶▎ボタンを押します。

見たいチャプター/トラックに戻るには

再生中にリモコンまたはPDR-155の▎◀◀ボタンを押します。

早送り、早戻しをする DVD VCD CD MP3

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタン（またはPDR-155の▶▶▎ボタン）を押し続けます。
早送り中は画面に「▶▶1」が点滅します。

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタン（またはPDR-155の▎◀◀ボタン）を押し続けます。
早戻し中は画面に「◀◀1」が点滅します。

通常の再生に戻すには

見たい/聞きたい場所で指を離す

早送りの速さを変えるには

DVDでは3段階（1→2→3）、ビデオCD／CDでは2段階（1→2）に切り換えることができます。MP3では1段階のみとなります。

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す

押すたびに速さが次のように切り換わります。
（遅い）▶▶1→▶▶2→▶▶3（速い）

早戻しの速さを変えるには

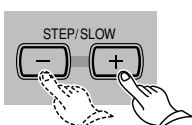
DVDでは3段階（1→2→3）、ビデオCD／CDでは2段階（1→2）に切り換えることができます。

再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す

押すたびに速さが次のように切り換わります。
（遅い）◀◀1→◀◀2→◀◀3（速い）

通常の再生に戻すには

▶（プレイ）ボタンを押します。

画面をコマ送りで見る DVD VCD

再生中または一時停止中にリモコンのSTEP（ステップ）/SLOW（スロー）＋ボタンを押す

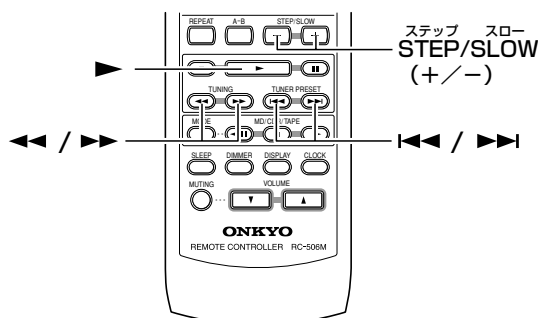
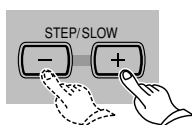
押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには

一時停止中にSTEP/SLOW －ボタンを押します。
押すたびに逆方向にコマ送りします。
ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

通常の再生に戻すには

▶（プレイ）ボタンを押します。

DVDビデオ、ビデオCD、音楽用CDを再生する

画像をスローで見る DVD VCD

リモコンのSTEP/SLOW＋ボタンを押し続ける

『1/16』と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にSTEP/SLOW＋ボタンを押します。
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
1/16→1/8→1/4→1/2→1/16

逆方向にスロー再生するには

STEP/SLOW－ボタンを押し続けます。
ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にSTEP/SLOW－ボタンを押します。
押すたびにスロー1とスロー2が切り換わります。

通常の再生に戻すには

►（プレイ）ボタンを押します。

ヒント

- DVDでは、停止中にI◄◄ボタンまたは►►Iボタンを押すと、タイトルの始めから再生します。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の『ポーズモード』を『フィールド』に切り換えてください（☞108ページ）。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画面が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は、マークまたはマークが画面に表示されます。

ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

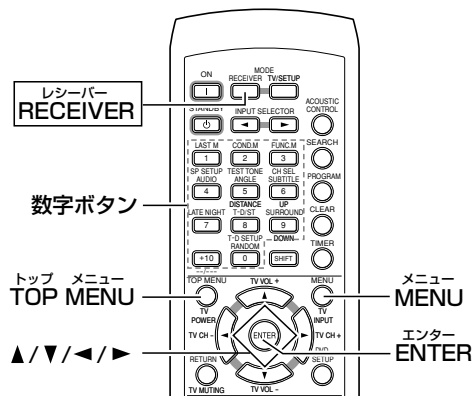
ディスクメニュー※について DVD

DVDビデオには、複数の言語や音声方式が含まれている場合があります。多くの場合、このようなDVDビデオは、メニューで言語(ディスクメニュー言語、音声、字幕など)や音声方式を選ぶことができます。ディスクメニューを表示するにはRECEIVER(レシーバー)ボタンを押してからMENU(メニュー)ボタンを押してください。メニューが表示されないときはTOP MENU(トップメニュー)ボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

タイトルメニュー※について DVD VCD

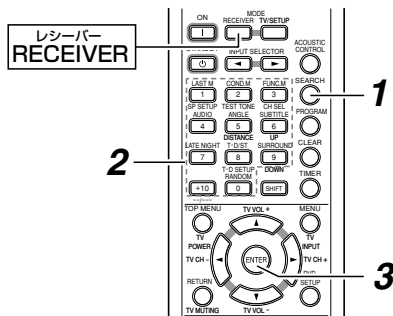
DVDビデオや、PBC(Playback Controlプレイバックコントロール)機能付きのビデオCD(☞13ページ「ビデオCDについて」)は、メニューでタイトルやチャプター(☞14ページ「ディスクに関する用語について」)を選べます。タイトルメニューを表示するにはRECEIVERボタンを押してからTOP MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはMENUボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

メニュー画面を出さずに(PBC再生を解除して)再生するときは、停止中に⏮/⏭ボタンまたはRECEIVERボタンを押してから数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、RECEIVER(レシーバー)ボタンを押してから▲/▼/◀/▶ボタンで項目や設定を選び、ENTER(エンター)ボタンを押して決定してください。
ビデオCDの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、RECEIVERボタンを押してから数字ボタンで項目や設定を選んでください。
操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。
※ ディスクにより、ディスクメニューやタイトルメニューに違う名称がつけられている場合があります。また、メインのメニューにディスクメニューやタイトルメニューが含まれている場合があります。

見たい / 聞きたい場所を探す

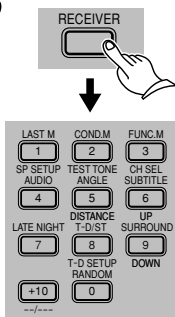
■ サーチモードを使って見たい/聞きたい場所を探す DVD VCD CD MP3

DVDのタイトル/チャプター、ビデオCD/CDのトラック、MP3のフォルダー/トラック、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい/聞きたい場所を探すことができます。

1

SEARCH(サーチ)ボタンを押してサーチの種類を選ぶ

押すたびに以下のように切り換わります。

2

LAST M / COND.M / FUNC.M / 1 / 2 / 3 / SP SETUP AUDIO / TEST TONE ANGLE / CH SEL SUBTITLE / 4 / 5 / 6 / LATE NIGHT / DISTANCE T-D/ST / UP SURROUND / 7 / 8 / 9 / T-D SETUP RANDOM / DOWN / +10 / 0 / --/---

希望のタイトル、チャプター、フォルダー、トラック、または再生を開始したい時間をRECEIVER(レシーバー)ボタンを押してから、数字ボタンで選ぶ

(タイトル/フォルダー、またはチャプター/トラック番号で探す)

例
- 3を選ぶには、3を押します。
- 10を選ぶには、1と0を押します。
- 37を選ぶには、3と7を押します。

(時間で探す(タイムサーチ))

例
- 21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。
- 1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、7、4、0、0と押します。

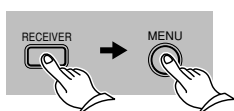
3

ENTER(エンター)ボタンを押す

- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。メニュー画面を表示させて選択してください(☞54ページ)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合はマークが画面に表示されます。
- DVDまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- DVDでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生中、タイムサーチはできません。PBC再生を解除してください(☞54ページ)。
- CD、およびMP3ではタイムサーチはできません。

見たい / 聞きたい場所を探す

MP3ナビゲーターを使って聞きたいトラックを探す

1

RECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、MENU（メニュー）ボタンを押す

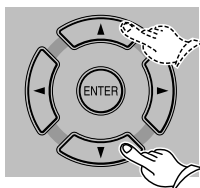
MP3ナビゲーター画面が表示されます。

『例』

現在再生中のフォルダー番号ートラック番号

選択しているフォルダー内の総トラック数

総フォルダー数

2

▲/▼ボタンで聞きたいフォルダーを選ぶ

▲/▼ボタンを押し続けると、前/次のフォルダーの選択画面に切り換わります。

さらにトラック(曲)を選んで再生するには

①**▶ボタンを押す**
選択項目がトラックの欄に移動します。

② **▲/▼ボタンで聞きたいトラックを選ぶ**
▲/▼ボタンを押し続けると、前/次のトラックの選択画面に切り換わります。

③ **選んだトラックをプログラムして再生したいときはPROGRAM（プログラム）ボタンを押す**
押した回数だけプログラムします。
「プログラムマーク（ ）」が表示されます。プログラム再生するには「MP3をプログラム再生する」をご覧ください(☞62ページ)。
プログラムからトラックを削除するにはCLEAR（クリア）ボタンを押します。

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

選んだフォルダー/トラックを再生します。

PDR-155に対応していないフォルダー/トラックを選んだときは「UNPLAYABLE（アンプレイアブル） MP3 FORMAT（フォーマット）」と表示され、自動的にそのフォルダー/トラックを飛ばして再生を始めます。

ダイレクトサーチ

数字ボタンを押すだけで見たい／聞きたい場所を探すことができます。

DVDのタイトル、またはチャプターをダイレクトサーチするには

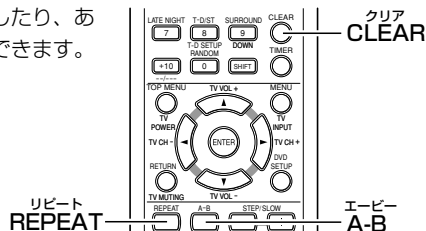
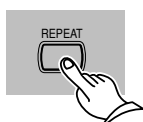
以下のいずれかの操作をします。18を選ぶには+10、8また、20を選ぶには+10、+10、0と押します。

- 停止中に希望のタイトルをRECEIVERボタンを押してから、数字ボタンで選びます。
- 再生中に希望のチャプターをRECEIVERボタンを押してから、数字ボタンで選びます。

CD／VIDEO CD／MP3のトラックをダイレクトサーチするには

希望のトラックをRECEIVERボタンを押してから、数字ボタンで選びます。

いろいろな再生－リピート再生

選んだタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生したり、ある部分を選び、そこだけくり返し再生したりすることができます。

選んだタイトル、チャプター、トラックをくり返し再生する DVD VCD CD MP3

再生中のチャプター/トラックをくり返すには

REPEATボタンを1回押します。

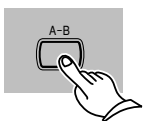
再生中のタイトル/フォルダーをくり返すには

REPEATボタンを2回押します。

再生中のディスクをくり返すには

VCD、CDの場合　REPEATボタンを2回押します。
MP3の場合　REPEATボタンを3回押します。

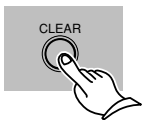
選んだ部分だけをくり返して再生する－A-Bリピート再生 DVD VCD CD

A点とB点を選び、A点からB点までをくり返し再生します。

指定した範囲をくり返し再生するには

1. 再生中にくり返したい場所の始めでA-Bボタンを押します。
2. くり返したい範囲の終わりでA-Bボタンを押します。

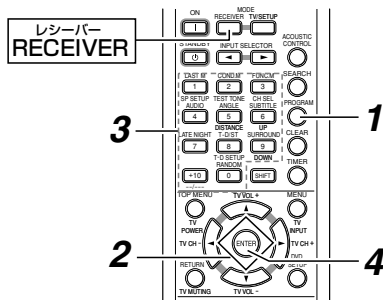
指定した範囲に戻って再生するには

1. 再生中に戻る先として指定したい箇所でA-Bボタンを押します。
2. 戻りたいときに▶ボタンを押します。

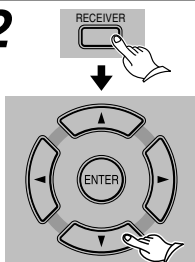
通常の再生に戻す

CLEARボタンを押す、または
REPEATボタンを押してオフを選ぶ

- DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、🚫マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート再生できません。PBC再生を解除してからREPEATボタンを押します（☞54ページ）。
- プログラム再生中（☞58ページ）にREPEATボタンを押すと、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生中にアングルを切り換える（☞64ページ）とリピート再生は解除されます。

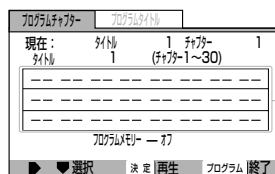
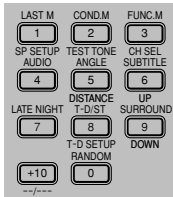
いろいろな再生－プログラム再生

DVDのタイトル/チャプター、ビデオCD/CDのトラック、MP3のフォルダー/トラックを希望の順番に並べ換えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

■ DVD/CD/VIDEO CDのタイトル/チャプター、またはトラックをプログラムする DVD VCD CD

1 PROGRAMボタンを押す

プログラム画面が表示されます。
DVDのときは◀/▶ボタンで『プログラムチャプター』、または『プログラムタイトル』を選びます。ビデオCD、またはCDのときは手順***3***に進みます。

2 RECEIVERボタンを押してから▼ボタンを押して、プログラム入力画面に移項する

『プログラムチャプター』の画面でタイトル番号を変えたいときは、以下の手順で操作します。
1 プログラム入力画面の最上段で▲ボタンを押します。
2 数字ボタンを押してタイトルを指定します。

例　DVDのプログラム画面

3 再生したい順にタイトル/チャプター、またはトラックを数字ボタンで指定する

例 9、7、18の順にプログラムするには、9、7、+10、8と押します。
30の場合は、+10、+10、+10、0と押します。

4 ENTERボタンを押して、プログラム再生を始める

プログラム再生しないで画面を終了するにはPROGRAMボタンを押します。

ヒント

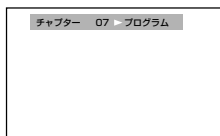
- DVDによってはプログラム再生できないものがあります。そのときは🚫マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生中にプログラム再生することはできません。PBC再生を解除してください(☞54ページ)。
- チャプターをプログラムするときは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムすることができます。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。これは故障ではありません。

再生中のチャプター/トラックを確認しながらプログラムする

1

チャプター　07 ▶プログラム

プログラムしたいチャプター、またはトラックを再生中にPROGRAMボタンを1秒以上押す

左の画面が表示されるまで押し続けてください。
プログラムに追加したいときはこの操作をくり返します。

2

PROGRAMボタンを押す

プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるにはENTERボタンを押します。
プログラム再生しないで画面を終了するにはPROGRAMボタンを押します。

- すでに『プログラムタイトル』が入力されているときは、チャプターではなくタイトルがプログラムされます。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときはが表示され、プログラムを入力することができません。
- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときはが表示され、プログラムを追加することはできません。

いろいろな再生ープログラム再生

プログラムの内容を確認する

PROGRAMボタンを押す

DVDでは、◀/▶ボタンで『プログラムチャプター』、または『プログラムタイトル』を選びます。

プログラムを挿入する

プログラム入力画面で挿入したい場所をRECEIVERボタンを押してから▲/▼/◀/▶ボタンで指定した後、数字ボタンでプログラムしたいタイトル、チャプター/トラックを選びます。

通常の再生に戻す

プログラム再生中にCLEARボタンを押します。

プログラムを消去する

プログラムの内容を1つずつ消去するには

プログラム入力画面で消去したい番号をRECEIVERボタンを押してから▲/▼/◀/▶ボタンで選び、CLEARボタンを押します。
指定された番号が消去され、後ろの番号が1つ前に移動します。

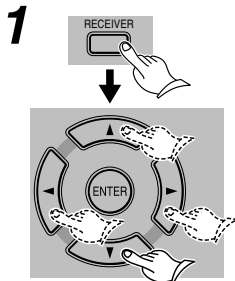
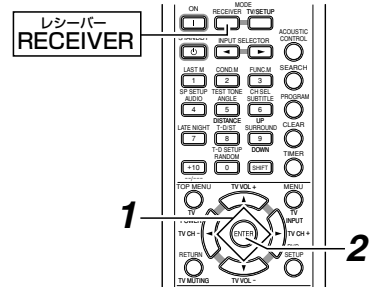
プログラムした内容をすべて消去するには

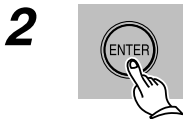
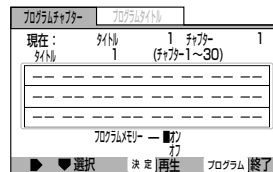
以下のいずれかの操作をします。

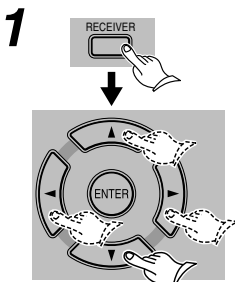
- **ディスクを取り出す**
- **停止中にCLEARボタンを押す**

いろいろな再生－プログラム再生

■ DVDのプログラムを記憶する（プログラムメモリー）DVD

ディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1 プログラム画面でRECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、『プログラムメモリー』の『オン』を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ

例　DVDのプログラム画面

2 ENTER（エンター）ボタンを押す

記憶したプログラムを消去するには

1 プログラム画面でRECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、『プログラムメモリー』の『オフ』を▲/▼/◀/▶ボタンで選ぶ

2 ENTERボタンを押す

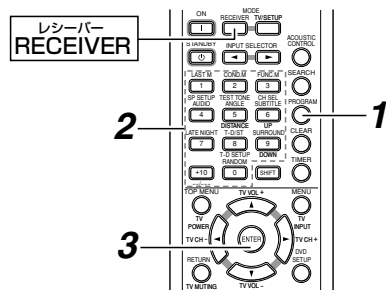
プログラム入力画面に数字は残ったままです。

BASE-DR7(049-63)(SN 29343429A)　61　02.9.10, 4:27 PM
ブラック

いろいろな再生－プログラム再生

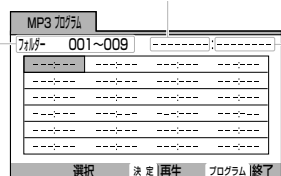
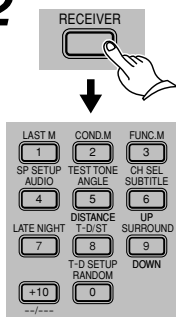
■ MP3をプログラム再生する MP3

- MP3ナビゲーターでもトラックをプログラムすることができます（☞56ページ）。
- フォルダー名、またはトラック名が半角英数字以外でつけられているときは、「F_001」、「T_001」のように番号で表示されます。半角英数字以外を表示することはできません。

1

PROGRAM（プログラム）ボタンを押す

プログラム画面が表示されます。
すでにMP3ナビゲーターでトラックをプログラムしているときはフォルダー、およびトラック番号がプログラム画面に表示されます。

総フォルダー数　フォルダー名　トラック名

MP3 プログラム
フォルダー 001~009
選択　決定 再生　プログラム 終了

2

プログラム再生したい順にフォルダー/トラック番号をRECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、数字ボタンで指定する

（フォルダー5、トラック13をプログラムするには）

以下の手順で操作します。

1　**数字ボタンの5を押す**
　フォルダー5がプログラムされます。

2　**数字ボタンの＋10、3を押す**
　トラック13がプログラムされます。

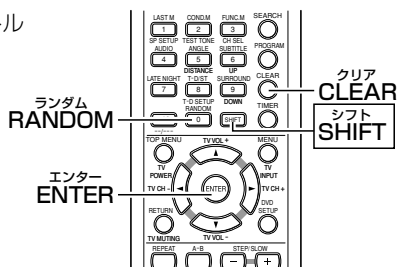
さらにプログラムするには手順***2***の操作をくり返します。

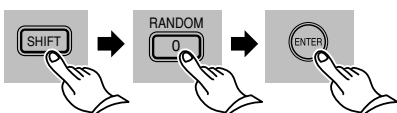
3

ENTER（エンター）ボタンを押す

プログラムした順に再生を始めます。
プログラム再生をしないでプログラム画面を終了するときはPROGRAMボタンを押します。

いろいろな再生－ランダム再生

タイトルや、チャプター、トラック、また、特定のタイトル内のチャプターをランダムに再生することができます。

DVDをランダムに再生する DVD

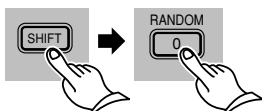
●再生中のタイトル内のチャプター(場面)をランダムに再生するには

SHIFT（シフト）ボタンを押してから10秒以内に、RANDOM（ランダム）ボタンを押し、ENTER（エンター）ボタンを押す

すべてのチャプターの再生が終了すると自動的に停止します。

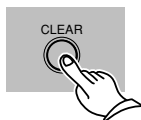
●再生中のタイトルをランダムに再生するには

SHIFT（シフト）ボタンを押してから10秒以内に、RANDOMボタンを2回押し、ENTERボタンを押す

すべてのタイトルの再生が終了すると自動的に停止します。

CD/VIDEO CD/MP3をランダムに再生する VCD CD MP3

再生中にSHIFTボタンを押してから10秒以内に、RANDOM（ランダム）ボタンを押す

すべてのトラックの再生が終了すると自動的に停止します。

通常の再生に戻す

CLEAR（クリア）ボタンを押す

DVDでは現在再生されているタイトルまたはチャプターから通常の再生に戻ります。CD/VIDEO CD/MP3では現在再生されているトラックから通常の再生に戻ります。

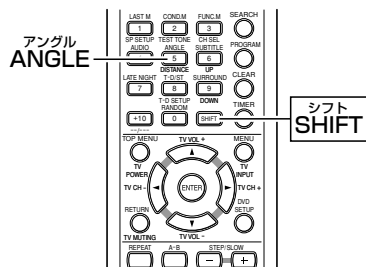
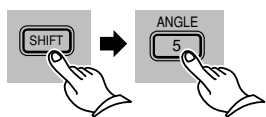
ヒント

- ディスクによってはランダム再生できないものがあります。
- DVDのランダム再生中に▶▶▎ボタン(CD/VIDEO CD/MP3では▶▶▎ボタンまたはRANDOMボタン)を押すと、順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に▎◀◀ボタンを押すと、現在再生中のタイトル、トラックまたはチャプターを始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生中はランダム再生できません。PBC再生を解除してください。(☞54ページ)
- チャプターまたはトラックをプログラム再生中にランダム再生すると、プログラムは解除されます。
- ランダム再生をくり返して再生することはできません。

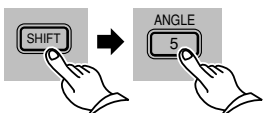
カメラアングルを切り換える

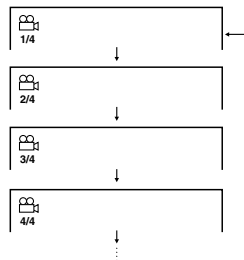
■ カメラアングルを切り換えるには DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1

マークが表示されたら、SHIFTボタンを押してから10秒以内に、ANGLEボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると、マークがテレビ画面に表示されます。

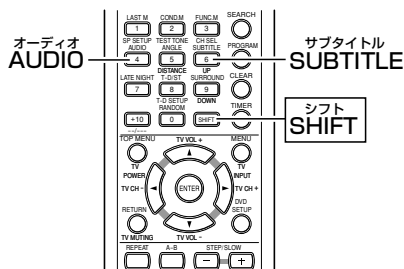
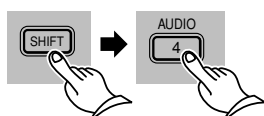
2

さらにANGLEボタンを押し、SHIFTボタンを押してから10秒以内に、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

テレビ画面上のマークを消すには

マークを表示させたくないときは、初期設定画面の『アングルインジケーター』を『オフ』にします（☞108ページ）。

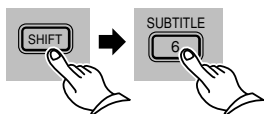
- ディスクによってはマークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

再生中に音声/字幕を切り換える

再生中に音声を切り換える DVD VCD MP3

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。
ビデオCDまたはMP3ではステレオ、1/L(左)、2/R(右)を切り換えることができます。

再生中にSHIFT(シフト)ボタンを押してから10秒以内に、AUDIO(オーディオ)ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

再生中に字幕を切り換える DVD

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

再生中にSHIFTボタンを押してから10秒以内に、SUBTITLE(サブタイトル)ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります。

字幕を消すには

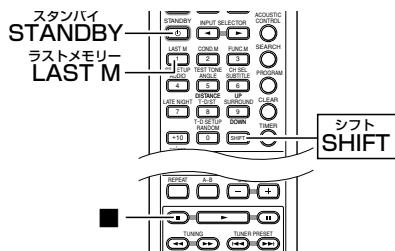
以下のいずれかの操作をします。

- **SUBTITLEボタンを押した後にCLEAR(クリア)ボタンを押す**
- **SUBTITLEボタンを（くり返し）押してオフを選ぶ**

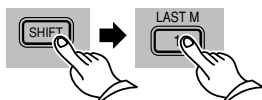
- ここで切り換えた音声/字幕の設定は、以下のようなとき初期設定画面(☞100ページ)の設定に戻ります。
- リジューム機能(☞51ページ)を解除したとき
- ディスクを取り出したとき
- 再生中のディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットになど書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。
- 設定内容はテレビ画面でのみ確認できます。MP3の音声を切り換える場合は、テレビ画面で確認してください。ただし、MP3ナビゲーター表示中は切り換えれません。
- DVDの中には、再生中にリモコンのAUDIO(オーディオ)ボタンまたはSUBTITLE(サブタイトル)ボタンで音声/字幕を切り換えることができないディスクがあります。このようなときはディスクのメニュー画面で切り換えてください(☞54ページ)。

BASE-DR7(064-78)(SN 29343429A) 65 02.9.10, 4:28 PM
ブラック

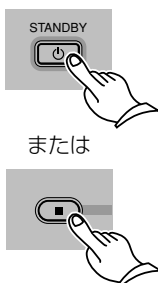
前に見たディスクのつづきを再生するーラストメモリー

つづきから見る場所、およびそのときの設定内容をDVDは5枚まで記憶させておくことができます。リジューム機能（☞51ページ）と違い、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。ビデオCDではディスクを取り出すと記憶が消去されます。

■ つづきから見る場所を記憶する DVD VCD

1

再生中にSHIFT（シフト）ボタンを押してから10秒以内に、LAST M（ラスト メモリー）ボタンを押す

画面に「ラストメモリー」と表示されます。
押すたびに記憶する場所が変わります。

2

または

STANDBY（スタンバイ）ボタンを押して電源を切る、または■（ストップ）ボタンを押す

ヒント

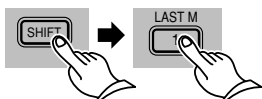
- DVDにはラストメモリーできないものがあります。
- DVDでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ビデオCDのPBC再生中は、ラストメモリー再生ができない場所があります。PBC再生を解除してください（☞54ページ）。

■ つづきから見る DVD VCD

1

つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる

DVDにはディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、■ボタンを押してください。

2

SHIFTボタンを押してから10秒以内に、LAST Mボタンを押す

記憶している場所から再生を始めます。
ラストメモリーを記憶させたディスクでも、►（プレイ）ボタン押すとディスクの始めから再生を始めます。

ラストメモリーを消去するには

1 **つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる**
DVDには、ディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。このときは、■ボタンを押してください。

2 **SHIFTボタンを押してから10秒以内に、LAST Mボタンを押す**
記憶している場所から再生を始めます。

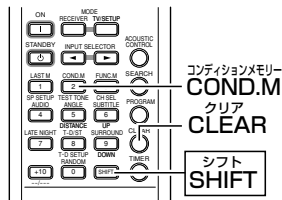
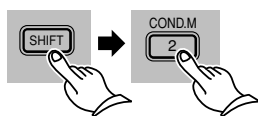
3 **LAST Mボタンを押す**
画面に「ラストメモリー」と表示されます。

4 **画面に「ラストメモリー」と表示されている間にCLEAR（クリア）ボタンを押す**
表示部のLAST表示が消灯します。

BASE-DR7(064-78)(SN 29343429A) 66 02.9.10, 4:28 PM
ブラック

よく見るDVDの設定を記憶させる– コンディションメモリー

■ DVDの設定内容を記憶する DVD

よく見るDVDの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。
電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。

1

ディスクが入っている状態で再生中にSHIFT（シフト）ボタンを押してから10秒以内に、COND.M（コンディションメモリー）ボタンを押す

画面に「コンディションメモリー」と表示されます。記憶できる設定は以下の6つです。

●音声言語（☞109ページ）
●画質調整（☞105～107ページ）
●字幕言語（☞109ページ）
●画面表示の位置（☞108ページ）
●カメラアングル（☞64ページ）
●視聴制限（☞113ページ）

記憶してあるディスクを入れると画面に「コンディションメモリー」と表示され、自動的に記憶された設定になります。ディスクを読み込むと「COND_MEM」と表示します。

コンディションメモリーを消去するには

1 SHIFTボタンを押してから10秒以内に、COND. Mボタンを押す
画面に「コンディションメモリー」と表示されます。

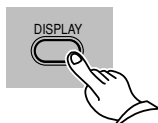
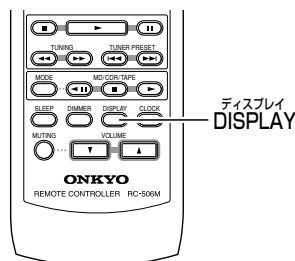
2 画面に「コンディションメモリー」と表示されている間にCLEAR（クリア）ボタンを押す

ヒント

- DVDにはコンディションメモリーできないものがあります。
- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。
- コンディションメモリーの中の項目の設定を変更したいときは、再生中にCOND.Mボタンを押して変更してください。

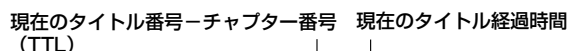
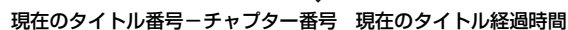
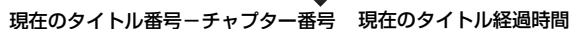
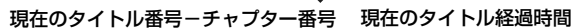
ディスクの情報を見る

■ 再生中にディスクの情報を見る DVD VCD CD MP3

DVDのタイトル／チャプター情報、ビデオCD／CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー／トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類（DVD、ビデオCD、 CD、およびMP3）によって異なります。

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンをくり返し押す

押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。

DVDの情報を見る

タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

*1 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

ご注意　ディスクによっては経過時間や残り時間を表示できないものがあります。

ディスクの情報を見る

CDの情報を見る

ファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

MP3の情報を見る

フォルダー内のトラック番号／
フォルダー内の総トラック数　現在のトラックの経過時間

トラックの名前

フォルダー番号/総フォルダー数　現在のトラックの経過時間

フォルダーの名前

フォルダー番号－トラック番号　現在のトラックの経過時間

トラックの残り時間　トラックの総時間

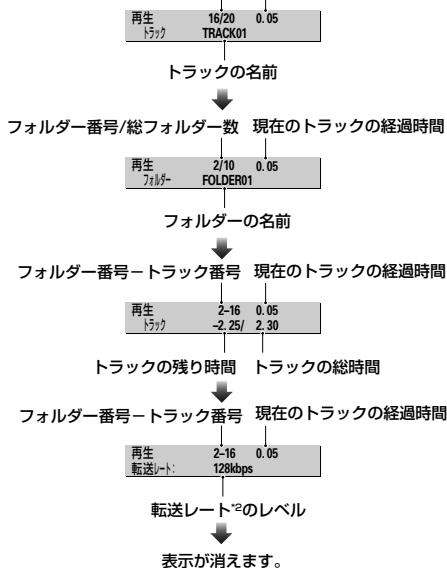
フォルダー番号－トラック番号　現在のトラックの経過時間

再生 2–16 0. 05
転送レート: 128kbps

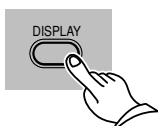
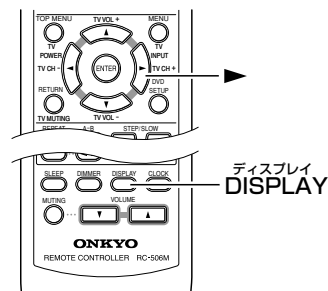
転送レート*2のレベル

表示が消えます。

*2 転送レートとは、MP3情報量を示す値です。

ビデオCDの情報を見る

ビデオCDのPBC再生中は、表示されないディスク情報があります。

ディスクの情報を見る

■ 停止中にディスクの情報を見る DVD VCD CD MP3

停止中にDISPLAY(ディスプレイ)ボタンをくり返し押す

ディスク情報の画面が表示されます。ディスクの情報が2ページ以上ある時は、RECEIVER(レシーバー)ボタンを押してから、▶ボタンを押すと次の画面が表示されます。

DVDの情報を見る

タイトル番号とそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

インフォメーション: DVD

タイトル	チャプター	タイトル	チャプター
01	1〜30	06	1〜10
02	1〜21	07	1〜13
03	1〜46	08	1〜 5
04	1〜12	09	1〜 4
05	1〜 8	10	1〜 3

1/2 ▶ 画面表示 終了

情報が2ページあり、現在の画面がその1ページ目であることを表します。

CD/ビデオCDの情報を見る

トラック番号とそれぞれのトラックの総時間が表示されます。

インフォメーション：コンパクトディスク

トータルタイム 70.49

トラック	タイム	トラック	タイム
01	3.59	06	4.20
02	5.04	07	5.05
03	4.53	08	4.02
04	4.11	09	4.07
05	3.56	10	3.45

1/2 ▶ 画面表示 終了

MP3の情報を見る

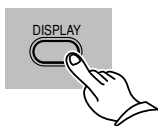
フォルダー番号とそれぞれのフォルダー内のトラック数が表示されます。

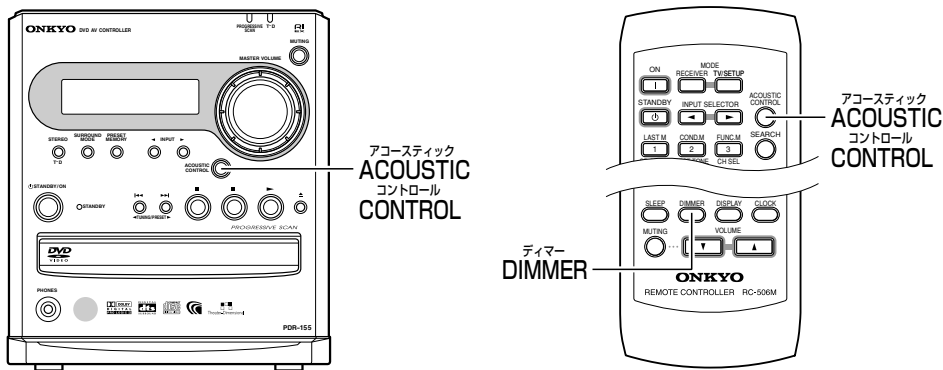
インフォメーション: MP3

フォルダー	トラック	フォルダー	トラック
01	1〜30	06	1〜10
02	1〜21	07	1〜13
03	1〜46	08	1〜 5
04	1〜12	09	1〜 4
05	1〜 8	10	1〜 3

1/2 ▶ 画面表示 終了

ディスク情報を消すには

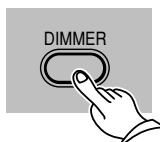
DISPLAYボタンをもう一度押します。

重低音/高音を強調する

PDR-155またはリモコンで重低音/高音を強調することができます。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

PDR-155またはリモコンのACOUSTIC CONTROL（アコースティック コントロール）ボタンを押して、音質を調整する

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

A.CTRL 1	重低音が強調されます。
A.CTRL 2	重低音が強調され、高音も強調されます。
A.CTRL OFF	通常の音質です。

表示部の明るさを変える...DIMMER（ディマー）機能

リモコンのDIMMER（ディマー）ボタンを押す

押すたびに表示部の明るさが3段階に切り換わります。

→ふつう →やや暗い →暗い →（ふつうに戻る）

サラウンドモードを楽しむ

■ サラウンドモードについて

BASE-DR7のサラウンド再生によって、お部屋にいながら映画館やコンサートホールなどの臨場感あふれる雰囲気を味わっていただけます。
最適なサラウンド再生をお楽しみいただくためには、スピーカーの設定を行う必要があります。(☞77ページ)PDR-155には以下のサラウンドモードがあります。

STEREO（ステレオ）

左右フロントスピーカーとサブウーファーから出力されます。

Theater-Dimensional（シアター ディメンショナル）

2つまたは3つのスピーカーでマルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。

別売のD-M3を増設し、「スピーカーの数」を正しく設定すると、以下のサラウンドモードがお楽しみいただけます。(☞42ページ)

DOLBY DIGITAL（ドルビー デジタル）

DTS (Digital Theater System)（デジタル シアター システム）

MPEG-2 AAC（エムペグ）

劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサウンドが体験できるサラウンドモードです。DOLBY DIGITALは、DOLBY DIGITALマーク、DTSはDTS DIGITAL SURROUNDマークのついたDVD、LD、CDなどの再生時に楽しむことができます。MPEG-2 AACは、BSデジタル放送で採用されている音声フォーマットです。この方式のソースの再生時に楽しむことができます。

DOLBY PRO LOGIC II（ドルビー プロ ロジック）

映画に最適なMovie（ムービー）モードと音楽再生に最適なMusic（ミュージック）モードの2つのモードが選択できます。Movieモードでは、従来モノラルで帯域の狭かったサラウンドチャンネルがステレオ再生になり、より移動感のある再生が楽しめます。また、Musicモードでは、2チャンネルの音楽に対しても自然な音場感をサラウンドチャンネルより再生します。DOLBY PRO LOGIC IIは、DOLBY SURROUNDマークのついたVHSやDVDビデオ、または一部のテレビ番組再生時に楽しむことができます。また、MusicモードはCDなどのステレオ音楽やライブを記録したDVDにも適しています。

オンキヨー独自のサラウンドモード(DSP)

ドルビーデジタルまたはDTS以外の信号を再生するときは、オンキヨー独自のサラウンドモードを楽しむことができます。

ORCHESTRA（オーケストラ）

クラッシックやオペラに適したモード。
センターチャンネルをカットするとともに、音声イメージが全体に広がるようなサラウンド感を強調。大ホールで聞いているような自然な響きが楽しめます。

UNPLUGGED（アンプラグド）

アコースティックやボーカル、ジャズなどに適したモード。フロントの音場イメージを重視することで、あたかもステージの前で聞いているような音場イメージをつくります。

STUDIO-MIX（スタジオ ミックス）

ロック、ポピュラーミュージックなどに適したモード。パワフルな音響イメージを再現した臨場感あふれるサウンドは、あなたをあたかもクラブハウスにいるような気分にするでしょう。

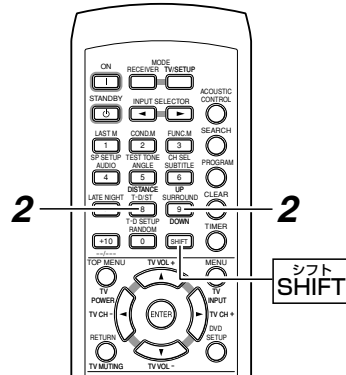
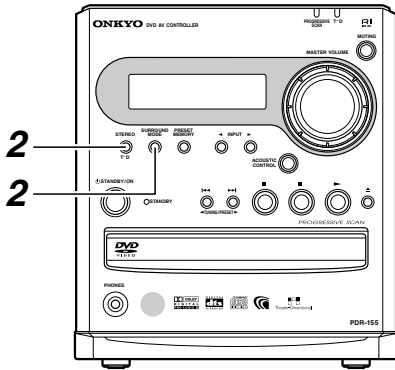
TV LOGIC（ティーヴィーロジック）

放送局のスタジオから放映されているテレビ放送に適したモード。局のスタジオにいるような臨場感を高めます。すべてのサラウンド音声を強調し、会話音声を明瞭にします。

ALLCH ST（オールチャンネルステレオ）

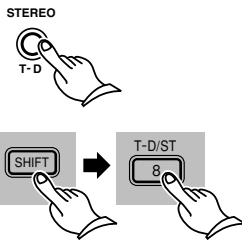
BGMとして音楽をかける時に便利なモード。サラウンドスピーカーもフロントスピーカーと同じ音が出て迫力ある音場をお楽しみいただけます。

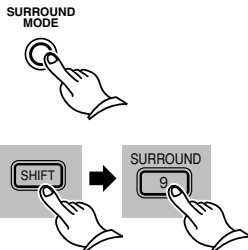
サラウンドモードを楽しむ

■ サラウンドモードを切り換える

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

選んだ機器を演奏する

2

●フロントスピーカーのみの場合（2ch）

PDR-155のSTEREO/T-Dボタンを押して、ステレオとシアターディメンショナルを切り換えます。
リモコンではSHIFTボタンを押して10秒以内に、T-D/STボタンを押して切り換えます。

●スピーカーを増設している場合（3ch以上）

PDR-155のSURROUND MODEボタンをくり返し押して、サラウンドモードを選ぶこともできます。
リモコンではSHIFTボタンを押して10秒以内に、SURROUNDボタンをくり返し押して選びます。
（スピーカーの数を正しく設定していることが必要です。☞42ページ）

ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。選べるモードは入力される信号の種類によって異なります。（次ページをご覧ください。）

再生するソースと対応するサラウンドモード

最低限必要なスピーカー数	再生するソースフォーマット*	ANALOG/PCM	DOLBY D 2/0以外	DOLBY D 2/0	DTS	AAC 2/0以外	AAC 2/0
	ソースとなるソフト / サラウンドモード	カセット、CD ビデオ、チューナー	DVDビデオ		DVDビデオ LD、CD	BSデジタル	
2ch	STEREO	●	●	●	●	●	●
	THEATER-DIMENSIONAL	●	●	●	●		
別売のD-M3を増設し、「スピーカーの数」を正しく設定すると以下のサラウンドモードがお楽しみいただけます。							
3ch	DOLBY D		●				
	AAC					●	
	DTS				●		
	PL II MOVIE	●		●			●
	PL II MUSIC	●		●			●
4ch	ORCHESTRA	●					
	UNPLUGGED	●					
	STUDIO-MIX	●					
	TV LOGIC	●					
	ALLCH ST	●					

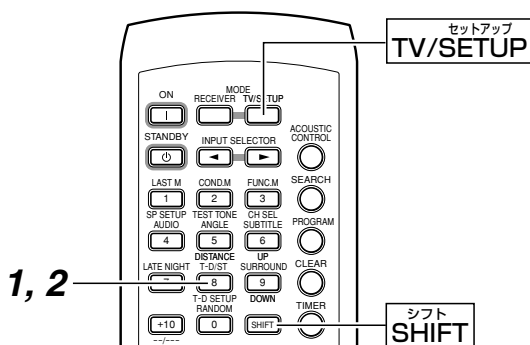
- 再生するソースのサンプリング周波数が96kHzのときは、サラウンドモードは「STEREO」のみとなります。
- 再生するソースがAM放送やTVなどでモノラル音源の時に、サラウンドモードをPL II MOVIEまたはPL II MUSICにすると、センタースピーカーに再生音が集中することがあります。
  モノラル音源でサラウンド効果を得るには、他のサラウンドモードでお楽しみください。
- AACで音声多重放送を受信しているときは、T-D/STボタンで主音声と副音声の切り換えができます。

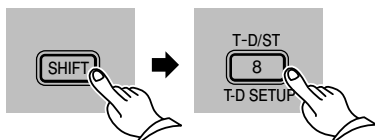
* 2/0とは再生する信号がステレオ、2/0以外はマルチチャンネルまたはモノラルを意味します。

DTS についてのご注意

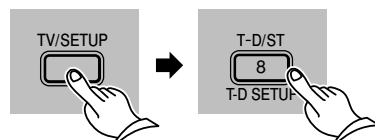
- DTS対応のCDやLDをANALOG端子のみに接続した外部機器でアナログ再生すると、DTS信号をそのまま再生するため、ノイズが出力されます。このノイズを再生すると、PDR-155やスピーカーにダメージを与える恐れがありますので、DTS対応のCDを再生するときはPDR-155で再生してください。また、DTS対応のLDを再生するときは、LDプレーヤーとPDR-155をデジタル接続してください。
- DTS対応ディスクを再生している時にプレーヤー側でポーズやスキップなどの操作をすると、ごく短時間ノイズが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。

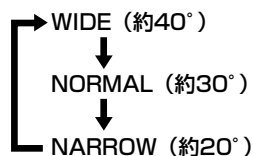
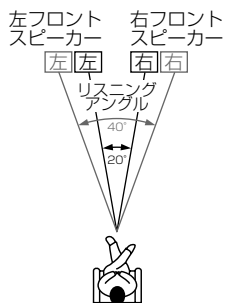
■ リスニングアングルを調整する

Theater-Dimensional（シアターディメンショナル）は2つまたは3つのスピーカーでマルチチャンネル再生をお楽しみいただけます。このモードは、左右それぞれの耳に届く音の特性を制御することによって実現していますので、もっともその効果を体験できる試聴位置（スイートスポット）が存在します。
最適なシアターディメンショナル効果を得るために、リスニングアングルの調整を行ってください。
リスニングアングルとは、視聴者から見た左右フロントスピーカーに対する角度です。

リモコンのみの操作です。

1

リモコンのSHIFT（シフト）ボタンを押してから10秒以内に、T-D/ST（シアターディメンショナルステレオ）ボタンを押してサラウンドモードを「シアターディメンショナル」にする

2

左と右のスピーカーが離れるほど、視聴者との角度が広がります。

TV/SETUP（セットアップ）ボタンを押してから、T-D SETUP（シアターディメンショナルセットアップ）ボタンを（くり返し）押す

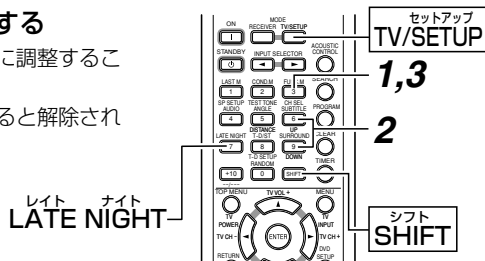
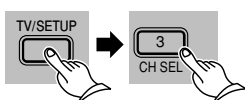
T-D SETUPボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

反射音が大きい部屋ですとまれに期待した効果が得られない場合もありますので、できるだけ反射音の少ない環境にすることをおすすめします。

サラウンドモードを楽しむ

■ 一時的に各スピーカーレベルを調整する

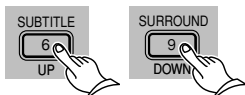
再生中、一時的に各スピーカーのレベルをお好みに調整することができます。

- この設定は、PDR-155をスタンバイ状態にすると解除されます。
- ミューティング中は調整できません。

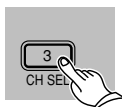
1

再生中にリモコンのTV/SETUPボタンを押してから、CH SELボタンを(くり返し)押し、音量レベルを調整するスピーカーを選ぶ

LEFT(左フロントスピーカー) → ※CENTER(センタースピーカー) → RIGHT(右フロントスピーカー) → ※SURR R(右サラウンドスピーカー) → ※SURR L(左サラウンドスピーカー) → SUBWFR(サブウーファー) → LEFT(左フロントスピーカー)

※は、別売のD-M3を増設し、スピーカーの数を設定しているときに表示されます。

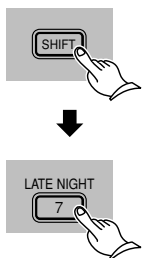
2

リモコンのUP/DOWNボタンを押して、各スピーカーの音量レベルを調整する

UPボタンを押すと音量が上がり、DOWNボタンを押すと下がります。
−12〜+12の範囲で設定できます。

3

CH SELボタンを押す

サブウーファーを選んでいるときに、CH SELボタンを押すと、通常の表示に戻ります。調整した値を記憶させるにはTEST TONEボタンを押してください。

■ レイトナイト機能について（DOLBY DIGITALソフト再生時のみ）

ドルビーデジタル録音されたソフトを再生するとき、ダイナミックレンジ（音量の大小幅）を小さくします。夜中などに音量を絞って映画を鑑賞するとき、小さな音も聞こえやすくなります。
この機能は、PDR-155をスタンバイ状態にすると解除されます。

SHIFTボタンを押してから10秒以内に、LATE NIGHTボタンを押す

押すたびに2段階のレイトナイトモード(HIGH/LOW)とOFFを切り換えることができます。HIGHにするとLOWよりさらに効果があります。

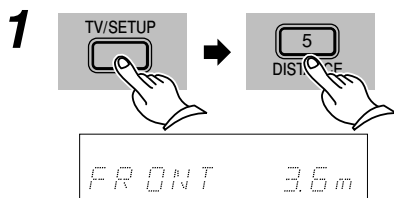
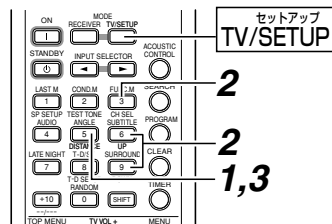
ご注意

- レイトナイト機能は、ドルビーデジタルソフトにのみ効果があります。
- レイトナイト効果は、ドルビーデジタルソフトによって決まっていますので、ソフトによっては効果が少なかったり、効果がない場合もあります。

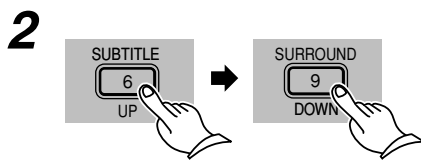
BASE-DR7(064-78)(SN 29343429A) 76 02.9.10, 4:30 PM
ブラック

視聴位置からスピーカーまでの距離を設定する

視聴位置から設置したスピーカーまでの距離を設定します。
距離を設定することで、それぞれのスピーカーから聞く位置までの音の届く早さを一定にし、ホームシアターをより快適にお楽しみいただけます。スタンバイ状態にしても記憶しています。

1

リモコンのTV/SETUP（セットアップ）ボタンを押してから、DISTANCE（ディスタンス）ボタンを押す

表示部に左右フロントスピーカーまでの距離が表示されます。

2

UP（アップ）/DOWN（ダウン）ボタンを押し、実際の距離に近い数値に設定する

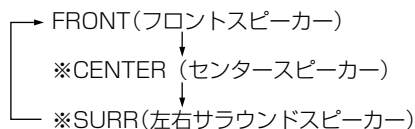
UPボタンを押すと数値が上がり、DOWNボタンを押すと下がります。0.3m単位で9.0mまで設定できます。

＜スピーカーを増設している場合＞

CH SEL（チャンネルセレクト）ボタンを押して、スピーカーを切り換え、聞く位置からそれぞれのスピーカーまでの距離を設定する

ボタンを押すたびに、スピーカーの表示が次のように切り換ります。設定方法は、手順***2***と同じです。

※は、別売のD-M3を増設し、スピーカーの数を設定しているときに表示されます。

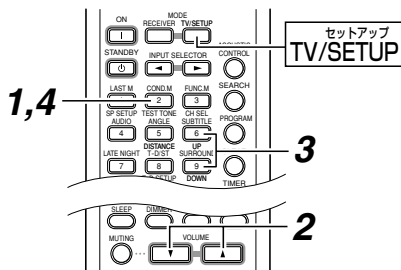
3

DISTANCEボタンを押す

設定したスピーカーの距離が記憶され、通常の表示に戻ります。

ご注意

- センタースピーカーは左右フロント、左右サラウンドスピーカーよりも遠くには設定できません。
- センタースピーカーは左右フロントスピーカーより1.5mまで近くに設定できます。
- 左右サラウンドスピーカーは、左右フロントスピーカーより4.5mまで近くに設定できます。
- ヘッドホンを接続しているときは、設定できません。

各スピーカーの音量レベルを設定する

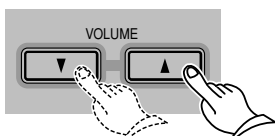
各スピーカーからの音量が同じに聞こえるように、それぞれのスピーカーの音量レベルを設定します。スタンバイ状態にしても記憶しています。
- ミューティング中やヘッドホンを接続しているときは、設定できません。

1

※は、別売のD-M3を増設し、スピーカーの数を設定しているときに表示されます。

リモコンのTV/SETUP(セットアップ)ボタンを押してから、TEST(テスト) TONE(トーン)ボタンを押す

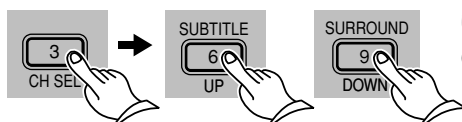
次の順で各スピーカーから「ザー」というテスト音が出ます。

LEFT(左フロントスピーカー) → ※CENTER(センタースピーカー) → RIGHT(右フロントスピーカー) → ※SURR R(右サラウンドスピーカー) → ※SURR L(左サラウンドスピーカー) → SUBWFR(サブウーファー) → LEFT(左フロントスピーカー)

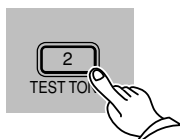
2

音量を調整する

テスト音が良く聞こえる音量にVOLUME(ボリューム)(▲／▼)ボタンで調整してください。
- テスト音は何も操作しないでいると、自動的に次のスピーカーに移り、2秒ずつテスト音を出力します。しばらく、くり返すと止まります。

3

LEFT　0 dB — 音量レベル

CH SEL(チャンネルセレクト)ボタンを押してスピーカーを切り換え、UP(アップ)/DOWN(ダウン)ボタンでスピーカーの音量が同じに聞こえるように調整する

UPボタンを押すと音量が上がり、DOWNボタンを押すと下がります。
- −12〜＋12の範囲で設定できます。

4

TEST TONEボタンを押す

設定したスピーカーの音量レベルが記憶され、通常の表示に戻ります。

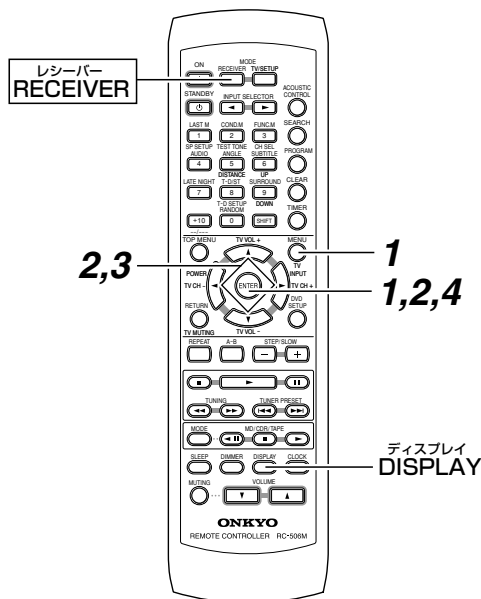
ご注意
- テスト音は小さめなので、手順**2**でいつも聞く音量よりも大きくした場合は、手順**3**が終了した後に VOLUME（▲／▼）ボタンで元の音量に戻しておいてください。

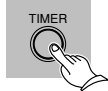
現在時刻と曜日を合わせる

■ 時刻合わせをする

本書では24時間表示での設定方法を説明していますが、AM/PM表示に切り換えることもできます。

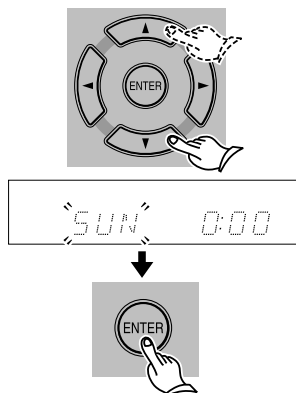
ご注意

- 時計を合わせたあとで停電があったり、電源コードをコンセントから抜いた場合は、時刻を忘れます。この時は再度時刻を合わせてください。
- 時計機能をご使用になる場合は、必ずPDR-155の電源コードを常時通電している電源コンセントに接続してください。

リモコンのみの操作です。

電源が入った状態で操作します。設定中、8秒間何も操作しないともとの表示に戻ります。

リモコンのTIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、“CLOCK（クロック）”を表示させる

“CLOCK”が表示されたら、ENTER（エンター）ボタンを押します。

現在時刻と曜日を合わせる

2

RECEIVERボタンを押してから、▲/▼ボタンを押して、曜日を合わせる

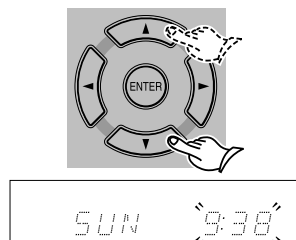
希望の曜日が点滅しているときに、ENTERボタンを押します。

曜日の表示は下記の通りです。

SUN	（日曜日）	THU	（木曜日）
MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）		

24時間表示とAM/PM表示を切り換えるには

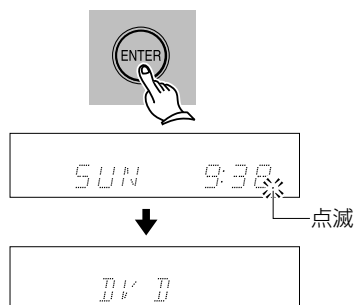
DISPLAYボタンを押します。

3

▲/▼ボタンを押して、時計を合わせる

数字ボタンでも設定できます。

9：38を設定するには、0、9、3、8と押します。

- AM/PM表示のときは、＋10ボタンでAM/PMが切り換わります。

4

時計をスタートさせる

時報などに合わせて、ENTERボタンを押してください。入力表示に切り換わります。

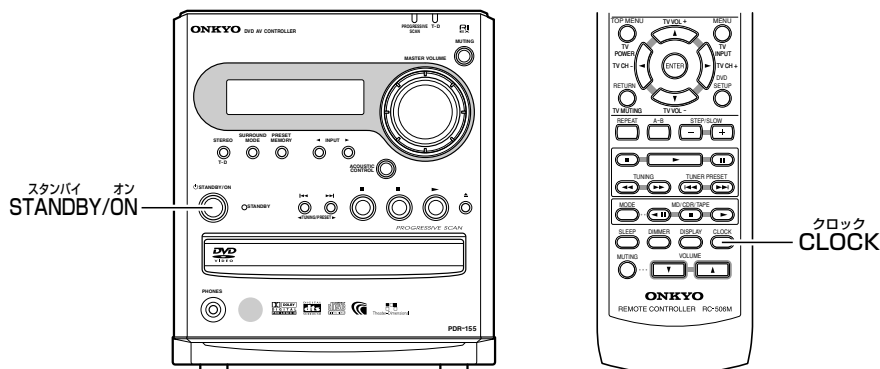
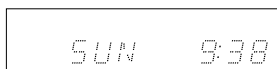
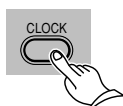
時刻合せを途中でやり直したいときは…

TIMERボタンを押して、最初から設定してください。

現在時刻を表示する

• リモコンのCLOCKボタンを押します。
時刻合わせがされていないと“ADJUST”が点滅表示します。時刻合わせをしてください。
(☞79ページ)

現在時刻を表示する

SUN 9:38

リモコンのCLOCKボタンを押します。
再度、CLOCKボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
電源がスタンバイ状態の場合は、約8秒後に消灯します。(節電状態)

スタンバイ時の時刻表示「あり」/「なし」を切り換えるには

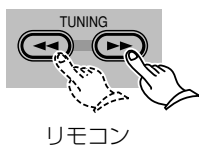
電源が入っているときに、PDR-155のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。
スタンバイ状態になるとともに、時刻表示の「あり」/「なし」が切り換わります。

ご注意

スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定した場合は、「なし」のときより待機電力が増えます。

ラジオを聞く

ラジオを聞くには、手動でチューニングする方法と放送局を記憶させて選局する2つの方法があります。

■手動でチューニングをする

リモコン

- リモコンのTUNING（チューニング）ボタンを押すごとに、FMの場合は0.05MHz、AMの場合は9kHz単位で周波数が変わります。
- FM放送の場合は、リモコンのTUNINGボタンをしばらく押してから手を放すと、自動的に周波数が上がり(下がり)放送局を受信します。(放送局は記憶されません。)

■放送局を記憶させる

ラジオの放送局を記憶させるには、次の2つの方法があります。

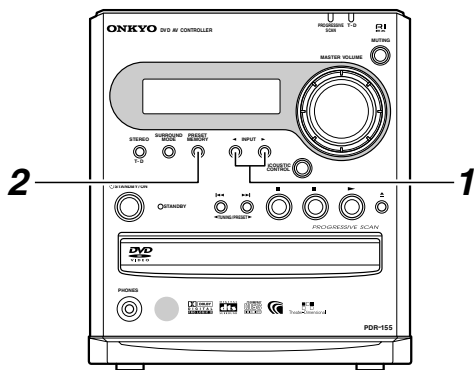
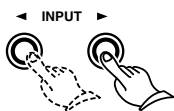
- 受信可能なFM放送局を続けて受信し、自動的に記憶させるオートプリセットメモリー。
- 希望の放送局を受信し、希望のプリセットナンバーに記憶させるプリセットメモリー。

AM、FM合わせて30局まで記憶できます。

ご注意

電源コードを抜いたり停電状態が2週間以上続くと、プリセットされていた放送局や文字などは消えることがあります。その場合は、再度プリセットしてください。

■ 自動的に放送局を記憶させるオートプリセットメモリー（FMのみ）

1

INPUT（インプット）▶ボタンまたは◀ボタンを(くり返し)押してFMを選ぶ

表示部にFMと周波数が表示されます。

BASE-DR7(079-86)(SN 29343429A) 82 02.9.10, 4:31 PM

ブラック

2

PRESET
MEMORY

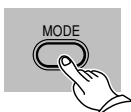
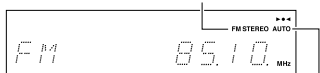
“AUTO MEM”（オートメモリー）が点滅し、周波数を探し始めるまでPRESET（プリセット） MEMORY（メモリー）ボタンを押す（約6秒かかります）

“▶●◀”が点滅し、周波数表示が出て放送局を探し始めます。

- プリセット番号は周波数の低い順から自動的に、最大20局まで放送局を記憶します。

ご注意

- 今までに記憶させたすべての放送局は、オートプリセットメモリーで記憶させた放送局に変更されます。
- FMの受信周波数範囲は76.00～108.00MHzですが、オートプリセットメモリーは76.00～90.00MHzの間しか行いません。

■ オート/モノを切り換える（リモコン操作のみ）

FMステレオ放送を受信する場合はリモコンのMODE（モード）ボタンを押し、“AUTO”を表示させます。

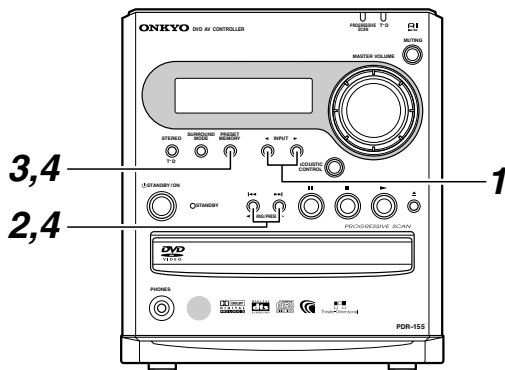
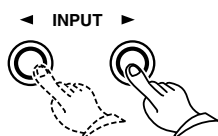
- オートモードでFMステレオ放送を受信すると“ FM STEREO “ 表示が点灯します。

- 電波の弱い所や雑音の多い所では“FM STEREO“表示は点灯しません。
  “ FM STEREO“ 表示が点滅している場合はもう一度MODEを押して、“AUTO”表示を消してモノラル受信してください。雑音や音の途切れを軽減することができます。
- 受信状態の悪い場合は、室内アンテナの方向を変えたり、窓際などの電波の強い場所へ移動してみてください。それでも改善されない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。

ラジオを聞く

■ 希望の放送局を受信し、記憶させるプリセットメモリー

記憶させることのできる放送局はAM、FM合わせて30局です。30局を越えると、"MEM FULL"表示になり、それ以上は記憶できません。

1

◀ INPUT ▶

PDR-155のINPUT（インプット）▶ボタンまたは◀ボタンを(くり返し)押して、FMまたはAMを選ぶ

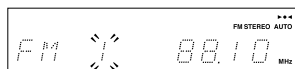
2

◀TUNING/PRESET▶

TUNING（チューニング）/PRESET（プリセット）▶ボタンまたは◀ボタンを押して、希望の放送局(周波数)を選ぶ

ヒント

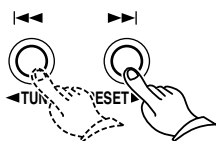
- 放送局を受信すると表示部にチューンド表示"▶●◀"が点灯します。
- テレビの1～3chの音声を受信することができます。（モノラル受信となります。）
  テレビの音声周波数
  1ch：95.75MHz　2ch：101.75MHz　3ch：107.75MHz

3

PRESET MEMORYボタンを押す

（ルビ：プリセット、メモリー）

- プリセット番号が点滅します。

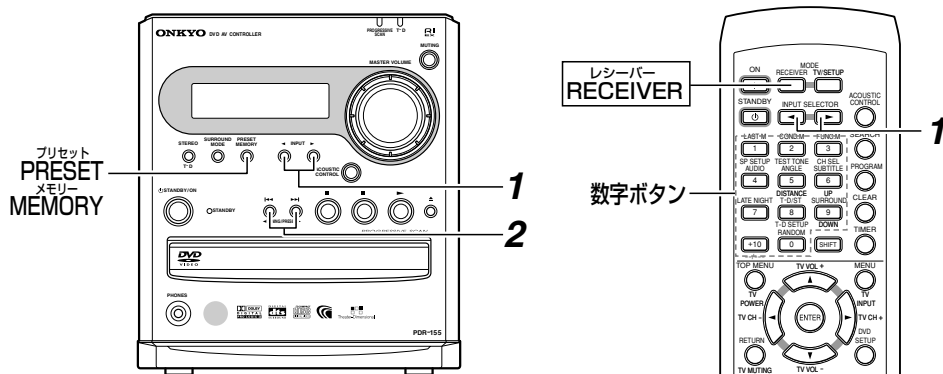
PRESET MEMORYボタンを押したあとに約8秒間次の操作をしなかった場合、元の周波数表示に戻ります。

4

プリセット番号を選び、記憶させる

TUNING/PRESET▶または◀ボタンを押して希望のプリセット番号を表示させます。
（ルビ：チューニング、プリセット）
プリセット番号を選んだら、PRESET MEMORYボタンを押します。

次の放送局をメモリーするには、手順***2***〜***4***をくり返します。

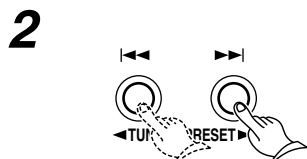
ラジオを聞く

■ プリセットした放送局を聞く

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

PDR-155のINPUT▶ボタンまたは◀ボタンかリモコンのINPUT SELECTORボタンを(くり返し)押して、FMまたはAMを選ぶ

2

FM STEREO AUTO
FM 1 88.10 MHz

聞きたい局のプリセット番号を選ぶ

PDR-155のTUNING/PRESET▶ボタンまたは◀ボタンを(くり返し)押し、プリセット番号を表示させるか、リモコンの|◀◀/▶▶|ボタンまたは数字ボタンを押して希望の放送局を受信してください。

数字ボタンで選ぶには、RECEIVERボタンを押した後、数字ボタンを押します。

5：[5]

12：[+10] [1] [2]

25：[+10] [2] [5]

- AM放送を受信中にリモコン操作をすると、雑音が入ることがあります。

■ プリセットした放送局を消すには

- 上記「プリセットした放送局を聞く」の方法にしたがって、消したい放送局を選びます。
- PRESET MEMORYボタンを押して、“ERASE”を点滅させます。
  点滅している間に再度PRESET MEMORYボタンを押すと消去されます。

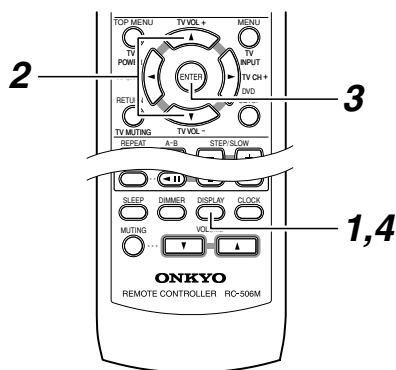
BASE-DR7(079-86)(SN 29343429A) 86 02.9.10, 4:31 PM
ブラック

文字を入れる

■ 文字を登録する

プリセットメモリーした放送局ごとの愛称を好みの文字を使って8文字まで表示することができます。

• 文字の種類は次の通りです。

＿ A B C D E F G H I J K L
M N O P Q R S T U V W X Y
Z " ' & ( ) [ ] ＊ + , - . / = ?
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
＿ はスペースを意味します。

リモコンのみの操作です。
文字を入れたい放送局を選んでください。

1

"NAME IN"（ネーム イン）と表示するまでDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す（約3秒かかります）

2

文字を選ぶ

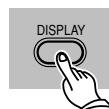
▲/▼ボタンを押して文字の種類を選びます。

3

ENTER（エンター）ボタンを押して、文字を記憶させる

• 手順***2***、***3***をくり返して合計8文字まで記憶させることができます。

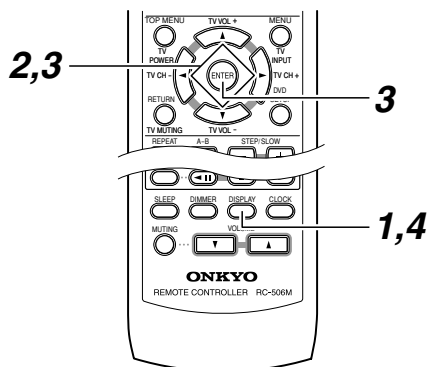
空白にしたいときは、空白のままでENTER（エンター）ボタンを押してください。

4

COMPLETE

DISPLAYボタンを長く押して、登録する（約3秒かかります）

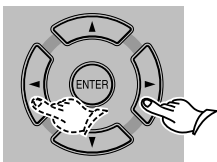
8文字記憶させると自動的に文字入力が完了します。

文字を入れる

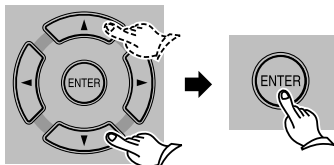
■ 文字を変更する

リモコンのみの操作です。
変更したいプリセット局を選んだ状態にしてください。

1

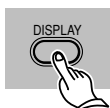
"NAME IN"と表示するまでDISPLAYボタンを押す（約3秒かかります）

2

変更する文字を選ぶ

◀/▶ボタンを押して、変更したい箇所まで点滅を移動させます。

3

▲/▼ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

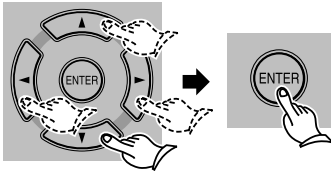
- 選んだらENTERボタンを押します。
- 他に変更したい文字があるときは、手順**2**、**3**をくり返します。

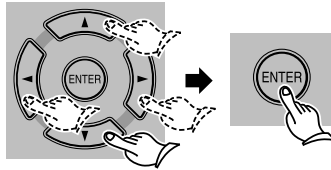
4

DISPLAYボタンを長く押して、変更登録する（約3秒かかります）

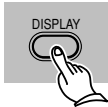
COMPLETE

文字を消去する

“NAME IN”と表示するまでDISPLAYボタンを押します。

②

◀/▶ボタンを押して消す文字を点滅させ、▲/▼ボタンを押し、「＿」を選びENTERボタンを押します。

③

全ての文字を消すには手順②をくり返します。

表示を切り換える

DISPLAYボタンを押すごとに

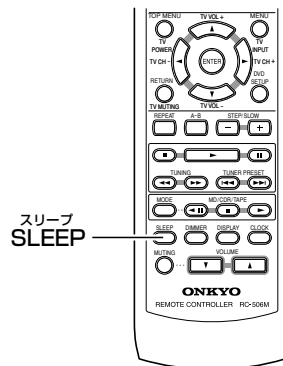
プリセット番号と周波数 → 文字を入力していれば文字

の順に切り換わります。

プリセットした放送局は、文字を優先して表示します。文字を登録していないときは、プリセット番号と周波数の表示となります。

タイマー機能を使う

■スリープタイマー

- 設定した時間がたつと、スタンバイ状態になります。
- タイマー演奏中、タイマー録音中にスリープタイマーを動作させると、スリープタイマーの設定時刻でスタンバイ状態になります。

リモコンのSLEEPボタンを押して、スタンバイ状態になるまでの時間を設定する

SLEEP
SLEEP 90min

「SLEEP 90」が表示され、90分後にスタンバイ状態になる設定になります。
ボタンを押すたびに10分単位で設定時間が短くなります。

- スリープタイマー設定中は、SLEEPインジケーターが点灯します。

残り時間を確かめるには

スリープタイマーが予約されているときにSLEEPボタンを押すとスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。
ただし、残り時間が10分以下の表示のときに、再びSLEEPボタンを押すとスリープタイマーは解除されます。

スリープタイマーを解除するには

「SLEEP OFF」と表示するまでくり返しSLEEPボタンを押すか、一度スタンバイ状態にしてから再度電源を入れてください。

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了した後にスタンバイ状態になります。

■タイマー予約について

タイマー番号の選択
タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類
- タイマーPLAY（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーREC（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRECはPDR-155に接続したRI端子付きのオンキヨー製MDレコーダーまたはテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

演奏機器の設定
AM、FM、DVDまたはPDR-155に接続しているタイマー機能のある外部機器が選択できます。
タイマーREC(録音)はFM、AM、TVから選択できます。

曜日の設定
タイマーは1回だけ働く「ONCE（ワンス）タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「EVERY（エブリィ）タイマー」があります。
また、EVERYタイマーには「EVERYDAY（エブリィデイ）（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

TIMER（タイマー） 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPLAY(再生)—EVERY—EVERYDAY(毎日)—7:00～7:30
TIMER 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーREC(録音)—EVERY—MON(月曜日)～SAT(土曜日)—15:10～15:30
TIMER 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーREC(録音)—ONCE—SUN(日曜日)—10:00～12:00

ご注意
- タイマー再生中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- PDR-155に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について
TIMER

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。TIMERボタンを（くり返し）押し、タイマーの種類を表示させた時に点灯していたら、設定されている状態です。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合
- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

TIMER 1	9：00 －10：00		
TIMER 2	8：00 －10：00	←	優先(タイマー開始時刻が早い方)
TIMER 3	12：00 －13：00	←	優先（タイマー番号が早い方）
TIMER 4	12：00 －12：30		

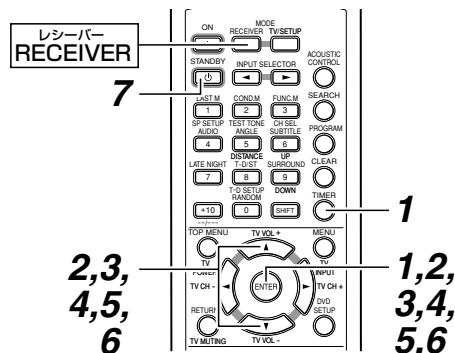
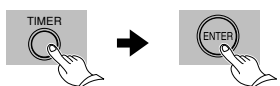
タイマー機能を使う

■タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。
(☞82ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

リモコンのみの操作です。

1 ＜タイマー番号の選択＞

T I ME R 1

RECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、TIMER（タイマー）ボタンを(くり返し)押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

TIMER 1からTIMER 4のいずれかを選び、ENTER（エンター）ボタンを押します。

上部のTIMER表示は、現在タイマーが設定されているかを示します。

2 ＜タイマー種類の選択＞

PLAY または REC

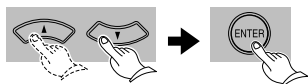
▲/▼ボタンを押して、タイマーPLAY(再生)またはタイマーREC(録音)を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらENTERボタンを押します。タイマーRECは接続したオンキヨー製MDまたはTAPEに録音されます。

3 ＜演奏機器の選択＞

DVD

▲/▼ボタンを押して演奏する機器を選ぶ

演奏する機器が表示されたらENTERボタンを押します。
タイマーREC(録音)の時はFM、AM、TVの中から選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

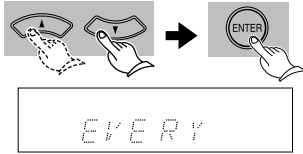
FM 2 85.10 MHz

▲/▼ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

プリセット番号が表示されたらENTERボタンを押します。

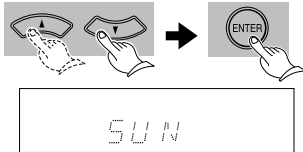
4 ＜曜日の設定＞

▲/▼ボタンを押して、"ONCE"(ワンス)または"EVERY"(エブリィ)を選ぶ

"ONCE"を選ぶと1度だけ、"EVERY"を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTER(エンター)ボタンを押します。

"ONCE"の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

▲/▼ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON（月曜日）　FRI（金曜日）
TUE（火曜日）　SAT（土曜日）
WED（水曜日）　SUN（日曜日）
THU（木曜日）

"EVERY"の場合：設定した曜日に毎週働きます。

▲/▼ボタンを押して曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

MON ⇔ TUE ⇔ WED ⇔ THU ⇔ FRI
（月）（火）（水）（木）（金）
⇕ ⇕
SUN ⇔ DAYS SET ⇔ EVERYDAY ⇔ SAT
（日）［曜日の範囲をお好みで設定します。］（土）

「DAYS(ディズ) SET(セット)」を選んだ場合（連続した曜日の範囲をお好みで設定します。）

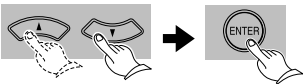
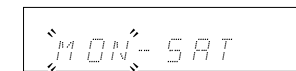
MON - SAT

① ▲/▼ボタンを押して最初の曜日を選ぶ

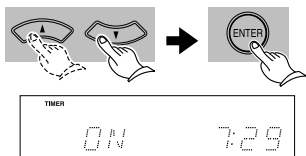
曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

② ▲/▼ボタンを押して最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらENTERボタンを押します。

TUE - SUN

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。

BASE-DR7(087-99)(SN 29343429A) 93 02.9.10, 4:32 PM
ブラック

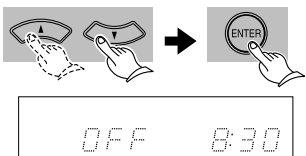
5 ＜開始時刻の設定＞

▲/▼ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
数字ボタンでも設定できます。

7:29を設定するには、0、7、2、9と押します。

- AM/PM表示のときは、＋10ボタンでAM/PMが切り換わります。

- 開始時刻(ON)を設定すると終了時刻(OFF)は自動的に1時間後の表示なります。
- MDレコーダーにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

6 ＜終了時刻の設定＞

▲/▼ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

7 ＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBYボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

- タイマー録音中はミューティングが働いており、サブウーファー(SWA-155X)の電源は入りません。
  録音中の音を確認したい時は、MUTINGボタンを押して解除するとサブウーファーの電源が入り音が聞こえます。

ご注意

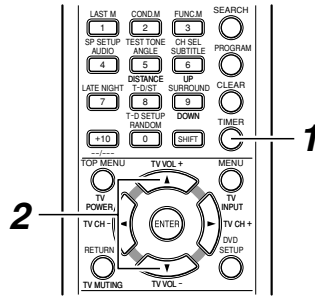
- MDレコーダーにFMまたはAMなどをアナログ録音するときは、MDの録音入力の設定は必ず「Analog In」にしてください。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。

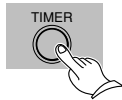
タイマー予約をやり直したいときは…

TIMERボタンを押し、最初から設定してください。

BASE-DR7(087-99)(SN 29343429A) 94 02.9.10, 4:32 PM
ブラック

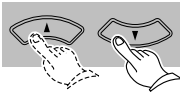
■ タイマーのオン(実行)/オフ(取消し)を切り換える

• 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
• 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

リモコンのみの操作です。

1

TIMER 1

TIMERボタンを(くり返し)押して、設定したいタイマーの番号を表示させる

タイマー番号の上に"TIMER"が点灯していたら、オン(実行)で設定されている状態です。

2

TIMER
TIMER ON

または

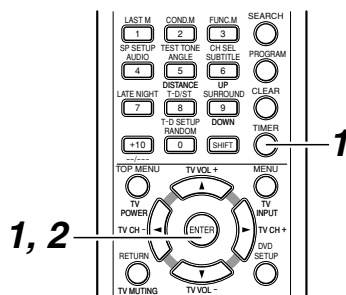
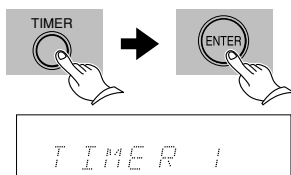
TIMER OFF

▲/▼ボタンを押して、オン(実行)/オフ(取消し)を切り換える

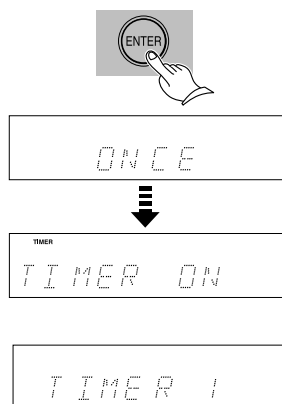
切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー機能を使う

■ タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMER(タイマー)ボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTER(エンター)ボタンを押す

タイマー番号の上に“TIMER”が点灯していたら、オン(実行)で設定されている状態です。

2

ENTER(エンター)ボタンを押して、次の内容を確認する

押すたびに次の設定内容が確認できます。

確認中▲/▼ボタンで設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOFFになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がONになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。
通常の表示にするにはTIMERボタンを押します。

録音する

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

PDR-155は再生機器ですが、INTEC155シリーズのCDR-201AやMD-101Aと組み合わせてワンタッチで録音できるCDダビングをすることができます。

録音に関するご注意

- CDレコーダーやMDレコーダーではDVDの映像はコピーできません。
- コピーガード信号の入ったDVDディスクの音声をデジタル録音することはできません。
  コピーガードの入っていないPCM音声信号、アナログ音声信号のみ録音できます。
- テレビやラジオの音声をデジタルで録音することはできません。
- DVDディスクやCDに入ったDTS信号は録音できません。
- デジタルで録音されたCDRなどをさらにデジタルで録音することはできません。
- アナログで録音するときは、サラウンドモードをSTEREOにしておいてください。それ以外に設定されていると、スピーカーからの音は聞こえますが録音できません。

■ CDダビング（ワンタッチでCDをデジタル録音します。）

1 CDをPDR-155のディスクトレイに入れる

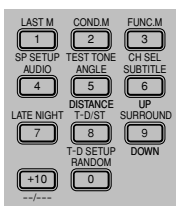
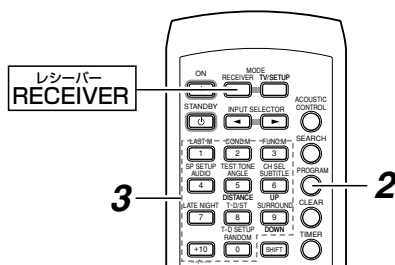
2

MD-101AまたはCDR-201A

MD-101AまたはCDR-201AのCD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

自動的にダビングが始まります。
（DLAリンクは働きません。）

ご注意

- PDR-155のDIGITAL（デジタル） OUT（アウト）を録音機器のDIGITAL（デジタル） INPUT（インプット）1に接続していることが必要です。
- オンキヨーRI端子付きの機器を使ってシステム録音するには入力表示を正しく設定してください。
- RIケーブル、オーディオ用ピンコードの両方を正しく接続してください。

録音する

■ プログラムCDダビング（好きな曲だけをデジタル録音します。）

1 CDをPDR-155のディスクトレイに入れる

2

PROGRAM（プログラム）ボタンを押す

3

RECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、録音したいトラックを順に数字ボタンで指定する

例）9、18、20の順にプログラムするには
　　9→ ＋10、8→ ＋10、＋10、0と押します。

4

プログラム表示をしている間にMD-101AまたはCDR-201AのCD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

自動的にダビングが始まります。
（DLAリンクは働きません。）

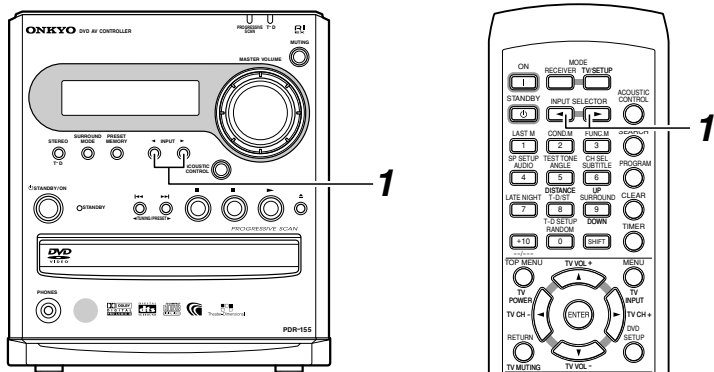
CD
DUBBING

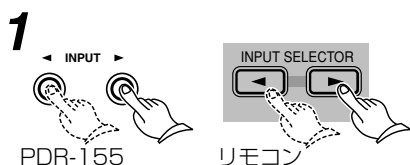
MD-101AまたはCDR-201A

ご注意

- PDR-155のDIGITAL OUT（デジタル アウト）を録音機器のDIGITAL INPUT（デジタル インプット）1に接続していることが必要です。
- オンキヨーRI端子付きの機器を使ってシステム録音するには入力表示を正しく設定してください。
- RIケーブル、オーディオ用ピンコードの両方を正しく接続してください。

■ その他の録音

アナログで録音する時や、INTEC155シリーズ以外の機器に録音するときの録音方法です。

リモコンのボタンは　　で表示しています。

1

PDR-155のINPUT◀ボタンまたは▶ボタンか、リモコンのINPUT SELECTORボタンを押して、録音する機器（再生側）を選ぶ

2 **録音する機器（録音側）の準備をする**

- 録音機器を録音待機状態にします。
- 録音レベルの調整は録音機器で行ってください。
- 録音のしかたについては、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **録音を始める**

*1*で選んだ再生機器を演奏します。

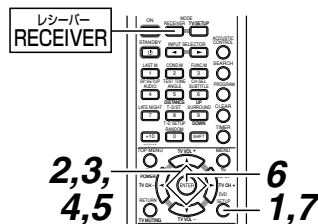
ご注意

- デジタル録音は再生機器のデジタル出力を録音機器のデジタル入力へ接続することが必要です。
- 録音中に入力を切り換えないでください。正しい録音ができません。
- アナログで録音するときは、サラウンドモードをSTEREOにしてください。
  それ以外に設定されていると録音できません。

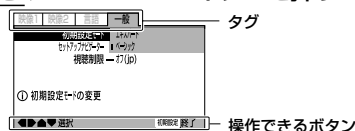
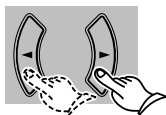
各種設定

■ 初期設定画面の操作のしかた DVD VCD CD MP3

セットアップナビゲーター（☞44ページ）よりも多くの設定をすることができます。お買い上げ時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに行います。ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。セットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。

1

RECEIVER（レシーバー）ボタンを押してから、DVD SETUP（セットアップ）ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2

◀/▶ボタンでタグ（『映像1』、『映像2』、『言語』、『一般』）を選ぶ

3

▲/▼ボタンで設定したい項目を選ぶ

4

▶ボタンで選択肢の欄にカーソルを移動させる

5

▲/▼ボタンで設定したい選択肢にカーソルを合わせる

6

ENTER（エンター）ボタンを押す

他の項目の設定を変更するときは、手順***2***〜***6*** をくり返します。

7

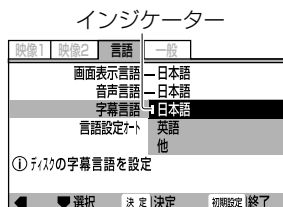
DVD SETUPボタンを押す

ヒント

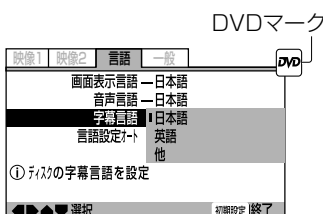
多くのDVDプレーヤーは電源を入れただけで自動的にDVDを再生する機能があります。PDR-155では、不要な時にまで再生することやDVD関連部品の消耗を防ぐために、電源を入れただけではDVD部の機能を起動させていません。

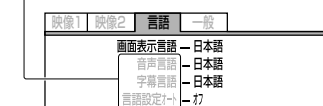
DVD部が起動していない時は▲（オープン/クローズ）ボタンまたは▶（プレイ）ボタンを押して、一旦DVD部を起動させ初期設定画面の操作を行ってください。

ディスクの種類によって変更することができる／できない設定

ディスクの種類(DVD/ビデオCD/CD/MP3)によって、変更できる設定が異なります。PDR-155では選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。以下の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわりません
黄色	DVD/ビデオCDのみ

DVDにのみ設定できる項目

DVD以外のディスク(ビデオCD/CD/MP3)が入っているとき、DVDにのみ設定できる項目で設定を変更すると、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

再生中に変更できない項目

再生中に設定を変更できない項目は、灰色で表示されます。

画面表示について

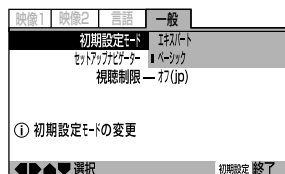
画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンの以下のボタンに対応しています。

画面表示	◀▶▲▼	決定	初期設定	プログラム	画面表示	リターン
リモコンのボタン	◀/▶/▲/▼	ENTER (エンター)	DVD SETUP (セットアップ)	PROGRAM (プログラム)	DISPLAY (ディスプレイ)	RETURN (リターン)

ヒント

- SETUP(初期設定)の途中で電源を切ると設定途中のものは記憶されません。DVD SETUPボタンを押して初期設定を終了してから電源を切ってください。
- 初期設定を操作すると、リジューム機能(☞51ページ)が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

■ より専門的な設定をする

初期設定画面には『ベーシック』と『エキスパート』の2種類があります。『初期設定モード』を『エキスパート』に設定すると、より専門的な設定をすることができます。この取扱説明書では、エキスパートで設定する項目にエキスパートがついています。初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

エキスパート：

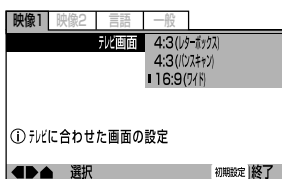
より専門的な設定を表示します。

ベーシック：

基本的な設定を表示します。選択している項目の簡単な説明（ⓘ information（インフォメーション）マーク）が表示されます（お買い上げ時の設定）。

■『映像1』の設定をする

初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

PDR-155に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビの場合は『16:9（ワイド）』に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16:縦9で記録されていますので、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4:縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、『4:3（レターボックス）』、または『4:3（パンスキャン）』に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。

4:3（レターボックス）：

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。

4:3（パンスキャン）：

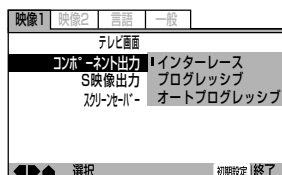
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。

16:9（ワイド）：

ワイドテレビと接続したとき 選 択しま す。

アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。
詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

コンポーネント出力を設定する

PDR-155のD端子とテレビのD2，D3，D4，D5端子のいずれかに接続している場合、設定することができます。通常のインターレース画像と比較してより高品質な画像が得られます。

インターレース：
テレビのD2，D3，D4，D5端子のいずれにも接続していない場合に選択します。（お買い上げ時の設定）

プログレッシブ： （☞123ページ）
テレビのD2，D3，D4，D5端子のいずれかと接続している場合に選択します。

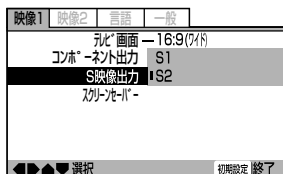
オートプログレッシブ：
16：9のDVDビデオを再生しているときはプログレッシブ、4：3を再生しているときはインターレースに自動的に切り換えます。テレビのD2，D3，D4，D5端子のいずれかに接続している場合に限ります。

オートプログレッシブを選択した場合、プログレッシブとインターレースが切り換わる時に画面が乱れることがありますが、これは故障ではありません。

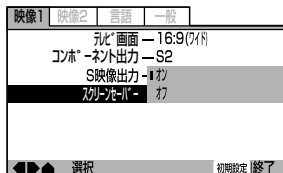
テレビが4：3と16：9に自動で切り換わらない場合
プログレッシブに設定している時に4：3で記録されたディスクを再生すると画像が伸びたように見えることがあります。これはテレビの縦横比が16：9に設定されているためです。正しい縦横比で見るにはテレビ側の設定を4：3に変えるか、PDR-155の設定をインターレースまたはオートプログレッシブモードに設定してください。オートプログレッシブではディスクが4：3映像の時はインターレースで、16：9映像の時はプログレッシブモードで出力します。テレビの最適な縦横比をテレビ側で設定してください。（詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）

ご注意 テレビのD2、D3、D4、D5端子のいずれにも接続していない場合にプログレッシブを選択すると画像は見られません。Sビデオ接続、ビデオ接続、D1端子との接続をしている場合はインターレースを選択してください。

S映像出力を切り換える エキスパート

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。PDR-155とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは『S1』を選択してください。

S2：
S2映像信号が出力されます(お買い上げ時の設定)。
S1：
S1映像信号が出力されます。

スクリーンセーバーを設定する エキスパート

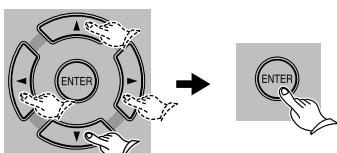
スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます(お買い上げ時の設定)。
オフ：
スクリーンセーバー機能は働きません。

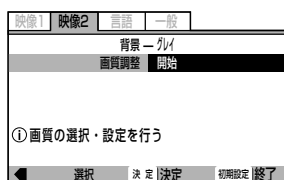
エキスパート はより専門的な設定です。項目が表示されていない場合は、102ページを参照して表示させてください。

■ 画質を調整する

映像（映画、アニメなど）に合わせた画質を選ぶことができます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

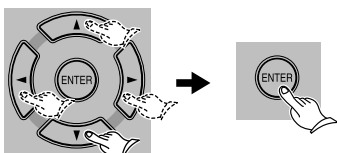
1

▲/▼/◀/▶ボタンで『映像2』→『画質調整』→『開始』と選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

2-1

『コンポーネント出力設定』でインターレースを選択したときは、「インターレスビデオメモリー選択」を選び、ENTERボタンを押す

2-2

『コンポーネント出力設定』でプログレッシブを選択したときは、「プログレッシブビデオメモリー選択」を選び、ENTERボタンを押す

3

▲/▼/◀/▶ボタンで好みの画質を選び、ENTERボタンを押す

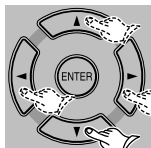
画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定した内容が無効になります。

標準：ディスクに記録されているそのままの画質です。
シネマ：部屋を暗くして、映画館のような雰囲気で観賞するときに適した画質です。
アニメーション：色をくっきりと表現するアニメソフトに適した画質です。
メモリー1／メモリー2／メモリー3：好みで調整した画質設定を記憶させることができます。
次ページの「好みの画質に調整する」をご覧ください。

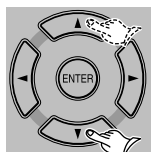
■ 画質を調整する

ディスクやテレビ（モニター）によっては、効果がはっきりしないことがあります。

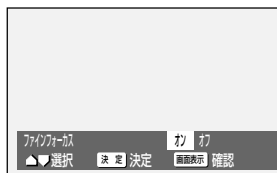
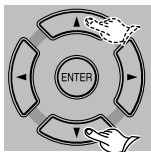
好みの画質に調整する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで『映像2』→『画質調整』→『開始』と選びENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

2

▲/▼ボタンで『インターレースビデオ設定』を選び、ENTERボタンを押す

- コンポーネント出力設定でインターレースを選択したときは、「インターレースビデオ設定」、プログレッシブを選択したときは、「プログレッシブビデオ設定」と表示されます。

3

▲/▼ボタンで調整する項目を選ぶ

DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと上の画面に戻ります。

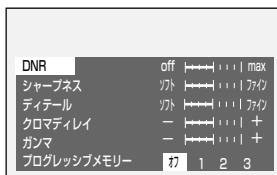
インターレースビデオ設定時

プログレッシブ/オートプログレッシブビデオ設定時

ファインフォーカス：
『オン』に設定するとくっきりした高解像度の映像になります。

コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。『ファインフォーカス』を『オフ』に設定しているときには効果がありません。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します（コンポーネント映像では効果はありません）。

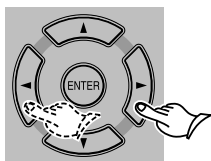
DNR：
ノイズを軽減します。

シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

ディテール：
画像の輪郭を強調します。

クロマディレイ：
輝度(Y)記号と色(C)信号のずれを調整します。

ガンマ：
画像の暗い部分の見えかたを強調します。

4

◀/▶ボタンで各項目のレベルを調整する

『ファインフォーカス』の設定では『オン』または『オフ』を選びます。

5

手順*3*～*4*をくり返してすべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときは▲/▼ボタンで『メモリー』を選び、◀/▶ボタンで『1』、『2』、『3』のいずれかを選んで記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6

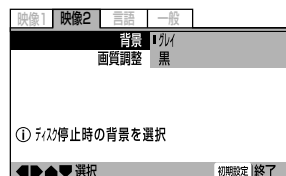
ENTER（エンター）ボタンを押す

画質調整画面が消えます。なお、ENTERボタンを押さないと、調整した内容を『メモリー』に記憶することができません。

■『映像2』の設定をする

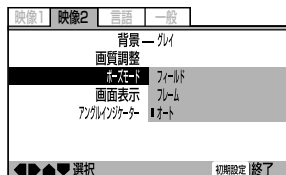
初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

グレイ：
灰色の背景色を表示します（お買い上げ時の設定）。

黒：
黒色の背景色を表示します。

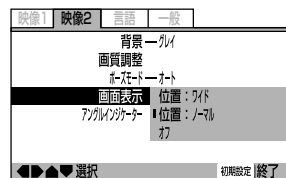
静止画像を切り換える エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。ディスクによっては『フィールド』を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。

フィールド：
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

フレーム：
通常モードです。

オート：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます(お買い上げ時の設定)。

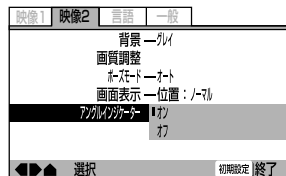
画面表示の位置を選択する エキスパート

PDR-155が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVDディスクの画面比率が4:3のときに設定します（詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください）。また、「プレイ」、「ストップ」など、PDR-155を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

位置：ワイド：
ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

位置：ノーマル：
ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき選択します(お買い上げ時の設定)。

オフ：
画面表示をしません。

アングルマークを表示する エキスパート

再生中に画面に表示される マークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面に マークを表示します（お買い上げ時の設定）。

オフ：
画面に マークを表示しません。

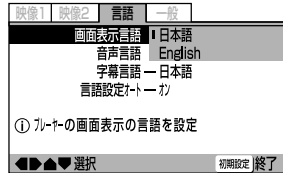
エキスパート はより専門的な設定です。項目が表示されていない場合は、102ページを参照して表示させてください。

BASE-DR7(100-119)(SN 29343429A) 108 02.9.10, 4:34 PM
ブラック

■ 言語の設定をする

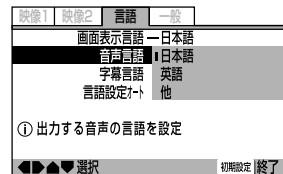
DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お客様が目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の『言語』にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

画面表示言語を設定する

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。

日本語：
画面表示の言語が日本語になります。

English：
画面表示の言語が英語になります。

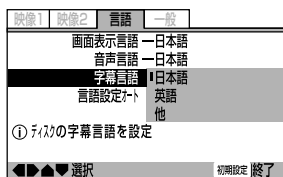
音声言語を設定する

音声言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
音声言語が日本語になります。

英語：
音声言語が英語になります。

他：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは111ページの「字幕言語／音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

日本語：
日本語の字幕を表示します。

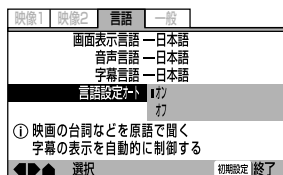
英語：
英語の字幕を表示します。

他：
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは111ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

音声、または字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

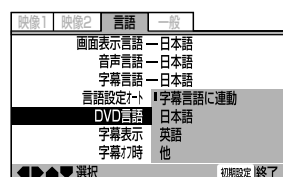
BASE-DR7(100-119)(SN 29343429A) 109 02.9.10, 4:34 PM
ブラック

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
『音声言語』と『字幕言語』が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります（お買い上げ時の設定）。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。

オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、『音声言語』と『字幕言語』で設定している音声と字幕になります。

DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

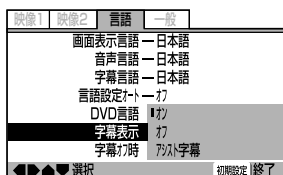
DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。この設定を再生中に設定することはできません。

字幕言語に連動：
『字幕言語』で選択されている言語でメニュー画面が表示されます（お買い上げ時の設定）。

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

他：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは次ページの「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき」をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする エキスパート

字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

オン：
字幕を表示します（お買い上げ時の設定）。

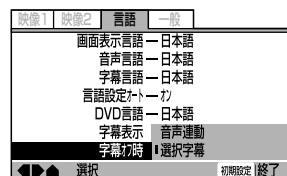
オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（次ページ）。

アシスト字幕：
『アシスト字幕』は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

エキスパート はより専門的な設定です。項目が表示されていない場合は、102ページを参照して表示させてください。

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

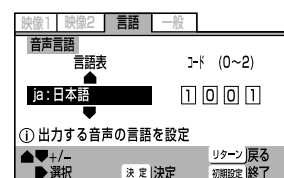
DVDの中には、『字幕表示』を『オフ』にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。この設定を再生中に変更することはできません。

映像1 映像2 言語 一般
画面表示言語 ー 日本語
音声言語 ー 日本語
字幕言語 ー 日本語
言語設定ｵｰﾄ ー ｵﾝ
DVD言語 ー 日本語
字幕表示 音声連動
字幕ｵﾌ時 選択字幕
選択 初期設定 終了

音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。
選択字幕：
初期設定画面の『字幕言語』で選択されている言語で字幕を表示します。

字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で『他』を選んだとき

112ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 **『他』を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す**
言語選択画面が表示されます。

例　音声言語の場合

2 **『言語表』、または『コード』を選ぶ**
言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表（112ページ）をご覧ください。
コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

『コード』で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。
例　フランス語を選ぶ場合
- **数字ボタンの0、6、1、8を押す**
- **1ケタごとに▲/▼ボタンを押して数字を選択する(◀/▶ボタンを押してケタを移動します)**

『言語表』で言語を選ぶとき

例　フランス語を選ぶ場合
▲ボタンを2回押す

3 **ENTERボタンを押す**

エキスパート はより専門的な設定です。項目が表示されていない場合は、102ページを参照して表示させてください。

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

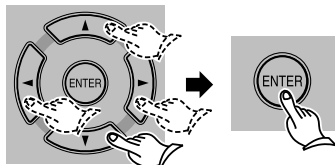
言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

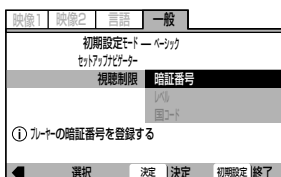
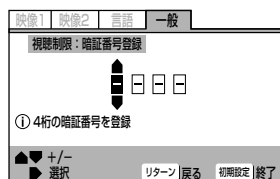
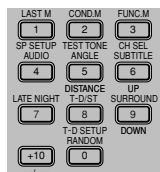
BASE-DR7(100-119)(SN 29343429A) 112 02.9.10, 4:34 PM
ブラック

■ 視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。PDR-155のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、PDR-155のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。初期設定画面の操作のしかたについては100ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

1

▲/▼/◀/▶ボタンで『一般』→『視聴制限』→『暗証番号』を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと『レベル』、および『国コード』を選択することはできません。

『暗証番号登録』の画面が表示されます。

2

暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す**
- **▲/▼ボタンで1ケタごとに数字を選ぶ（◀/▶ボタンでケタを移動します）**

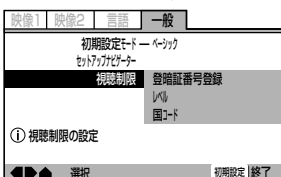
3

ENTERボタンを押す

以下の初期設定画面が表示されます。

暗証番号変更：
暗証番号を変更します。

レベル：
視聴制限のレベルを変更します。

国コード：
国コードを変更します。

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して（☞119ページ）、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。

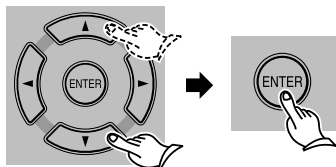
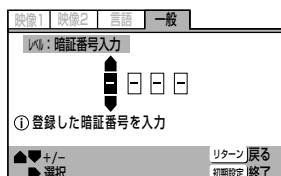
BASE-DR7(100-119)(SN 29343429A) 113 02.9.10, 4:34 PM
ブラック

レベルを変更する

1

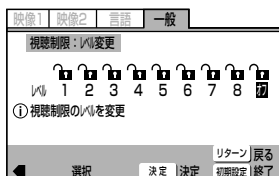
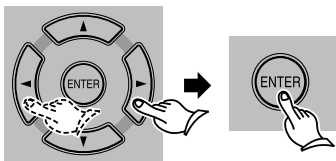
『レベル』を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

『暗証番号入力』の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。お買い上げ時は『オフ』に設定されています。

4

◀/▶ボタンでレベルを選び、ENTERボタンを押す

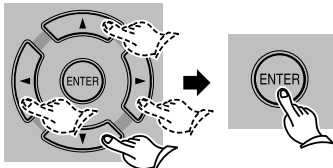
視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するには

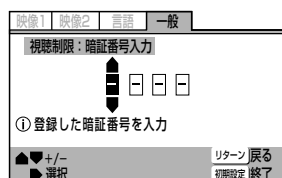
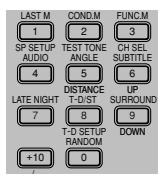
視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1. **数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する**
2. **ENTERボタンを押す**

暗証番号を変更するには

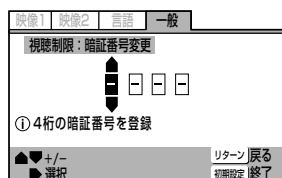
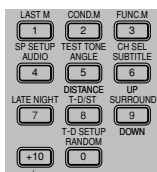
1

『暗証番号変更』を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

暗証番号変更の画面が表示されます。

4

新しい暗証番号を4桁で入力する

5

ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

BASE-DR7(100-119)(SN 29343429A) 115 02.9.10, 4:34 PM
ブラック

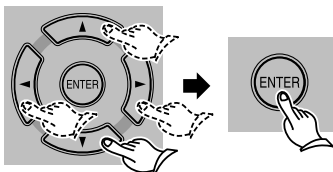
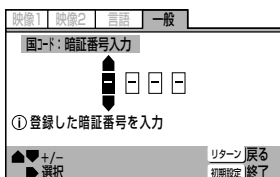
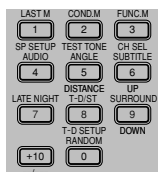
国コードを変更する

次ページの国コード表を見ながら操作します。

1

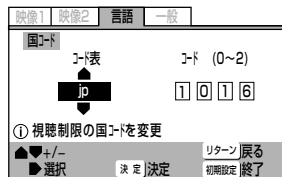
『国コード』を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

『暗証番号入力』の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

国コード設定画面が表示されます。

4

『コード表』、または『コード』を選ぶ

コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

『コード』で国コードを選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

例　日本を選ぶ場合

- **数字ボタンの1、0、1、6を押す**
- **▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押してケタを移動する）**

『コード表』で国コードを選ぶとき

例　日本を選ぶ場合

▲/▼ボタンで『jp』を選ぶ

5

ENTERボタンを押す

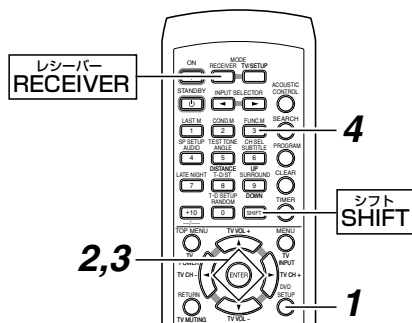
国コード表

	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn

	入力コード	国コード
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

■ 初期設定項目を登録する

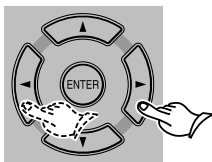
初期設定項目を5つまで登録することができます

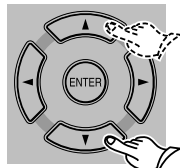
1

RECEIVER(レシーバー)ボタンを押してから、DVD SETUP(セットアップ)ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

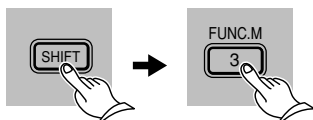
例

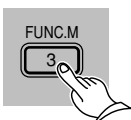
ENTERは決定、SETUPは初期設定と表示されます。

2

◀/▶ボタンでタグ(『映像1』、『映像2』、『言語』、『一般』)を選ぶ

3

▲/▼ボタンで設定したい項目を選ぶ

FMマークが表示され、設定内容が登録されます。

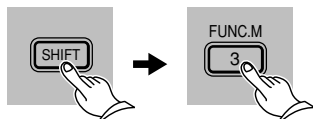
4

SHIFT(シフト)ボタンを押してから10秒以内に、FUNC. M(ファンクションメモリー)ボタンを押す

登録を取り消すには

もう一度FUNC. Mボタンを押す

FMマークが消え、登録が取り消されます。

初期設定の中には登録できないものもあります。

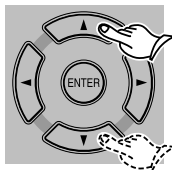
■ 登録した項目を呼び出す

1

初期設定画面が表示されていないときにSHIFTボタンを押してから10秒以内に、FUNC. Mボタンを押す

登録した項目だけが表示されます。

2

▲/▼ボタンで項目を選ぶ

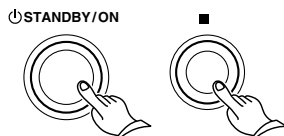
3

ENTERボタンを押す

■ DVDの設定をお買い上げ時に戻す

DVDの設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1

PDR-155をスタンバイ状態にする

2

■ボタンを押しながら、PDR-155のSTANDBY/ONボタンを押す

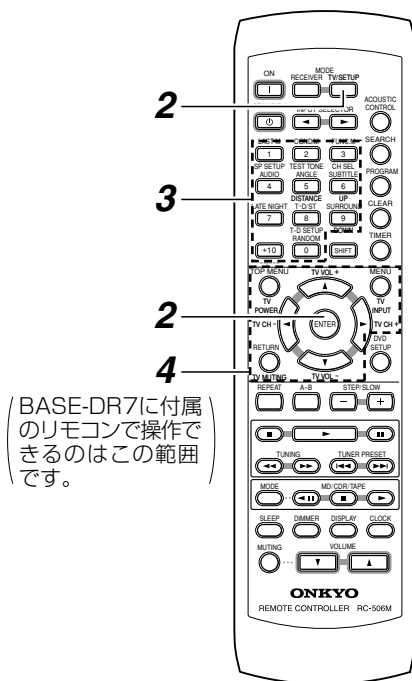
DVDに関するすべての設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

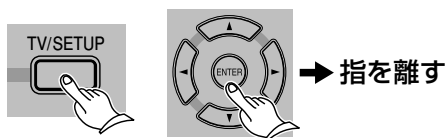
ご注意

この操作を行うと、プログラムメモリー(☞61ページ)、ラストメモリー(☞66ページ)、コンディションメモリー(☞67ページ)、および初期設定項目など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

リモコンでテレビを操作するには

付属のリモコン(RC-506M)で、お使いのテレビを操作することができます。
リモコンでテレビを操作するには、あらかじめテレビのリモコンコードを登録する必要があります。

■ テレビのリモコンコードを登録するには

1 登録したいテレビのメーカー別リモコンコード(3桁)を次ページのリモコンコード表で確かめる

2 TV/SETUP(セットアップ)ボタンを押しながら、ENTER(エンター)ボタンを押し、両方から指を離す

3 3桁のリモコンコードを入力する

- 数字ボタンを使用して、10秒以内に入力してください。
  この場合、RECEIVER(レシーバー)ボタンを押す必要はありません。数字ボタンのみで登録します。

4 リモコンコードが正しく登録されたかを確かめる

- テレビ操作ボタンを使用して、正しくテレビが動作することを確認してください。

■ メーカー別リモコンコード表

• 複数のコード番号があるときは、1つずつ登録し、機器に合った方を選んでください。

メーカー名	リモコンコード	メーカー名	リモコンコード
AIWA（アイワ）	100,101	MARANTZ（マランツ）	164
AKAI（アカイ）	102,103,104	MARK（マーク）	165
AUDIO SONIC（オーディオソニック）	105	MATSUI（マツイ）	166,167,168,169
BELL&HOWELL（ベルハウエル）	106	MITSUBISHI（ミツビシ）	170,171,172,173
BLAUPUNKT	107	MIVAR	174,175
BRIONVEGA	108,109	NEC	176,177
CENTURION	110	NOKIA（ノキア）	178,179,180,181
COLTINA	111,112,113	NOKIA OCEANIC	181
CORONAD	114	NORDMENDE	182,183
CROWN（クラウン）	115,116	OKANO（オカノ）	152
DAEWOO	117,118,119,120,121	ORION（オリオン）	184,185,186
DUAL	122	PANASONIC（パナソニック）	187,188,,189,190
EMERSON（エマーソン）	123,124,125,126,127	PHILIPS（フィリップス）	162,191,152
FENNER	128,129	PIONEER（パイオニア）	192,193
FERGUSON	130,131	PROSCAN（プロスキャン）	194
FISHER（フッシャー）	132	QUASAR	195
FUNAI（フナイ）	133,134,135	RADIOSHARX（ラジオシャーク）	196
FUJITSU GENERAL（フジツウゼネラル）	136,137,138	RCA	141,197,198,110,199,200
GE·PANA	139,140	SABA（サバ）	201,182,183
GE·RCA	141	SAMSUNG（サムソン）	202,203,204,205,206,207,208
GOLD STAR（ゴールドスター）	142,143	SANYO（サンヨー）	209,210,211,212
GOODMANS（グッドマンズ）	144	SCHNEIDER	103
GRUNDIG	145,146	SEARS（シアーズ）	213
HITACHI（ヒタチ）	147,148,149,150	SELECO（セレコ）	214,215
HYPER（ハイパー）	151	SHARP（シャープ）	216,217
INNO-HIT	152	SONY（ソニー）	218,219,220,221,222,223
IRRADIO	103	SYMPHONIC（シンフォニック）	224,225
JVC/VICTOR（ビクター）	153,154,155,156,157	TELEFUNKEN	201,226,227
KENDO	158	THOMSON（トムソン）	228
KTV	159,160	TOSHIBA（トウシバ）	213,229
LUXOR	161	UNIVERSUM	230
MAGNAVOX（マグナボックス）	162,163	ZENITH	231,232

BASE-DR7(120-)(SN 29343429A) 121 02.9.10, 4:35 PM
ブラック

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

サンプリング周波数
アナログ信号をデジタル信号に変換する時の精度。44.1kHzは1秒間に44100回、96kHzは1秒間に96000回アナログ信号を読み取ってデジタルに変換します。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、PDR-155ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと、雑音等機器の性質で制限させる最小レベルの差のことです。

ドルビーデジタル（Dolby Digital）
ドルビー社よって開発されたデジタルマルチチャンネル音声規格。モノラルから5.1チャンネルまでに対応しています。プログラム間でセリフの平均レベルを一定に保つダイアログノーマライゼーション（Dialog normalization）、視聴環境の制約に対応してダイナミックレンジを調整するダイナミックレンジ圧縮（Dynamic　range compression）、スピーカーの数に合わせて出力チャンネル数を最適化するダウンミックス（Downmix）など数々の機能が採り入れられています。
DVD－Videoの標準音声、米国DTVの標準音声として採用されています。いずれのフォーマットでも、ご家庭でも簡単に劇場やコンサートホールさながらの臨場感あふれるサラウンドをご体験いただけます。

ドルビープロロジックII（Dolby Pro Logic II）
従来の4チャンネル（左右フロント、センター、モノラルのサラウンドチャンネル）のプロロジックサラウンドと5.1チャンネルのドルビーデジタルサラウンドの橋渡しをする、次世代の5チャンネルサラウンド方式です。
ドルビープロロジックIIは、マトリックスデコード技術で、サラウンドチャンネルがステレオであること、その再生帯域がフルバンドのためあらゆるステレオ音源を5.1chライクな立体音場で楽しむことができます。映画に最適なMovieモードと音楽再生に最適なMusicモードの2つのモードが選択できます。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものです。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータのことです。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。
単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。
この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ

従来のインターレースの映像に比べ、走査線の密度を高めるとともに、映像の粗さを抑えたソフトな映像をお楽しみいただけます。また、プログレッシブ対応テレビはテレビ内部にもプログレッシブ回路を搭載しています。PDR-155でインターレースを選択した場合は、テレビに搭載の回路で処理したプログレッシブ画像をご覧いただけます。お好みに合わせてお選びください。組み合わせるテレビによっては、PDR-155との相性によりプログレッシブ画像に悪影響が生じることがあります。このような問題が生じた場合はインターレースに切り換えてご使用ください。

マルチアングル

DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えた複数のアングル（カメラの位置）で記録されています。

リジューム機能

DVD再生中に■ボタンを押した位置を記憶させ、▶ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能です。

リニアPCM

DVDの音声デジタル記録方式の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact Disc-Recordable）

一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）

書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DLAリンク

オンキヨー独自のデジタル録音ボリューム自動設定機能。ワンタッチでCDのピークレベルをサーチし、オンキヨー製録音機器の録音ボリュームを自動設定します。

DTSデジタルサラウンド（DTS Digital Surround）

米国のDTS（Digital Theater Systems）社が開発したデジタルサラウンドフォーマットです。コヒレントアコースティックス符号化（Coherent Acoustics Coding）と呼ばれるアルゴリズムを使用し、圧縮率は通常４：１程度と比較的低くなっています。映画館ではフィルムにプリントされたタイムコードに同期してCD－ROMに記録された音声が再生されます。

DVDビデオ

CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

LFE

ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオＣＤはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ

サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されています。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されています。

用語集

MPEG-2オーディオ

MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語に対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなります。符号化はMPEG-1と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つです。

MPEG－2 AAC

AAC（Advanced Audio Coding）は、AT&T社、ドルビーラボラトリーズ、フラウンホーヘル・インスティテュート・フォー・インテグレーティド・サーキット（Fraunhofer IIS)、そしてソニー株式会社の4社の高品質マルチチャンネル音声符号化のための最先端技術を組み合わせたもので、ISOとIECの共同管轄の下に、MPEG－2規格の一部として規格化された音声圧縮符号化方式です。

従来のMPEG音声との後方互換性がないので、従来のMPEG音声デコーダーではデコードできません。わが国のデジタルテレビ音声方式として採用されています。

MP3（MPEG Audio（オーディオ） Layer（レイヤー）-3）

映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（ピービーシー）（プレイバックコントロール）

ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。

PBC（ピービーシー）対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

5.1chサラウンド

視聴位置前方に設置するセンタースピーカー1つ、フロントスピーカー2つ、横または後方に設置するサラウンドスピーカー2つで5ch（チャンネル）サブウーファーは他のスピーカーよりも再生できる音域が10分の1のため、この6本のスピーカーを使って再生することを5.1chサラウンドといいます。

困ったときは

困ったときは、次の内容をご確認ください。

BASE-DR7は、サブウーファーSWA-155X、スピーカーD-M7およびDVD AVコントローラーPDR-155の組み合わせで最良の状態になるように設計されております。PDR-155と他のスピーカーとの組み合わせや、他のアンプとスピーカーとの組み合わせでご使用になった場合の故障については、保証できない場合がありますのでご了承ください。

電　源

	参照ページ
電源が入らない	
• 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。	P41
• 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。	
電源が途中で切れる	
• 表示部にTIMER表示がある場合は、タイマーが働きます。解除してください。	P95
• タイマー演奏、録音は終了時刻に電源がスタンバイ状態になります。	

音　声

	参照ページ
音声が出ない	
• サブウーファーの電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	P41
• マルチ接続コードが正しく接続されているか確認してください。 PDR-155背面のSUBWOOFER CONTROL端子とRI端子を間違えないようにしてください。	P29
• スピーカーは正しく接続されていますか？しん線はSWA-155Xの接続端子に接触していますか？	P30
• 入力表示が正しく選択できているか確認してください。 接続した機器を入力表示切り換えで選択する必要があります。	P43
• ボリュームが最小/MINになっていませんか？	P47
• ミューティング機能が働いていませんか？ "MUTING"が点滅している場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。	P48
• 接続した再生機器での出力設定を確認してください。	
• 接続した機器の入力端子を間違えていないか確認してください。	P32〜37
• 接続した機器の入力設定を間違えていないか確認してください。	
• 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、►ボタンを押して通常再生に戻してください。	
音声がモノラル出力になっている	
• ビデオCD、MP3ファイルを記録したディスクを再生時、リモコンのSHIFTボタンを押してから、AUDIOボタンを押して1/L(左)、2/R(右)に設定した場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、再度リモコンのSHIFTボタンを押してから、AUDIOボタンを押し、ステレオに設定してください。 （注）映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。	P65

〈音質について〉
電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。
マルチ接続コードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が劣下します。

ホームシアター

	参照ページ
音が良くない	
• スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。	P30
• 各スピーカーの距離設定、音量設定を行ってください。	P77
• ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。	
リスニングアングルの設定で「CAN NOT」と表示される	
• サラウンドモードがシアターディメンショナル時のみ変更できます。	P74
ヘッドホンを接続すると、T-Dインジケーターが消える	
• ヘッドホンを接続すると、サラウンドモードではステレオになり、SWA-155Xの電源は切れます。	P48
SURROUNDボタンを押すと、「CAN NOT」と表示される	
スピーカーの数が2chになっているとSURROUNDボタンは働きません。別売のD-M3を増設し、スピーカーの数を正しく設定してください。	P72

BASE-DR7(120-)(SN 29343429A)　125　02.9.10, 4:35 PM
ブラック

困ったときは

ホームシアター

センタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ない/サブウーファーから音が出ない

- サラウンドモードの種類によって音を出さないモードがあります。

STEREO：フロントスピーカーとサブウーファーのみから音がでます。
センタースピーカー、サラウンドスピーカーからは音が出ません。
ORCHESTRA：センタースピーカーからは音がでません。

- ドルビープロロジックIIのサラウンドモードで再生するソースにより音が出にくい場合があります。5.1ch対応のDVDソフトやBSデジタルの5.1ch放送は臨場感を表現する信号が含まれていることが多いですが、CDや一般の放送には含まれていないのが一般的です。他のサラウンドモードをお選びください。
- スピーカーコードのしん線はSWA-155Xの接続端子に触れていますか？ P73

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプとフォノイコライザーが必要です。

ディスクの再生

ディスクの再生ができない

- ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに置いているか確認してください。 P50
- ディスクが汚れていないか確認してください。
- PDR-155で再生できるディスクかどうか確認してください。 P12
- 「Wrong Region No」と表示される場合は、リージョン番号がPDR-155に合っていませんので再生できません。 P12
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除、またはレベル変更を行ってください。 P113
- 結露しているおそれがある場合は、PDR-155の電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。 P15

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。 P57～63

設定または各種設定

設定画面が出ない

- 電源を入れただけではDVD部の機能は働きません。▲ボタンを押してDVD部を起動させてから設定画面の操作を行ってください。 P49

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。

設定が変更できない

- 画面にDVDマークが出る場合は、CD、ビデオCD、MP3ファイルを記録したディスクが入っているとき、DVDでしか働かない項目を設定しようとしています。 P101
- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

初期設定画面に設定項目が出てこない

- 初期設定モードが「ベーシック」になっていますので、「エキスパート」にしてください。 P102

映　像

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これはPDR-155の故障ではありません。

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- PDR-155をビデオデッキ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。 P27
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い(ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、ベストな状態にしてください。

映　像

映像がテレビ画面にあらわれない

- 接続したテレビ、またはPDR-155の入力設定が正しいか確認してください。
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。この場合、►ボタンを押して解除してください。もう一度押すと再生します。 P51
- 初期設定の背景色を黒に設定しているときは、停止中映像が出ていないように見えることがあります。その場合は、背景色を灰色に設定してください。 P108
- テレビのD1端子へ接続している場合は、DVDの設定をリセットしてから（119ページ）初期設定でインターレースに設定してください。 P103

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「セットアップナビゲーター」もしくは「初期設定」で設定してください。 P103
- PDR-155とテレビをS映像端子で接続している場合は、テレビ側の処理信号により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは「S映像出力」の設定を「S1」に設定してください。 P104

テレビ放送に縞のようなノイズが入る

- テレビのアンテナケーブルとPDR-155の電源コードや接続コードを離してください。

MP3の再生

MP3ファイルを記録したディスクを再生できない

- 記録したディスクがISO9660準拠しているか確認してください。 P13
- MP3ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。

ディスクに記録されているトラック（MP3ファイル）を選択できない

- 「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P13
- PDR-155では251以上のフォルダーまたはトラックを認識できません。 P13
- PDR-155はマルチセッションに対応していません。マルチセッションディスクのときは最初のセッションのみ再生します。 P13

そ　の　他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない

- 設定した言語がディスクに記録されていない。
- 言語設定オートをONに設定していると、洋画DVDでは音声がオリジナル、字幕は日本語。邦画DVDでは音声が日本語、字幕はオフになります（一部のディスクを除く）。 P111

「ディスクによる禁止」マークが画面に出る

- 選択した動作をディスクが禁止しています。 P13

「プレーヤーによる禁止」マークが画面に出る

- 選択した動作をPDR-155が禁止しています。 P13

ラ　ジ　オ

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い
オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“STEREO”表示が完全に点灯しない

- アンテナの位置を変えてみてください。
- テレビやコンピューターから離してください。 P39
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。 P83
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い場合は室外アンテナをおすすめします。 P40

困ったときは

リ モ コ ン

リモコンが正しく働かない/リモコンでテレビが動かない

- 電池の極性(+、−)が、表示通り正しく入っているか確認してください。 P18
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。
  (種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください) P18
- リモコンとPDR-155の間が離れすぎていませんか?
  リモコンとPDR-155の間に障害物がありませんか? P18
- PDR-155のリモコン受光部に強い光(インバータ蛍光灯や直射日光)が当たっていませんか? P18
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。 P18
- テレビのコードが正しくリモコンに設定されていますか?
  もう一度ご使用になっているテレビのリモコンコードを確かめ、登録しなおしてください。 P120
- リモコンのモード切り換えを行ってから操作してください。 P24
- 外部機器を接続した場合は、入力表示をそれぞれに切り換えてください。 P43

他機器との接続

接続した機器の音が出ない

- 入力切り換えを確認してください。 P47
- 入力表示の切り換えは正しく設定されていますか? P43
- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか?
- フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を録音機器のデジタル入力に接続する必要があります。
- システム接続が正しいか確認してください。 P32〜37

システム機能が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
  (RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。) P32〜37
- 入力表示の切り換えを行ってください。 P43

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻/日付は正しく設定されていますか?
  時刻が設定されていないと、タイマー演奏・録音はできません。現在時刻/日付を設定してください。 P79
- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。 P32〜37
- 再生機器/録音機器の設定を確認してください。(CDレコーダーにタイマー録音はできません。)

テレビの映像がにじむ

- テレビからスピーカーを離してください。

- PDR-155はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

- 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害(CDレンタル料等)については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

- マイコンのリセットについて
  登録したレベル設定などを全て工場出荷時の設定に戻したいときは、電源が入った状態でPDR-155のPRESET(プリセット) MEMORY(メモリー)ボタンを押しながらSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを押してください。
  PDR-155の表示部に「CLEAR(クリア)」と表示され、初期化されると同時にスタンバイ状態となります。

主な仕様

■ PDR-155（DVD AVコントローラー）

入力感度 / インピーダンス
　　デジタル　TV：光（OPTICAL）　－21 ～－15dBm
　　アナログ　TV/LINE、MD/TAPE、CDR/VIDEO：RCA L/R（200 mV/50kΩ）
定格出力 / インピーダンス
　　RECOUT（MD/TAPE、CDR/VIDEO）：200 mV/2.2kΩ
　　MULTI CH OUTPUT（フロント L/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー）：1V/470Ω
周波数特性
　　フロント、センター、サラウンド部：120Hz － 20kHz、＋1/－3 dB
　　サブウーファー部：20Hz － 120 Hz、＋1/－3 dB

信号対雑音比（SN比）：100dB以上
全高調波ひずみ率：0.08%以下

アコースティックコントロール
　　1：＋10dB（82Hz）サブウーファー
　　2：＋10dB（82Hz）サブウーファー
　　　＋6dB（10000Hz）フロント

ミュート：－60dB

チューナー部

●FM
受信範囲：76.00～108.00MHz（50kHzステップ）
実用感度
　モノラル：11.2dBf、1.0μV（75Ω）
　ステレオ：17.2dBf、2.0μV（75Ω）
キャプチャレシオ：2.0dB
イメージ妨害比：40dB
IF妨害比：90dB
SN比
　モノラル：73dB
　ステレオ：67dB
2信号選択度：50dB
AM抑圧比：50dB
ひずみ率（1kHz）
　モノラル：0.2%
　ステレオ：0.3%
周波数特性：30～15,000Hz、±1.5dB
ステレオセパレーション：45dB（1kHz）30dB（100～10,000Hz）
ミューティングレベル：17.2dBf
アンテナインピーダンス：75Ω
●AM
受信範囲：522～1,629kHz（9kHz ステップ）
実用感度：30μV
イメージ妨害比：40dB
IF妨害比：40dB
SN比：40dB
ひずみ率（400Hz）：0.7%

クロック精度：月差±30秒（25℃）

主な仕様

本体部

信号方式：日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー：半導体レーザー　波長650nm（DVD）/780nm（CD）
音声周波数特性（デジタル音声）：DVDリニア音声 ：48kHz サンプリング4Hz〜22kHz
96kHz サンプリング4Hz〜44kHz
CDオーディオ　：4Hz〜20kHz
ワウ・フラッタ：測定限界［±0.001%（W. PEAK)］以下
使用条件：温度：5℃〜35℃、動作姿勢：水平

端子部

映像出力：1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像出力：(Y)1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1
(C)0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1出力：(Y)1.0V(p-p)、75Ω
(PB/CB)、(PR/CR)0.7V(p-p)、75Ω、D端子×1
音声出力（光デジタル音声）：−22.5dBm×2
音声出力（アナログ音声）：2.0 V(rms)、470Ω、ピンジャック(L、R)×2

一般

電源：AC100V、50/60Hz
消費電力：27W（電気用品安全法技術基準）

外形寸法(幅×高さ×奥行き)：155mm × 172.5mm × 289.5mm
質量：3.5kg

■ SWA-155X（サブウーファー）

入力：RCA L/R/C/SL/SR/ サブウーファー（500mV/47 kΩ）
アンプ部
定格出力（各チャンネル駆動時）
フロント、サラウンド部：15W × 5（1kHz、6 Ω /EIAJ）
サブウーファー部：25W（100 Hz、3 Ω /EIAJ）
全高調波歪み率：0.1%（出力 5W）
SN 比：100dB（STEREO 時、IHF A0.5V 入力）
スピーカー部
形式：J ドライブ方式　16cm OMF コーン
一般
電源：AC100V、50/60 Hz
消費電力：46W（電気用品安全法技術基準）
外形寸法(幅×高さ×奥行き)：185mm × 299mm × 312mm
質量：8kg
その他：防磁設計（EIAJ）

■ D-M7（スピーカー）

形式：フルレンジ密閉型
定格インピーダンス：6 Ω
最大入力：40W
定格感度レベル：80dB/W/m
定格周波数範囲：80Hz ～ 25kHz
キャビネット内容量：2.0 リットル
使用スピーカー：8cmOMF コーン
外形寸法(幅×高さ×奥行き)：102mm × 210mm × 142mm
質量：1.1kg
その他：防磁設計（EIAJ）

■ RC-506M（リモコン）

方式：赤外線
信号到達距離：約5m
使用電池：単3型（1.5V）乾電池 2個

※ 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　BASE-DR7
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お 客 様 ご相談窓口	**カスタマーセンター** 受付 9:30〜17:30 （土日祝、弊社休日除く） **■カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊e-mail： ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品 →mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル 0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修 理 窓 口　修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612 FAX 011-747-6619
〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571 FAX 022-257-7330
〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

栃木・群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612 FAX 048-651-9137
〒330-0034 埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・茨城地区
千葉サービスステーション
TEL 043-296-3915 FAX 043-296-3912
〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷5-2-11

東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121 FAX 03-3861-8124
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030 FAX 0426-36-9312
〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342 FAX 045-312-6603
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13 共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229 FAX 052-772-1331
〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620 FAX 06-6576-7604
〒552-0013 大阪市港区福崎3丁目1番148号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315 FAX 082-262-6571
〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662 FAX 087-868-5672
〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357 FAX 092-418-1358
〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502 FAX 0543-46-7091
〒424-0063 静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868 FAX 0776-27-1768
〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840 FAX 086-274-5840
〒703-8271 岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475 FAX 096-364-1475
〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195 FAX 098-876-9195
〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2002年6月現在 お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

H

BASE-DR7(120-)(SN 29343429A) 133 02.9.10, 4:35 PM
ブラック

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　（　　）

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343429A

G0208-1